

# 第4章

## サービス提供事業所調査

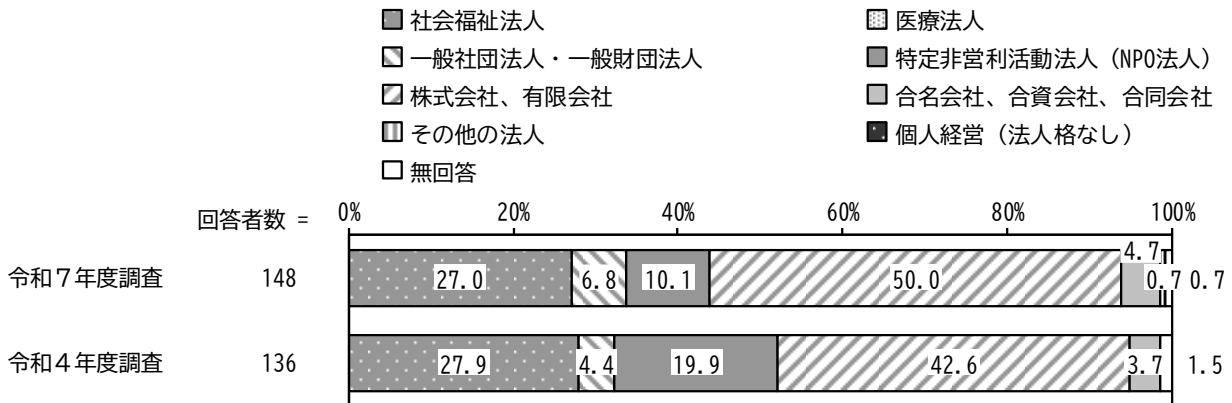


## (1) 事業所について

問1 貴事業所の経営主体について、お聞きします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

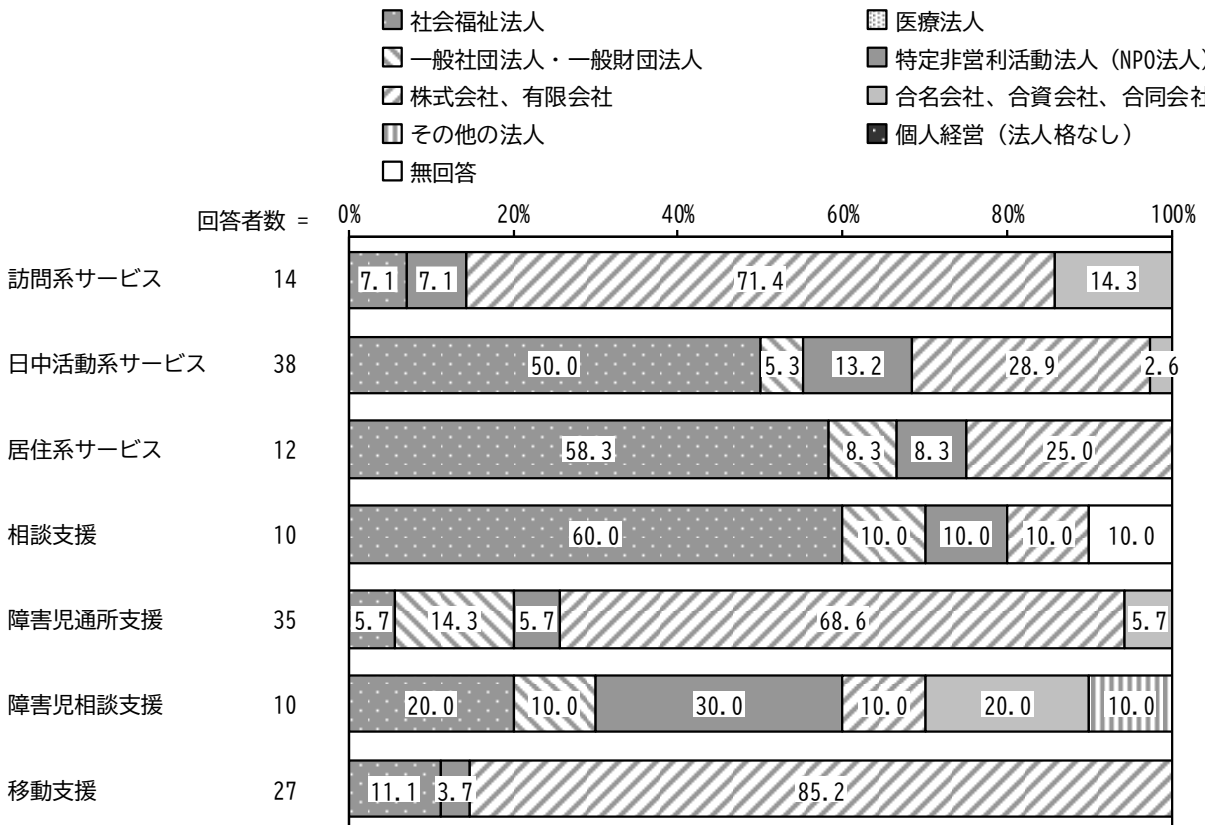
「株式会社、有限会社」の割合が50.0%と最も高く、次いで「社会福祉法人」の割合が27.0%、「特定非営利活動法人（NPO法人）」の割合が10.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「株式会社、有限会社」の割合が増加しています。一方、「特定非営利活動法人（NPO法人）」の割合が減少しています。



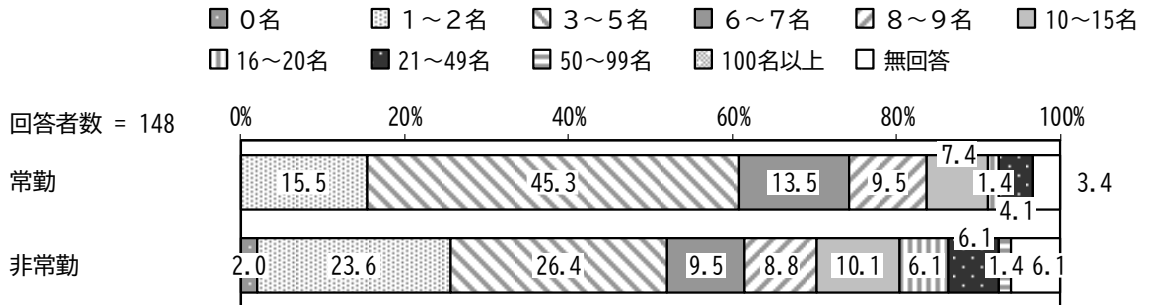
### 【サービス種別】

サービス種別にみると、居住系サービス、相談支援で「社会福祉法人」、障害児相談支援で「特定非営利活動法人（NPO法人）」「合名会社、合資会社、合同会社」、移動支援で「株式会社、有限会社」の割合が高くなっています。



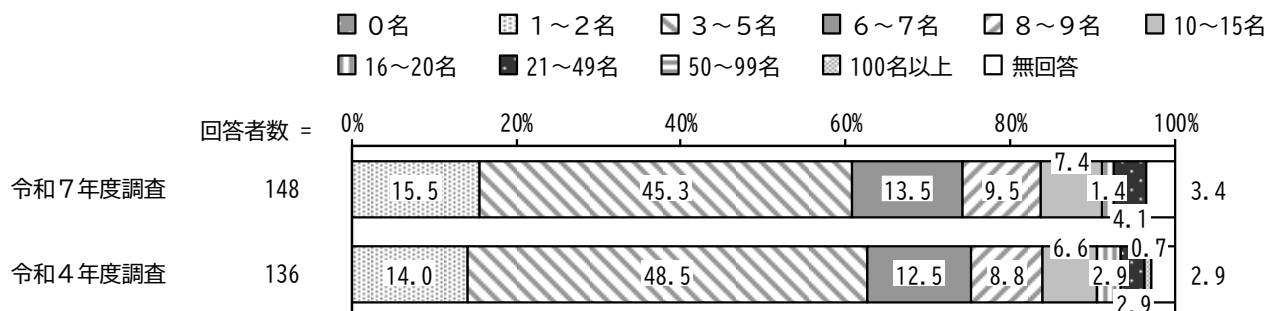
問2 貴事業所の職員数について、常勤、非常勤のそれぞれに人数を記入してください。(令和7年9月1日時点をお願いします。)

『非常勤』で「0名」「1～2名」「10～15名」「16～20名」「21～49名」「50～99名」が、『常勤』で「3～5名」「6～7名」「8～9名」が高くなっています。



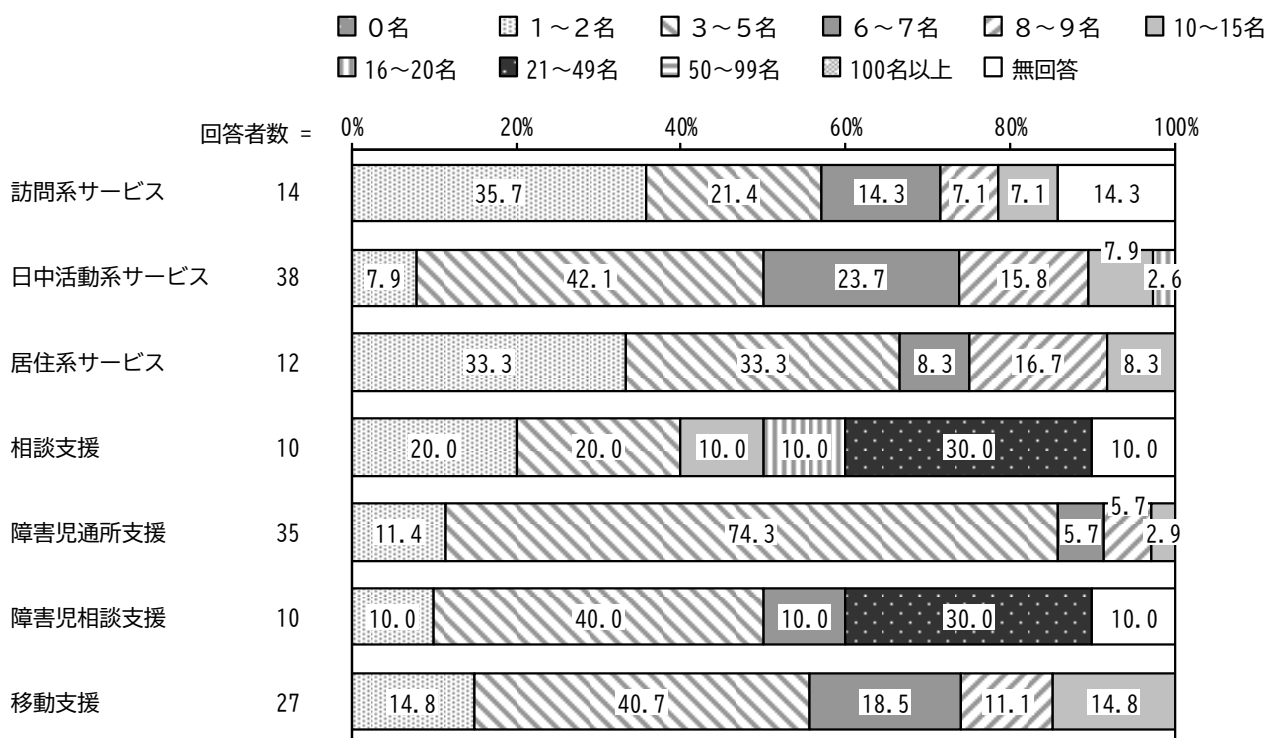
## 常勤

### 【経年比較】



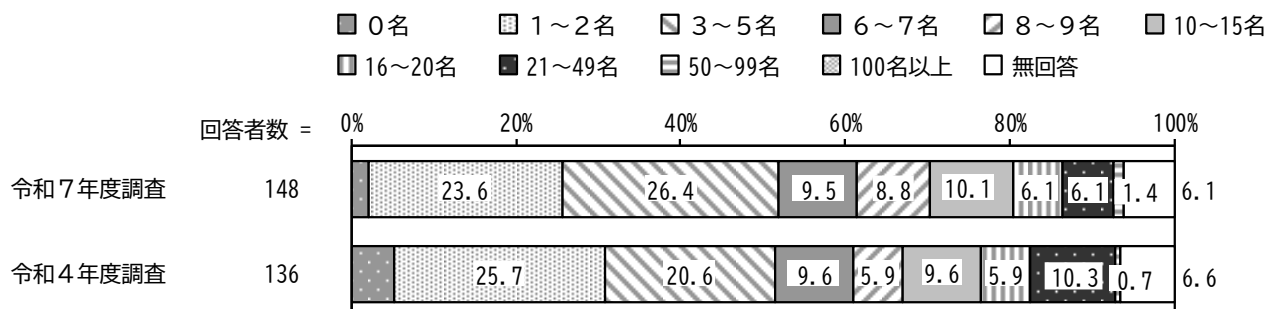
### 【サービス種別】

サービス種別に見ると、訪問系サービス、居住系サービスで「1～2名」、障害児通所支援で「3～5名」、日中活動系サービスで「6～7名」、相談支援、障害児相談支援で「21～49名」の割合が高くなっています。



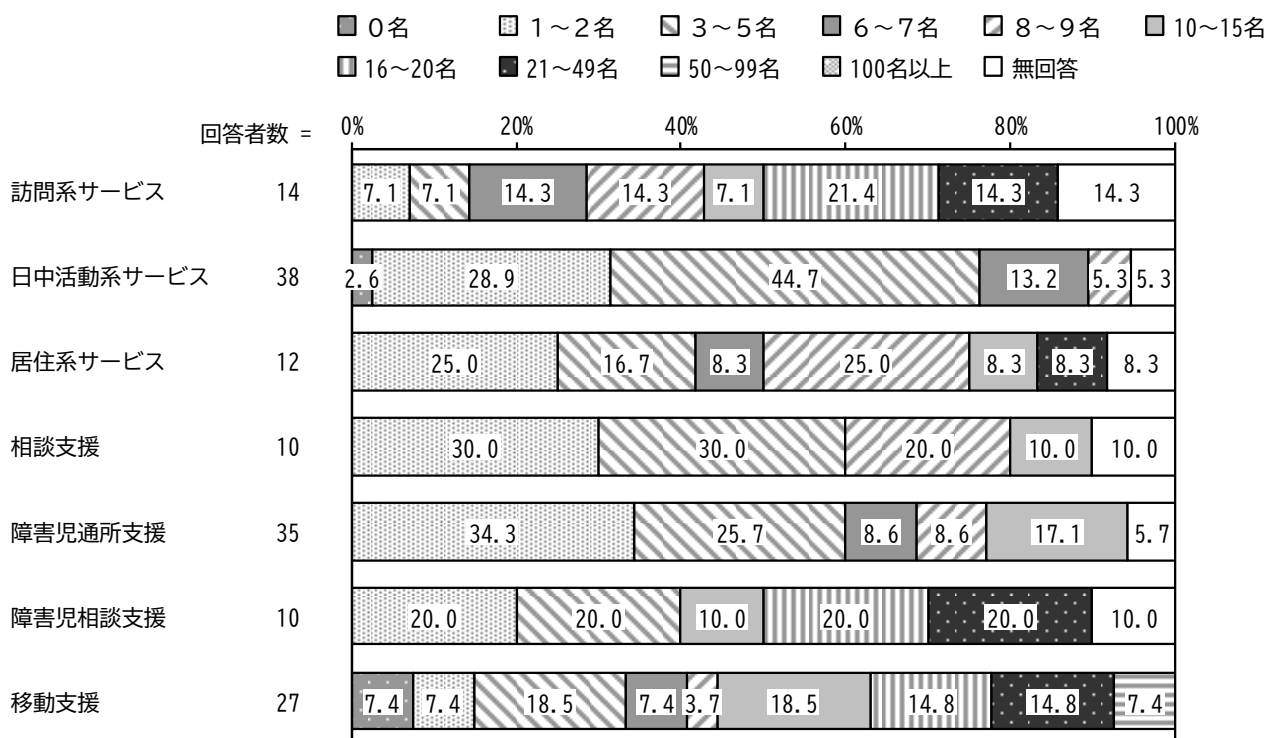
## 非常勤

### 【経年比較】



### 【サービス種別】

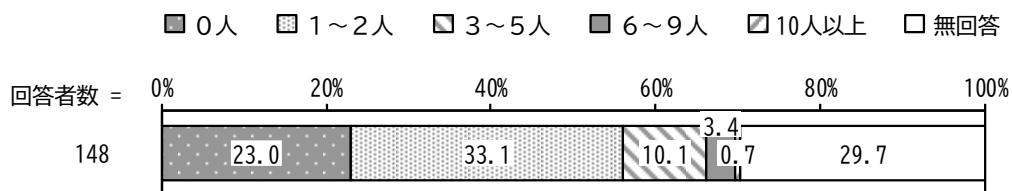
サービス種別にみると、障害児通所支援で「1～2名」、日中活動系サービスで「3～5名」、居住系サービスで「8～9名」、訪問系サービス、障害児相談支援で「16～20名」、障害児相談支援で「21～49名」の割合が高くなっています。



問3 貴事業所に在籍する職員の貴事業所での経験年数についてお聞きします。あてはまる経験年数にそれぞれに人数を記入してください。(令和7年9月1日時点をお願いします。)

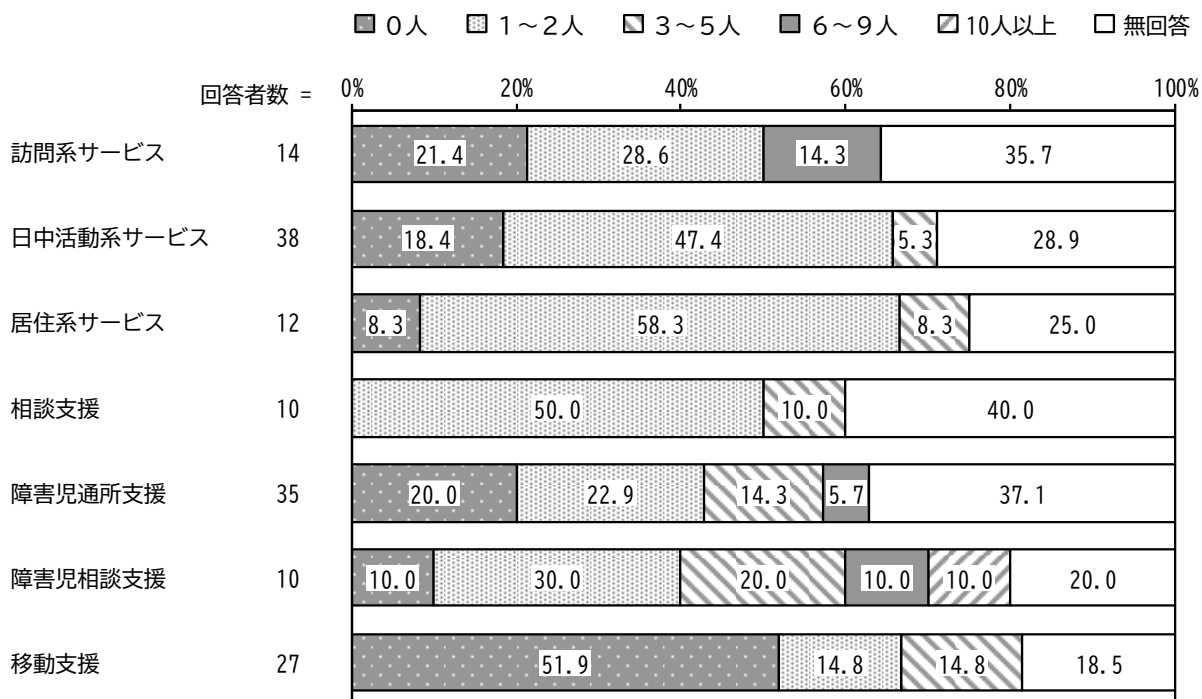
### 6か月未満

「1～2人」の割合が33.1%と最も高く、次いで「0人」の割合が23.0%、「3～5人」の割合が10.1%となっています。



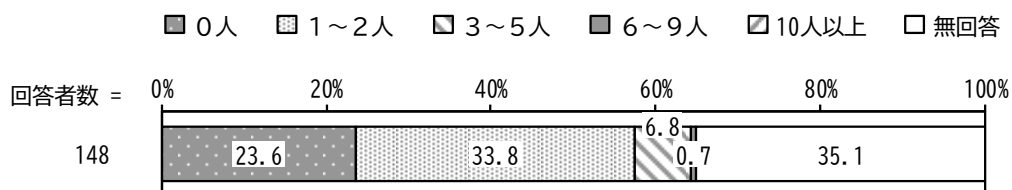
### 【サービス種別】

サービス種別によると、移動支援で「0人」、居住系サービスで「1～2人」、訪問系サービスで「6～9人」の割合が高くなっています。



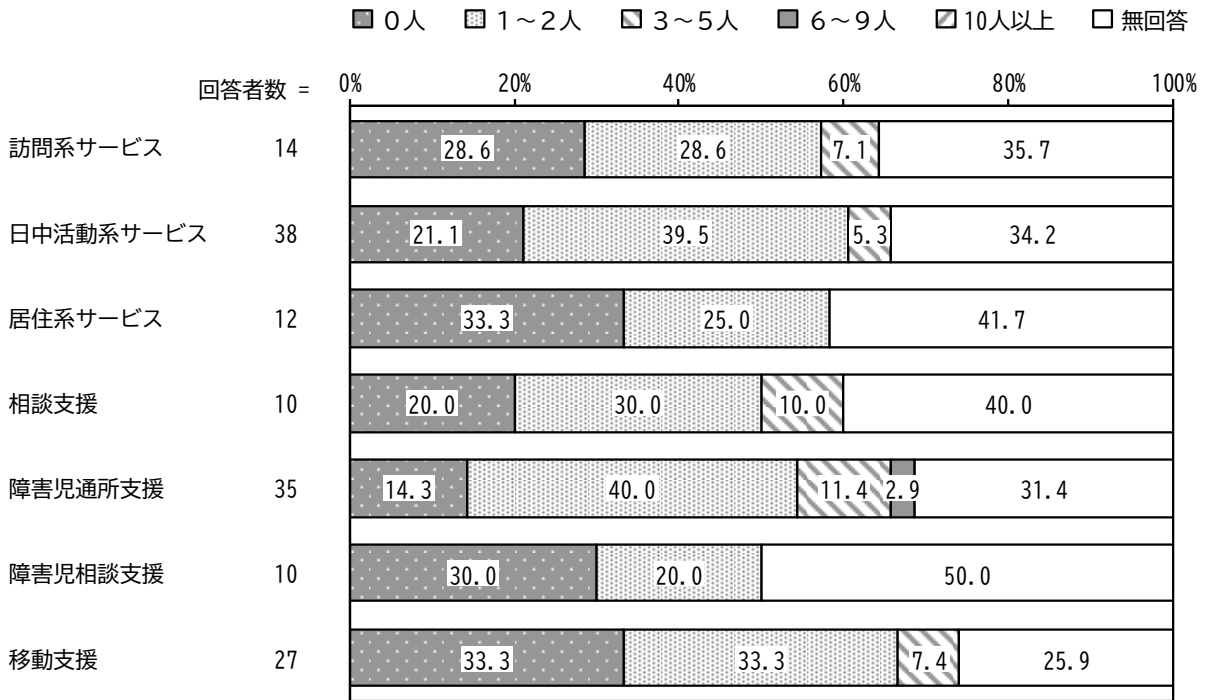
### 6か月以上1年未満

「1～2人」の割合が33.8%と最も高く、次いで「0人」の割合が23.6%となっています。



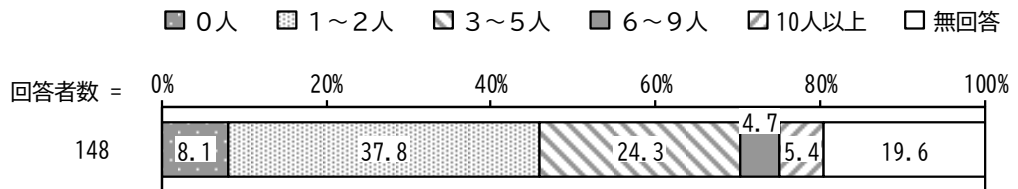
【サービス種別】

サービス種別にみると、居住系サービス、移動支援で「0人」、日中活動系サービス、障害児通所支援で「1～2人」の割合が高くなっています。



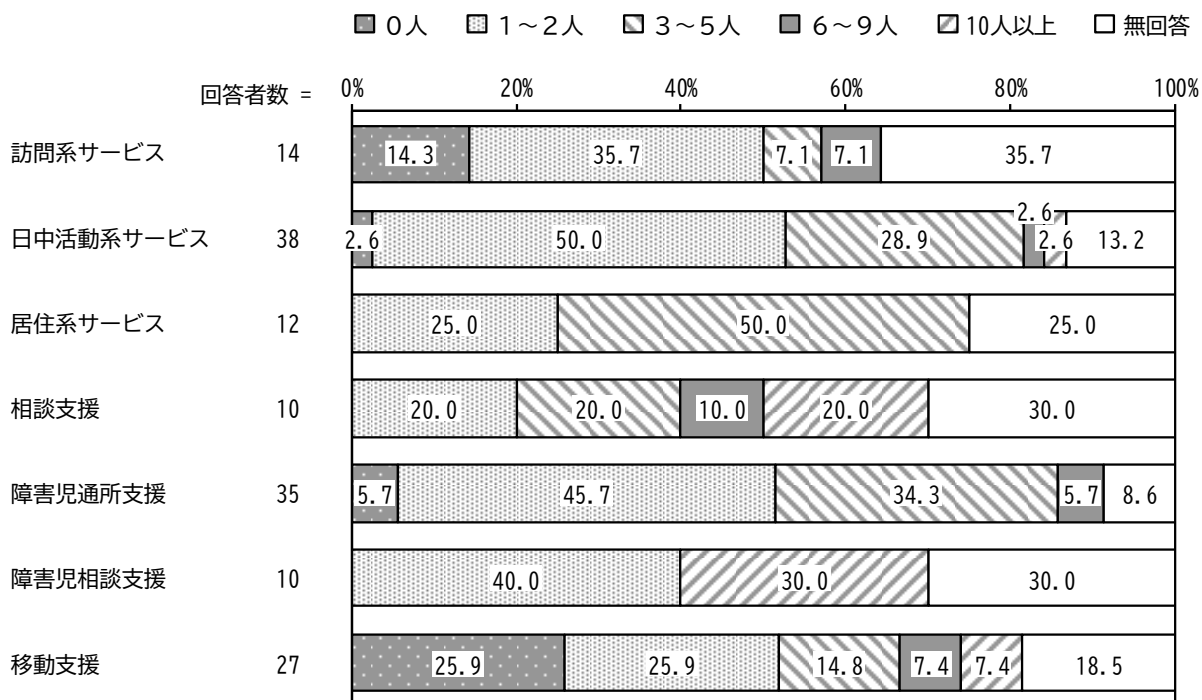
1年以上3年未満

「1～2人」の割合が37.8%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が24.3%となっています。



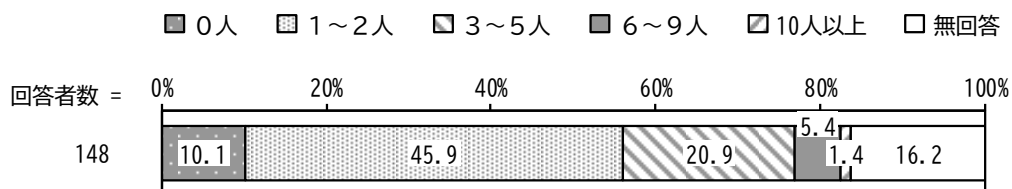
### 【サービス種別】

サービス種別にみると、移動支援で「0人」、日中活動系サービスで「1～2人」、居住系サービスで「3～5人」、障害児相談支援で「10人以上」の割合が高くなっています。



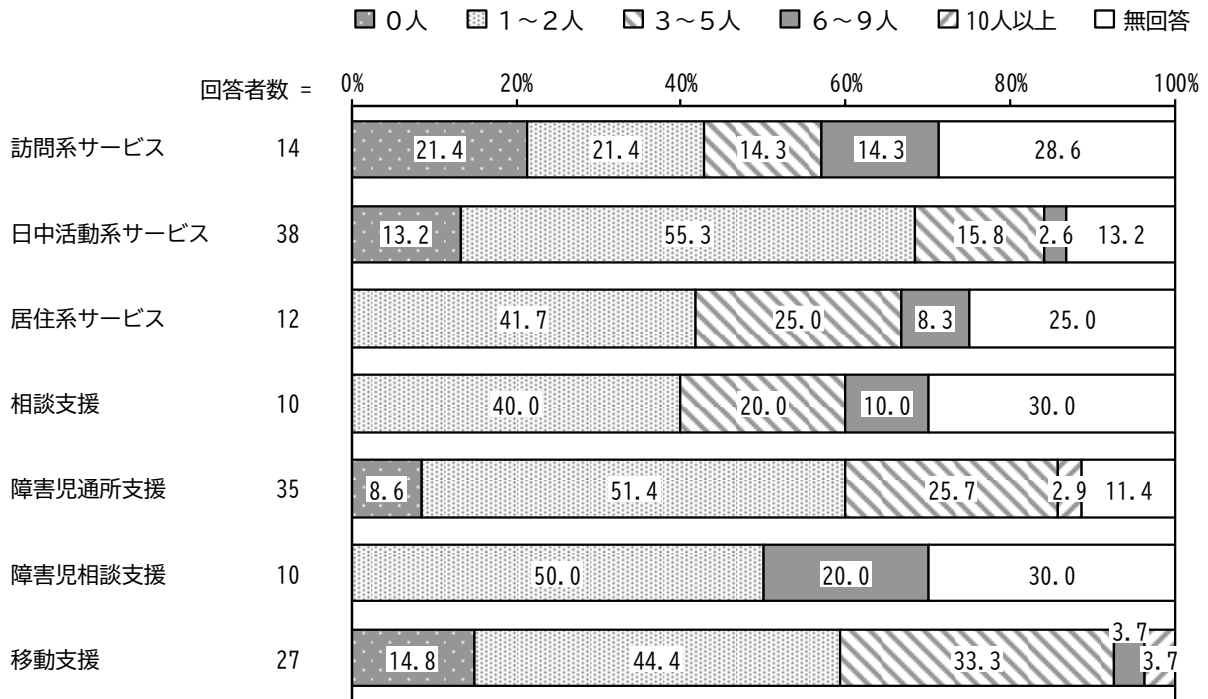
### 3年以上5年未満

「1～2人」の割合が45.9%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が20.9%、「0人」の割合が10.1%となっています。



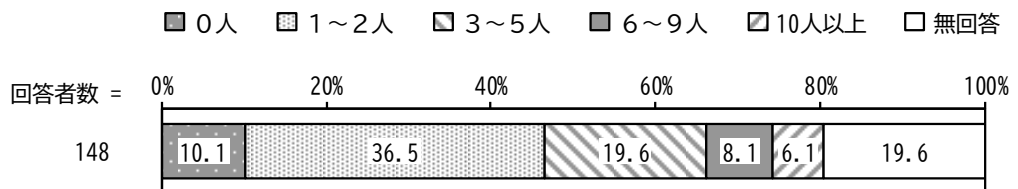
【サービス種別】

サービス種別にみると、訪問系サービスで「0人」、移動支援で「3～5人」、障害児相談支援で「6～9人」の割合が高くなっています。



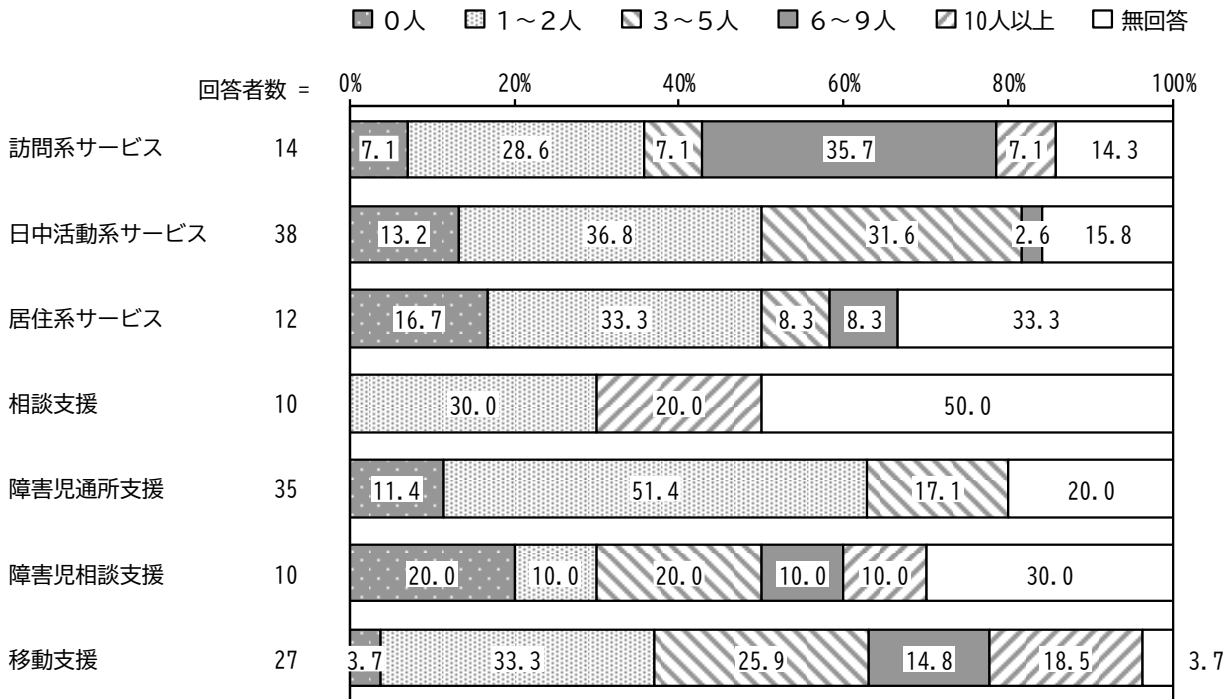
5年以上10年未満

「1～2人」の割合が36.5%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が19.6%、「0人」の割合が10.1%となっています。



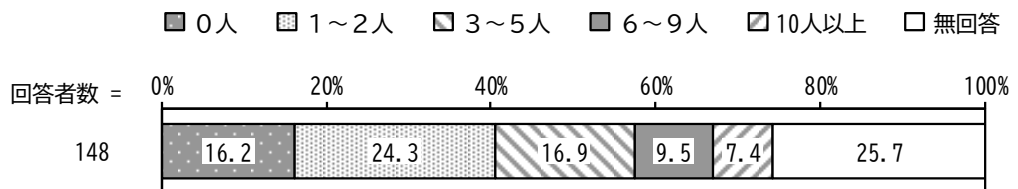
【サービス種別】

サービス種別にみると、障害児通所支援で「1～2人」、日中活動系サービスで「3～5人」、訪問系サービスで「6～9人」、相談支援、移動支援で「10人以上」の割合が高くなっています。



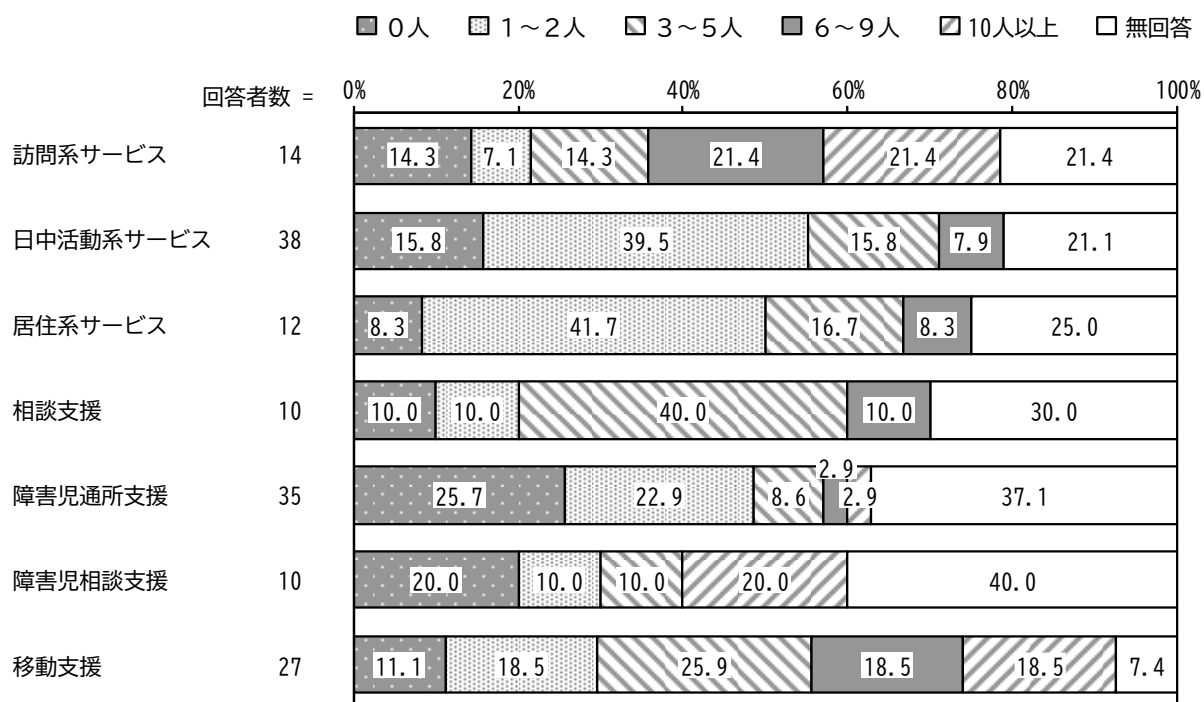
10年以上

「1～2人」の割合が24.3%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が16.9%、「0人」の割合が16.2%となっています。



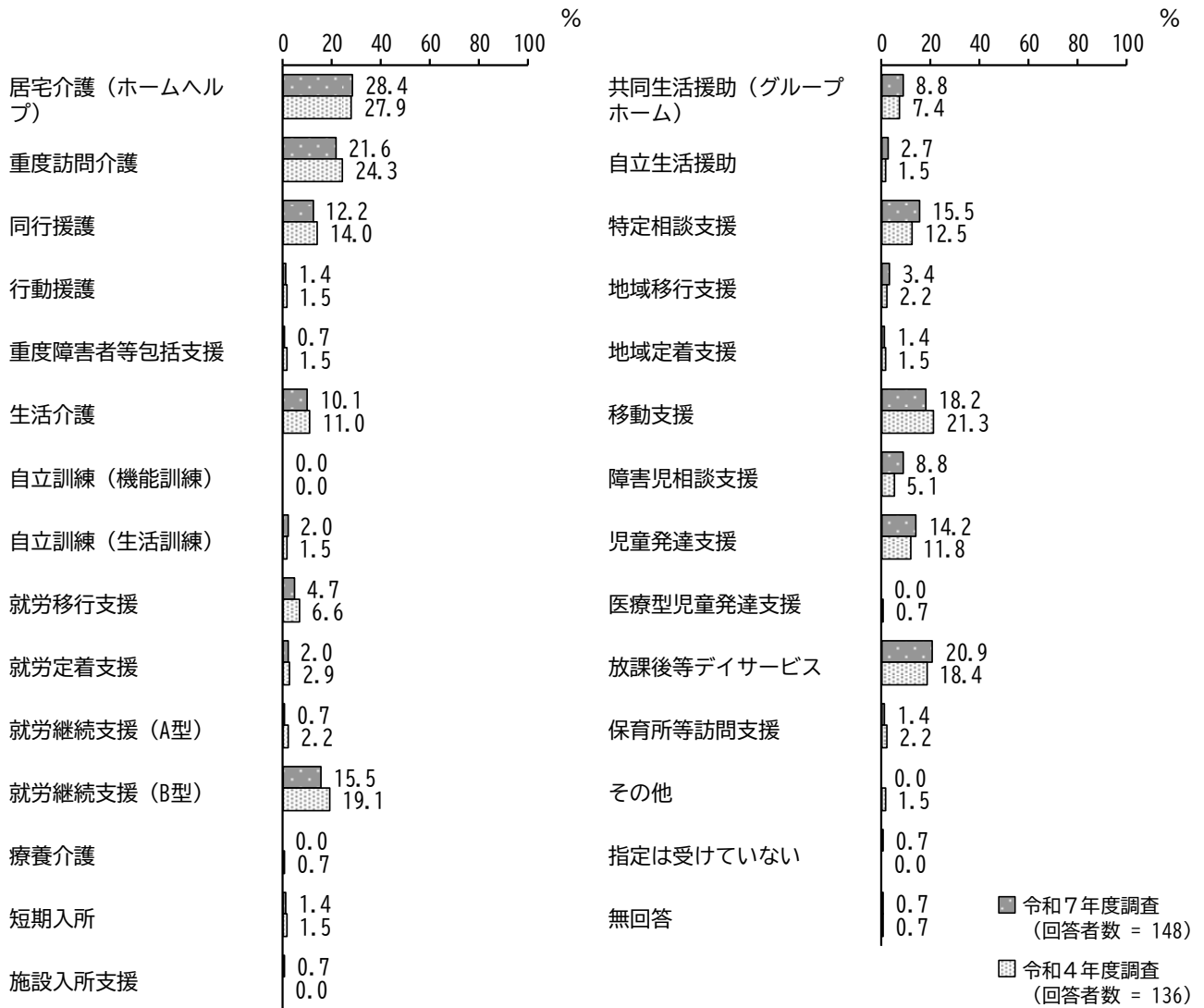
### 【サービス種別】

サービス種別にみると、日中活動系サービス、居住系サービスで「1～2人」、相談支援で「3～5人」、訪問系サービスで「6～9人」、訪問系サービス、障害児相談支援、移動支援で「10人以上」の割合が高くなっています。



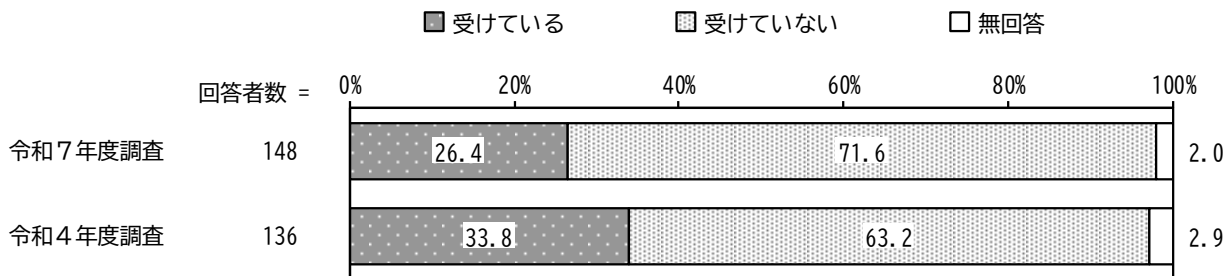
問4 貴事業所が指定を受けているサービスについて、指定を受けているものすべてに○をつけてください。

「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が28.4%と最も高く、次いで「重度訪問介護」の割合が21.6%、「放課後等デイサービス」の割合が20.9%となっています。



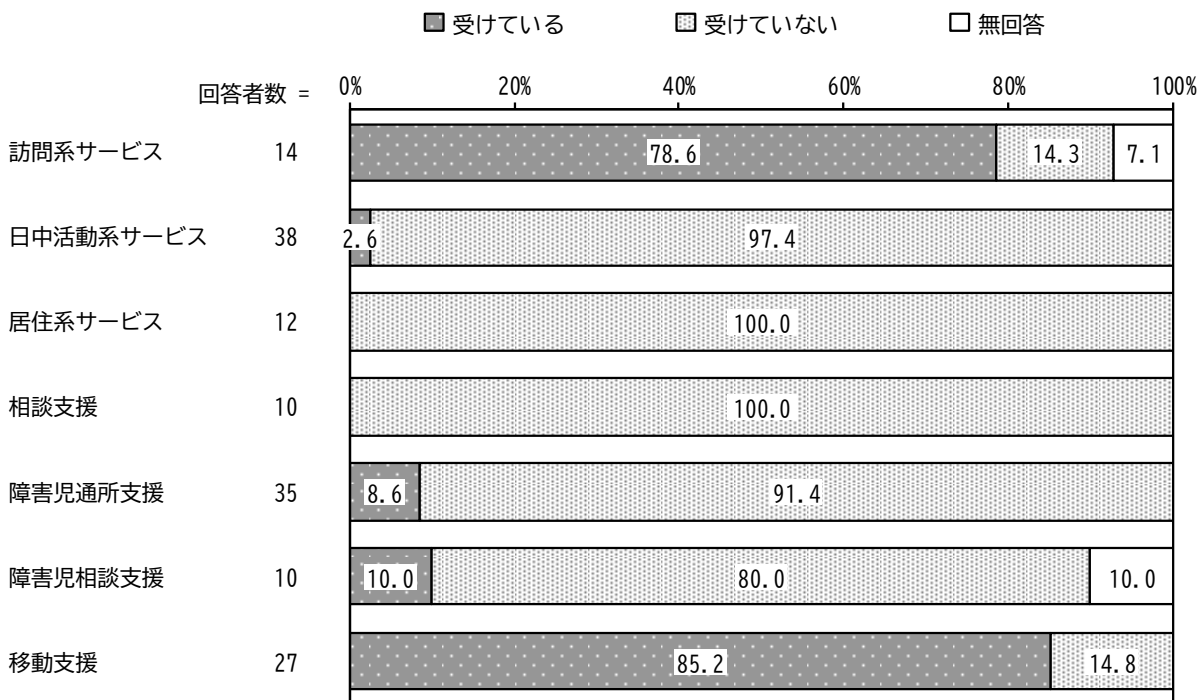
問5 貴事業所は、介護保険サービスの指定を受けていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「受けている」の割合が26.4%、「受けていない」の割合が71.6%となっています。  
令和4年度調査と比較すると、「受けていない」の割合が増加しています。



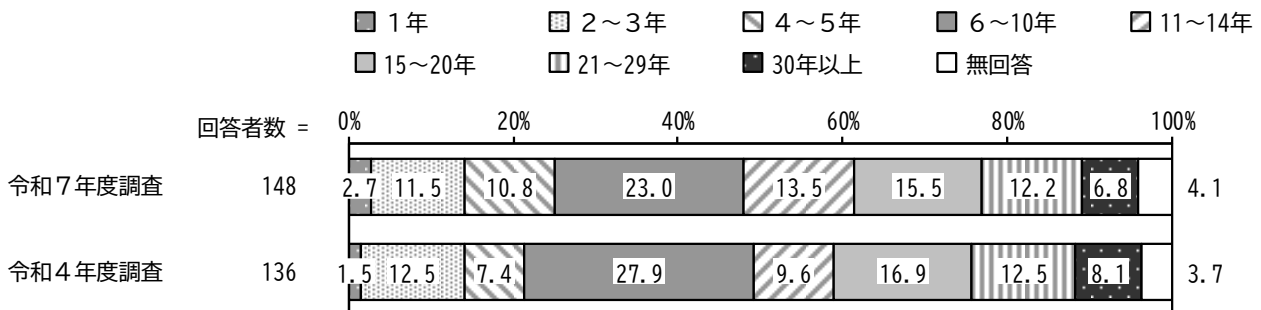
【サービス種別】

サービス種別に見ると、移動支援で「受けている」の割合が高くなっています。



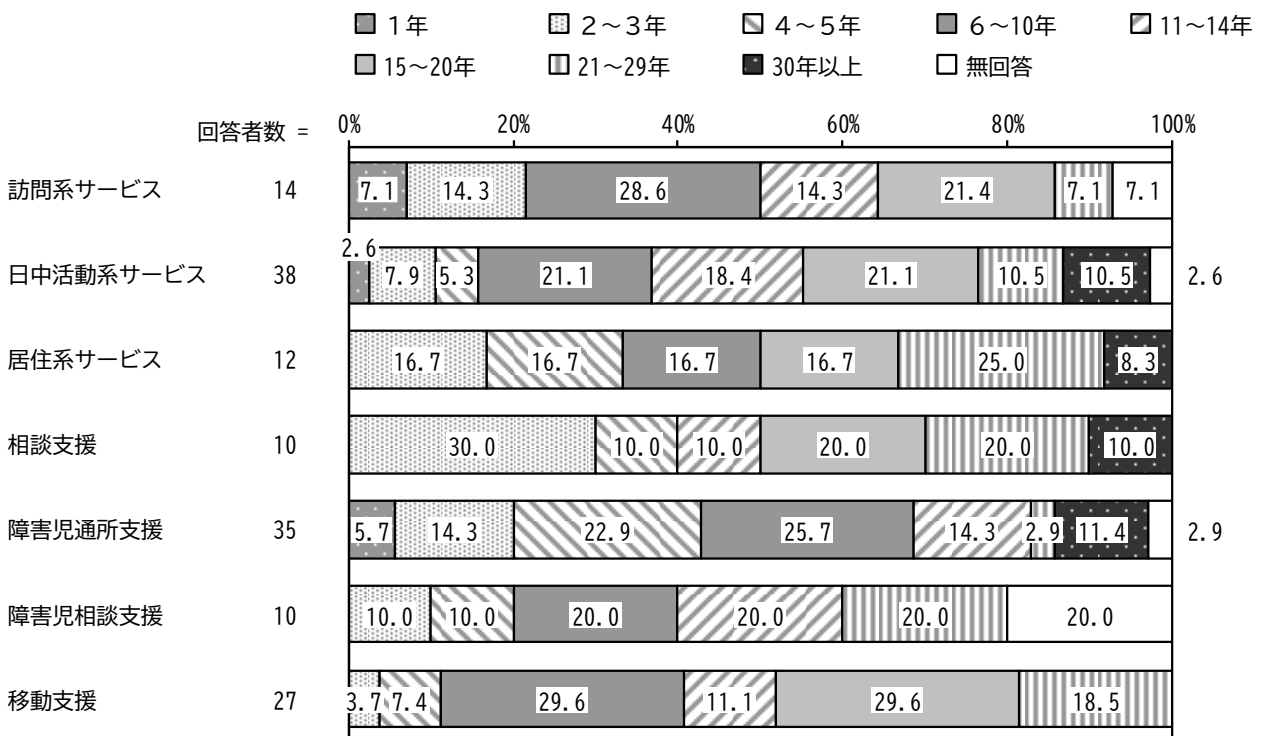
## 問6 貴事業所の開業年をお聞きします。

「6～10年」の割合が23.0%と最も高く、次いで「15～20年」の割合が15.5%、「11～14年」の割合が13.5%となっています。



### 【サービス種別】

サービス種別によると、相談支援で「2～3年」、障害児通所支援で「4～5年」、移動支援で「15～20年」、居住系サービスで「21～29年」の割合が高くなっています。



## (2) サービスの提供について

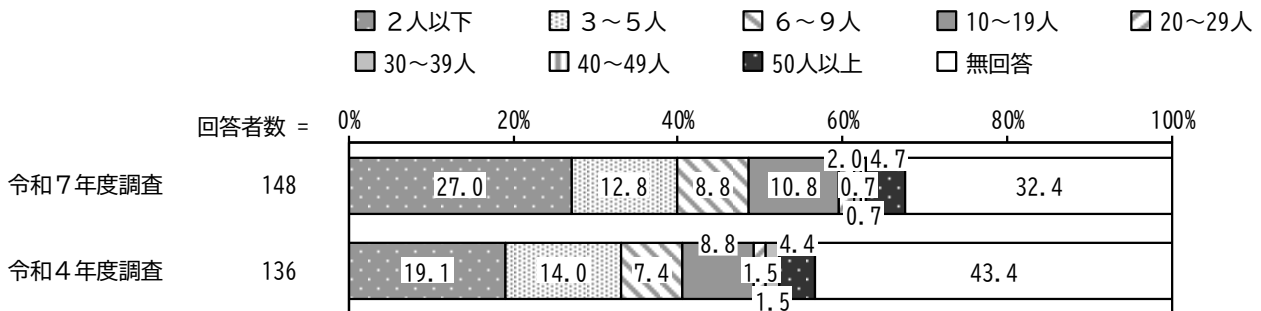
問7 貴事業所でサービスを提供している利用者数について、障害別に人数を記入してください。また、そのうち児童の人数を記入してください。  
※令和7年8月の1か月分の回答をお願いします。

### ア) 身体障害

#### 利用者数

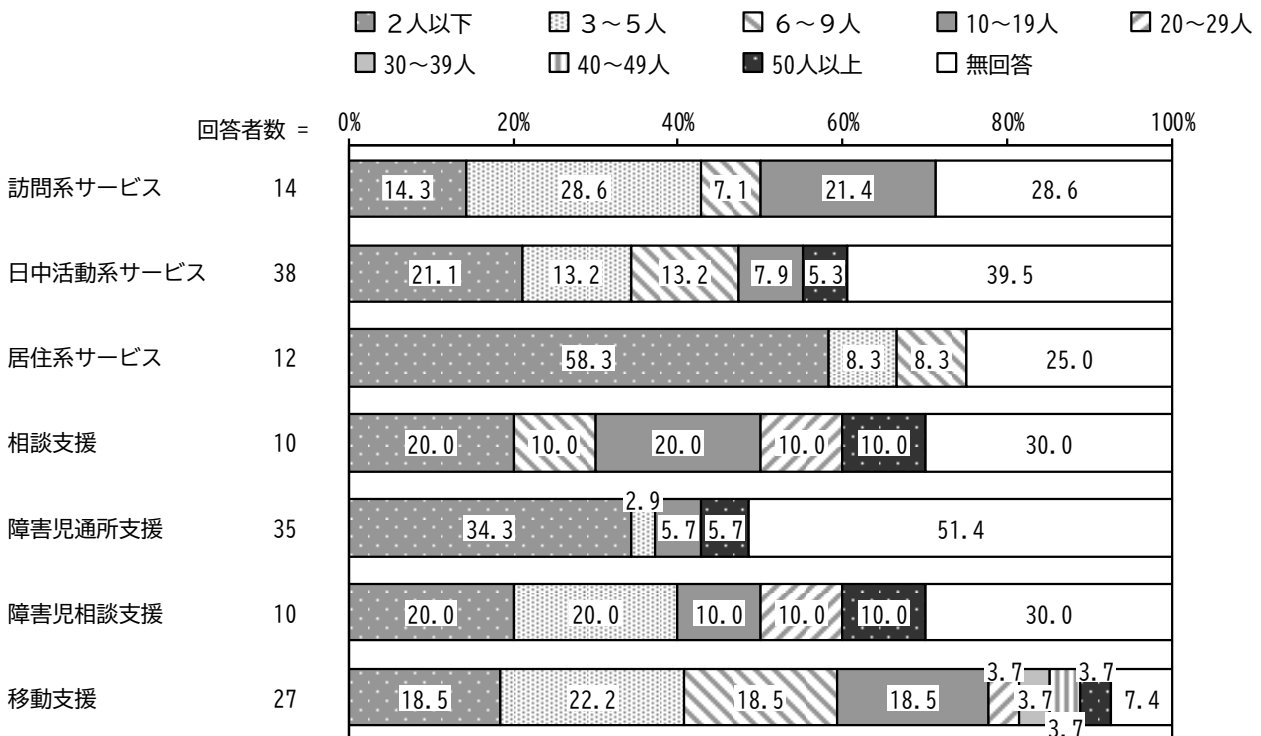
「2人以下」の割合が27.0%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が12.8%、「10～19人」の割合が10.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「2人以下」の割合が増加しています。



#### 【サービス種別】

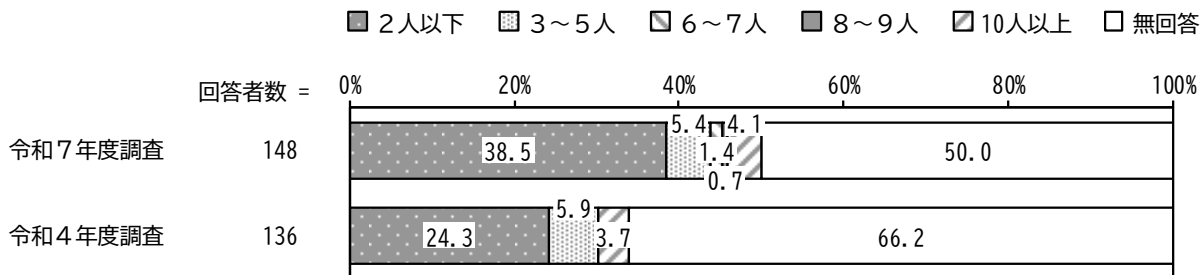
サービス種別にみると、居住系サービスで「2人以下」、訪問系サービスで「3～5人」、移動支援で「6～9人」、訪問系サービス、相談支援、移動支援で「10～19人」、相談支援、障害児相談支援で「20～29人」「50人以上」の割合が高くなっています。



## うち、利用児童数

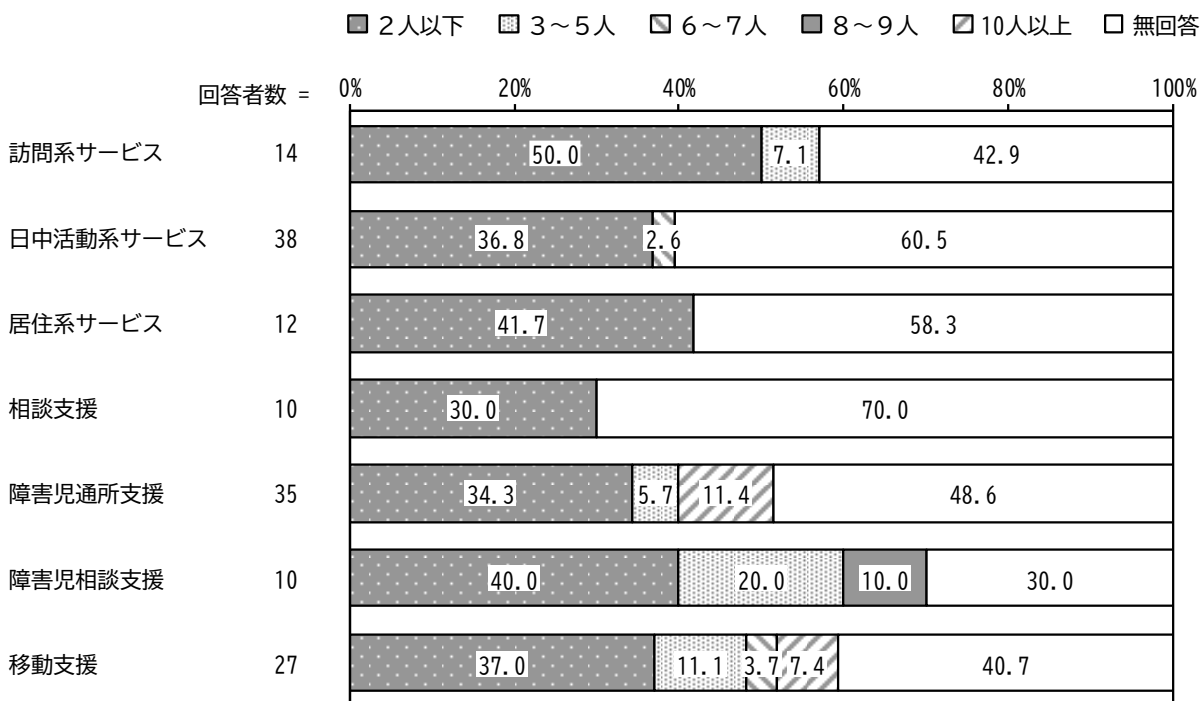
「2人以下」の割合が38.5%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「2人以下」の割合が増加しています。



## 【サービス種別】

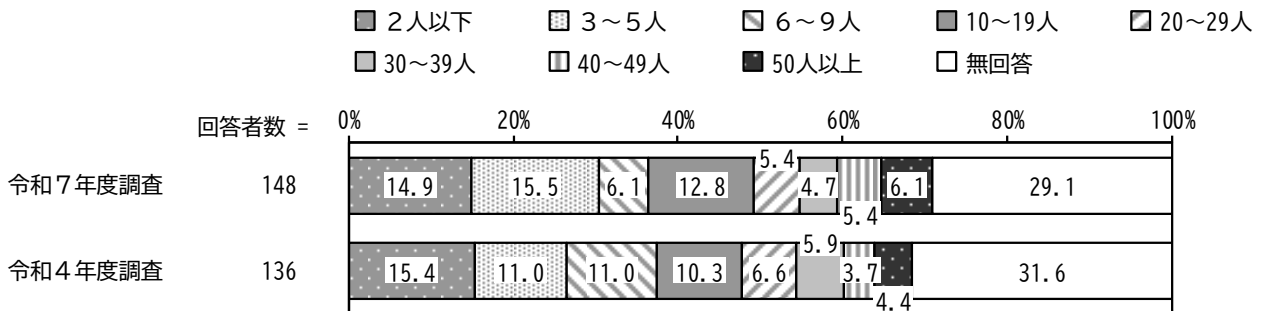
サービス種別に見ると、訪問系サービスで「2人以下」、障害児相談支援で「3~5人」「8~9人」、障害児通所支援で「10人以上」の割合が高くなっています。



## イ) 知的障害

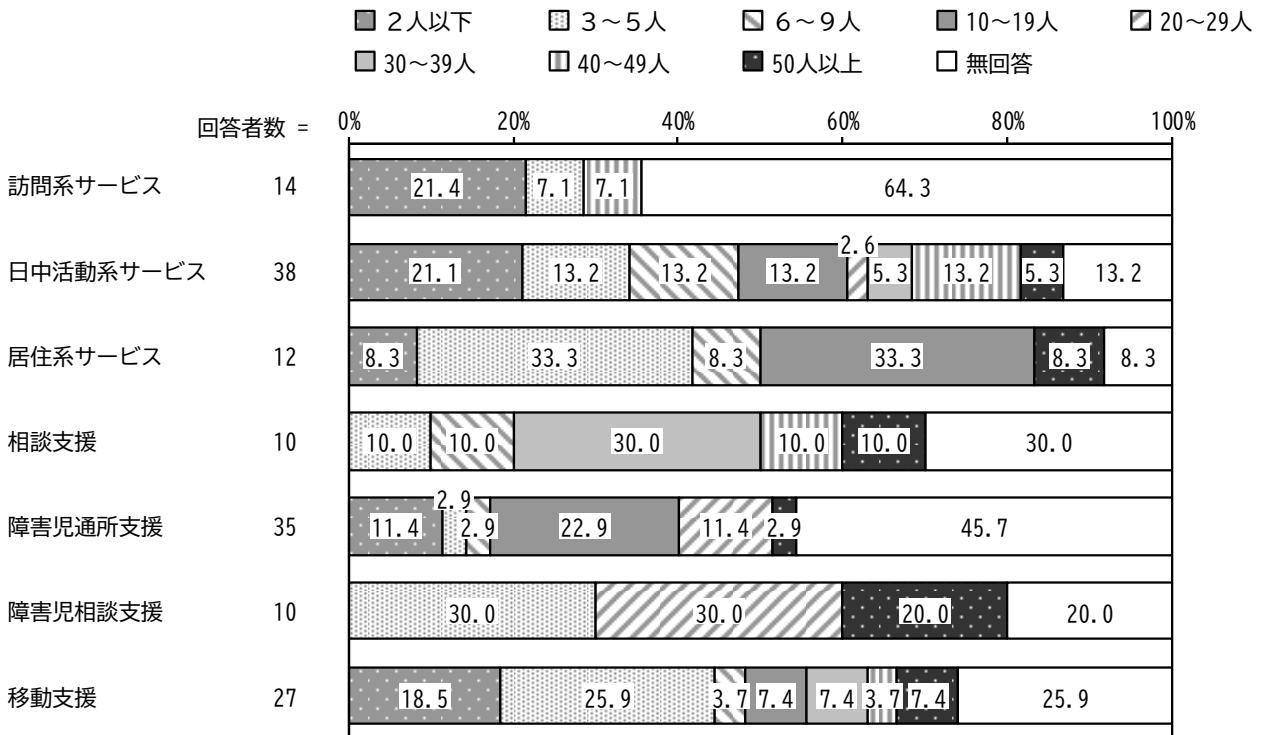
### 利用者数

「3～5人」の割合が15.5%と最も高く、次いで「2人以下」の割合が14.9%、「10～19人」の割合が12.8%となっています。



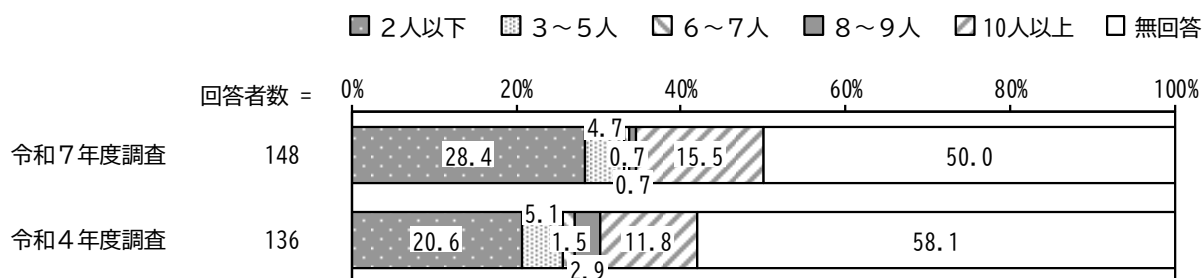
### 【サービス種別】

サービス種別にみると、居住系サービスで「3～5人」「10～19人」、障害児相談支援で「20～29人」「50人以上」、相談支援で「30～39人」の割合が高くなっています。



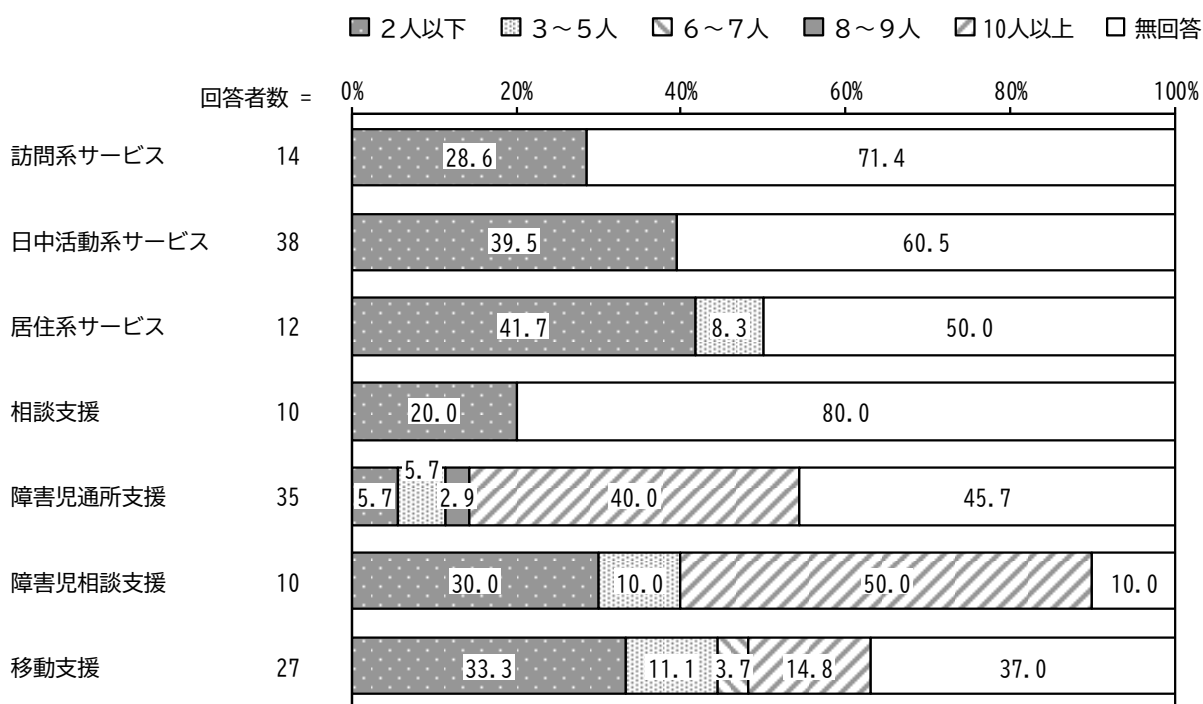
## うち、利用児童数

「2人以下」の割合が28.4%と最も高く、次いで「10人以上」の割合が15.5%となっています。  
令和4年度調査と比較すると、「2人以下」の割合が増加しています。



## 【サービス種別】

サービス種別にみると、日中活動系サービス、居住系サービスで「2人以下」、障害児相談支援、移動支援で「3~5人」、障害児相談支援で「10人以上」の割合が高くなっています。

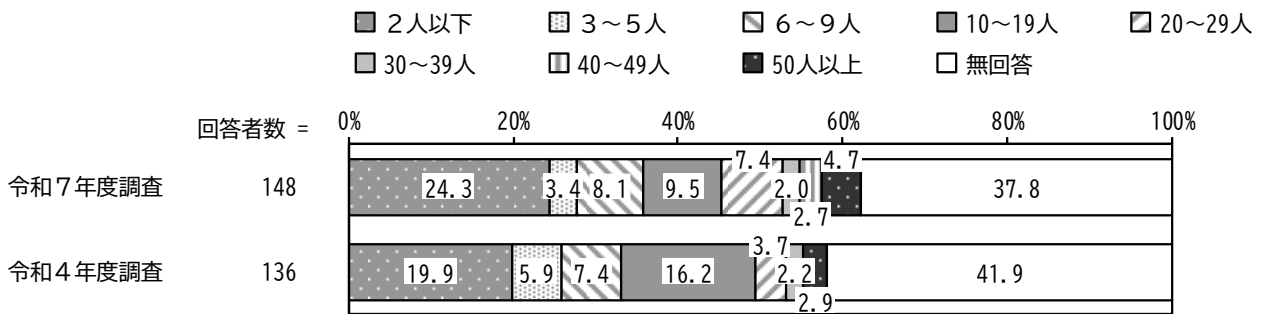


ウ) 精神障害

利用者数

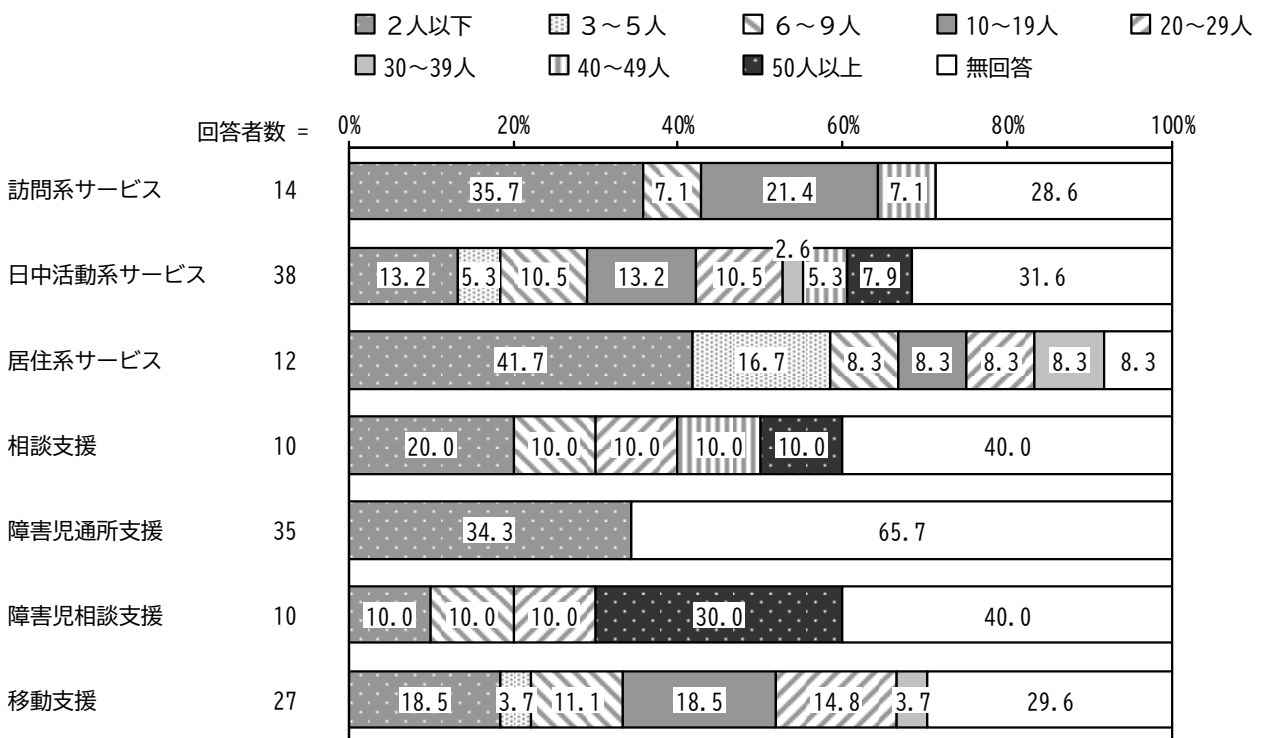
「2人以下」の割合が24.3%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「10～19人」の割合が減少しています。



【サービス種別】

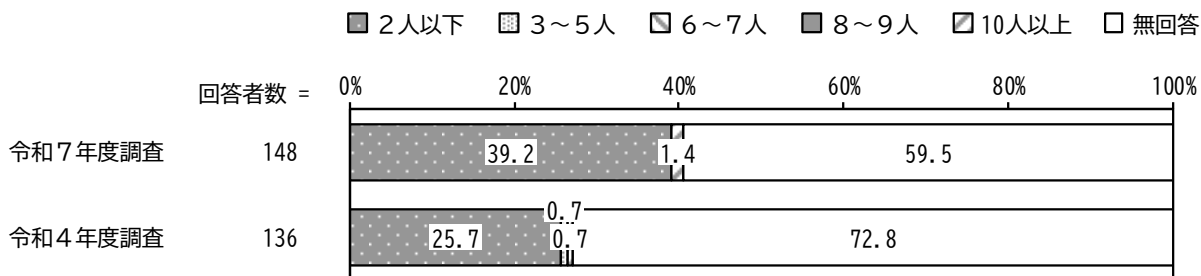
サービス種別に見ると、居住系サービスで「2人以下」「3～5人」、訪問系サービスで「10～19人」、障害児相談支援で「50人以上」の割合が高くなっています。



## うち、利用児童数

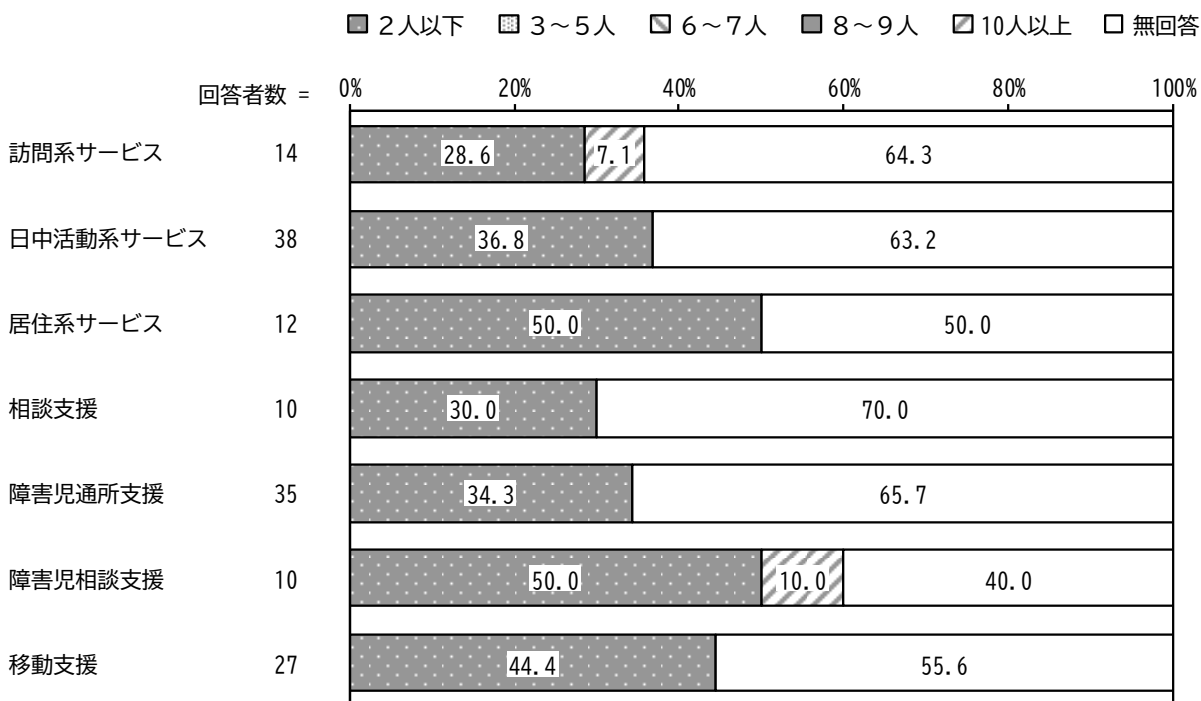
「2人以下」の割合が39.2%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「2人以下」の割合が増加しています。



## 【サービス種別】

サービス種別にみると、居住系サービス、障害児相談支援で「2人以下」、訪問系サービス、障害児相談支援で「10人以上」の割合が高くなっています。

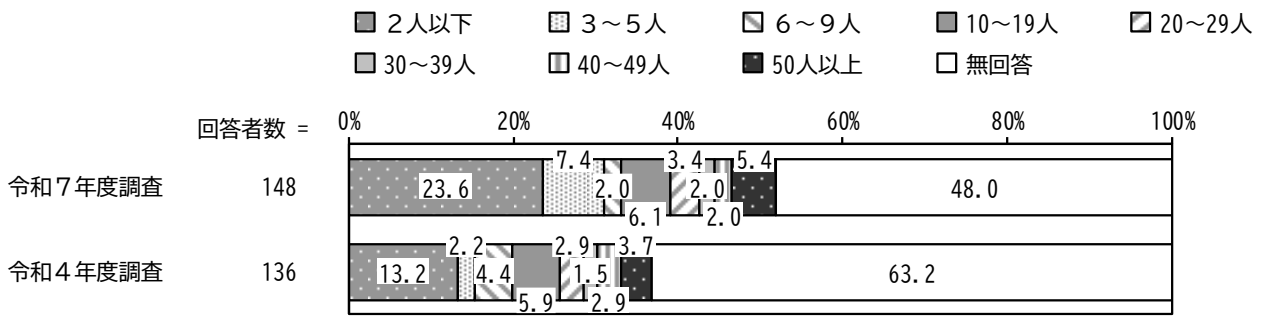


工) 発達障害

利用者数

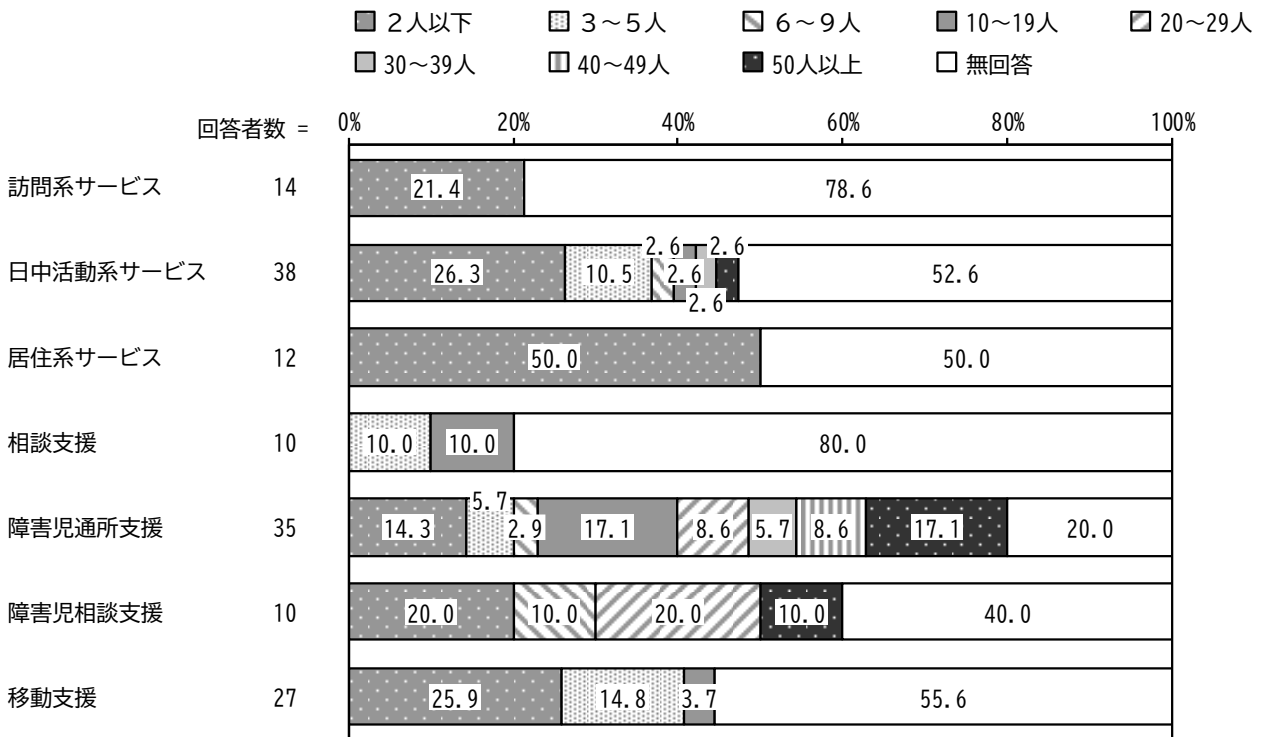
「2人以下」の割合が23.6%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「2人以下」「3～5人」の割合が増加しています。



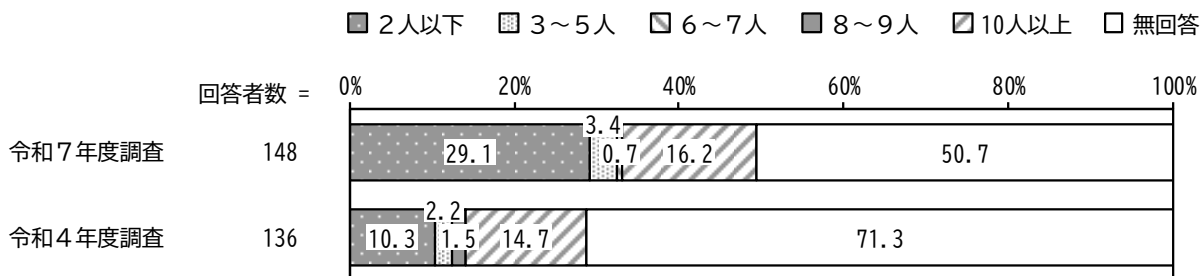
【サービス種別】

サービス種別に見ると、居住系サービスで「2人以下」、障害児通所支援で「10～19人」「50人以上」、障害児相談支援で「20～29人」の割合が高くなっています。



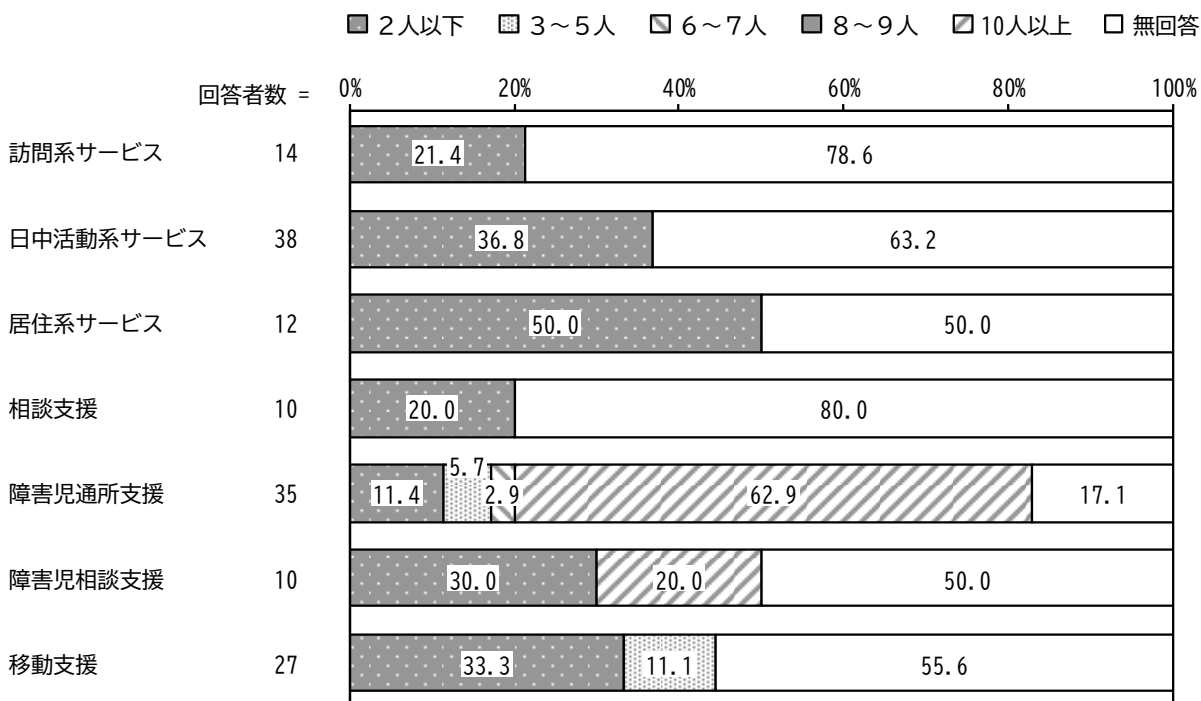
## うち、利用児童数

「2人以下」の割合が29.1%と最も高く、次いで「10人以上」の割合が16.2%となっています。令和4年度調査と比較すると、「2人以下」の割合が増加しています。



## 【サービス種別】

サービス種別に見ると、居住系サービスで「2人以下」、移動支援で「3~5人」、障害児通所支援で「10人以上」の割合が高くなっています。

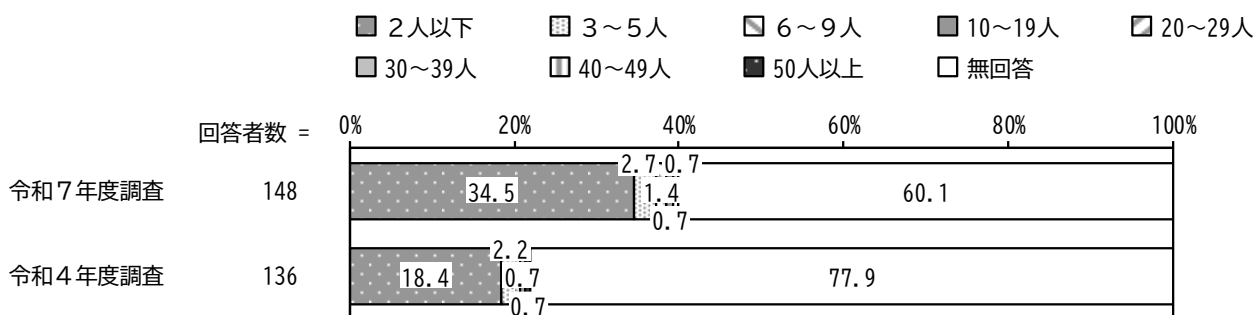


## オ) 高次脳機能障害

### 利用者数

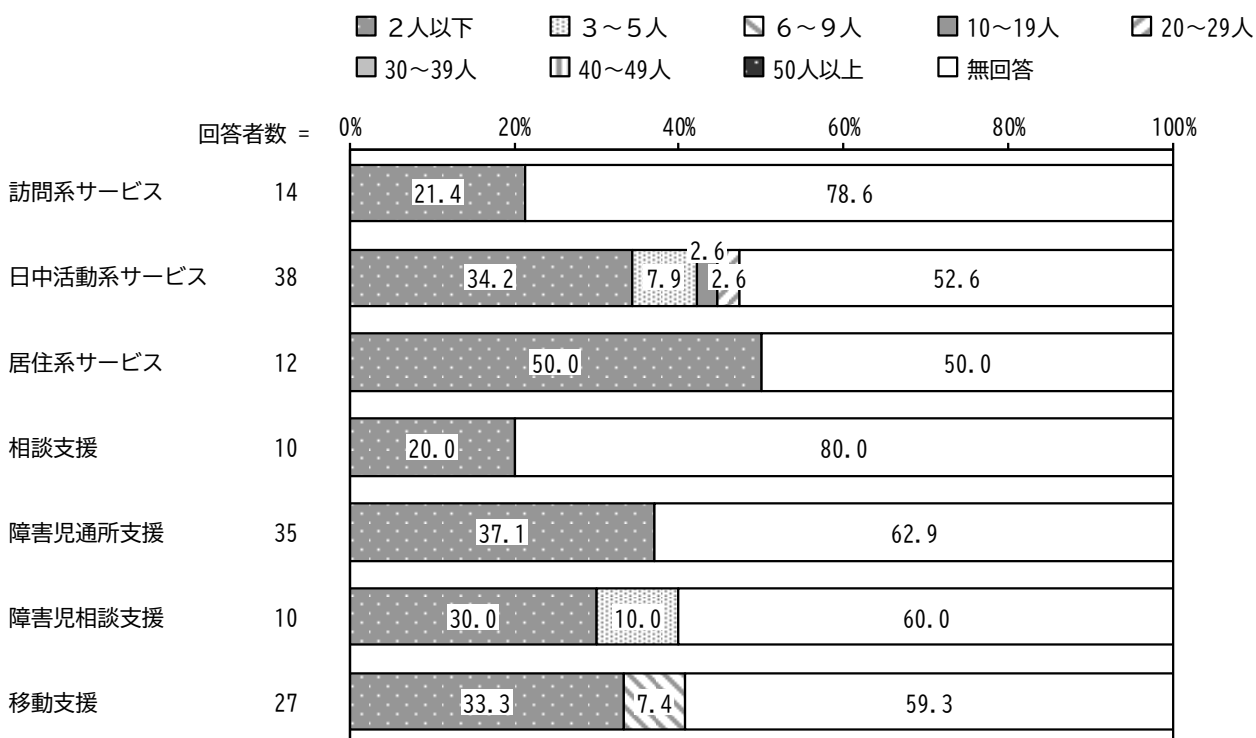
「2人以下」の割合が34.5%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「2人以下」の割合が増加しています。



### 【サービス種別】

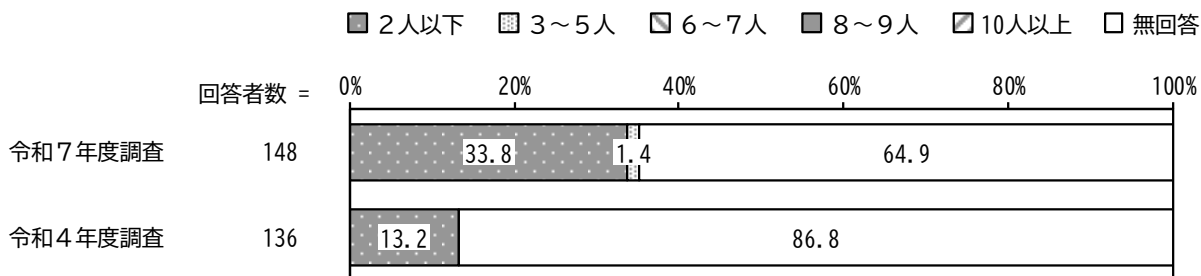
サービス種別に見ると、居住系サービスで「2人以下」、日中活動系サービス、障害児相談支援で「3~5人」、移動支援で「6~9人」の割合が高くなっています。



## うち、利用児童数

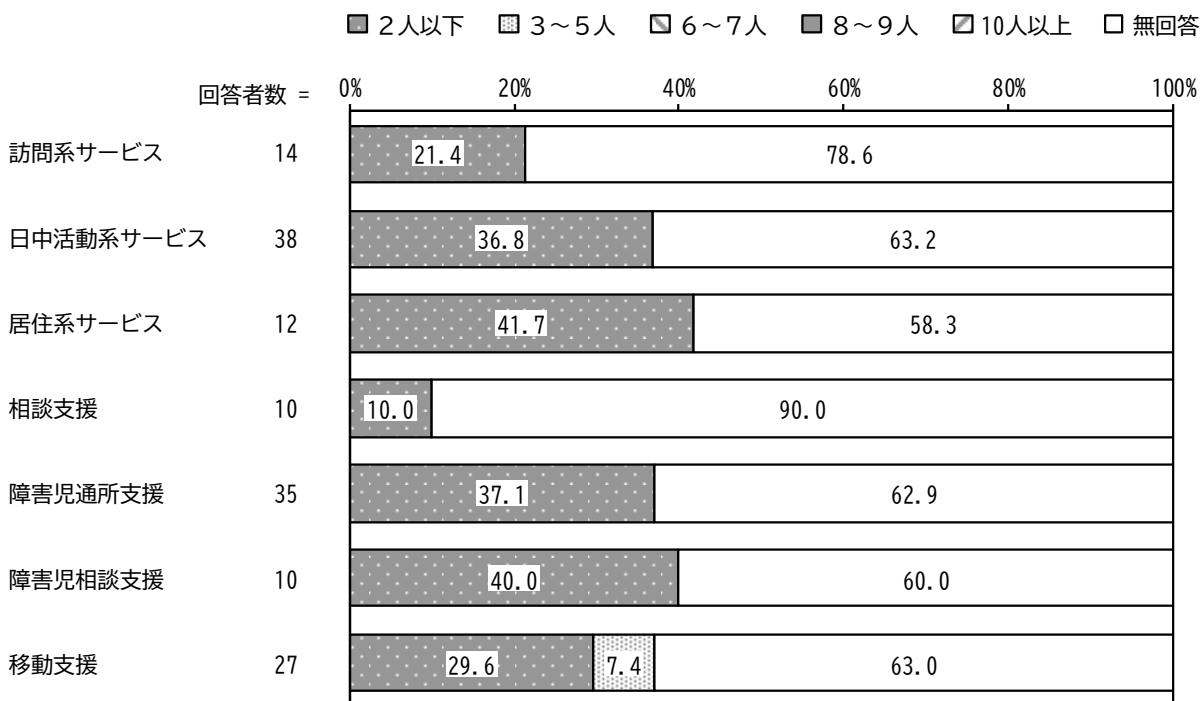
「2人以下」の割合が33.8%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「2人以下」の割合が増加しています。



## 【サービス種別】

サービス種別に見ると、居住系サービス、障害児相談支援で「2人以下」、移動支援で「3~5人」の割合が高くなっています。

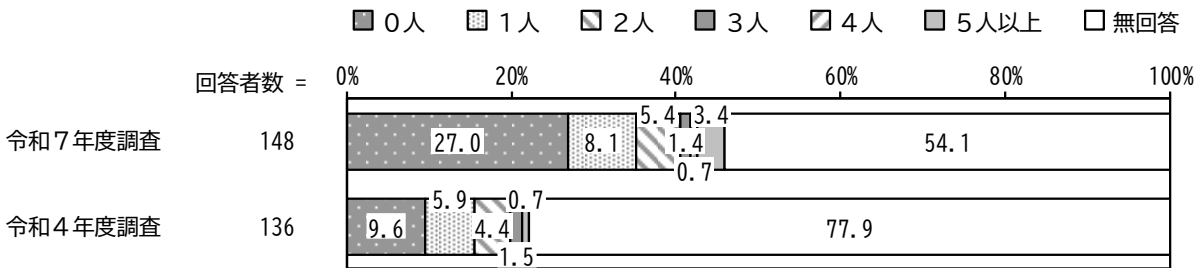


カ) 難病

利用者数

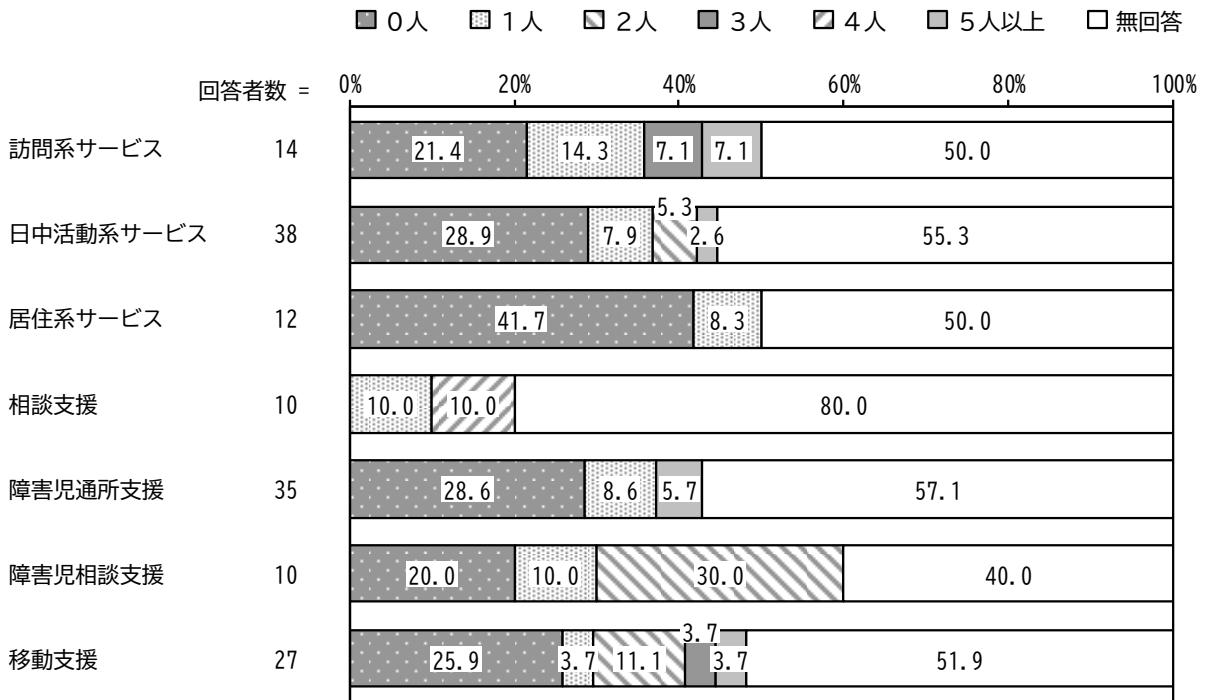
「0人」の割合が27.0%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「0人」の割合が増加しています。



【サービス種別】

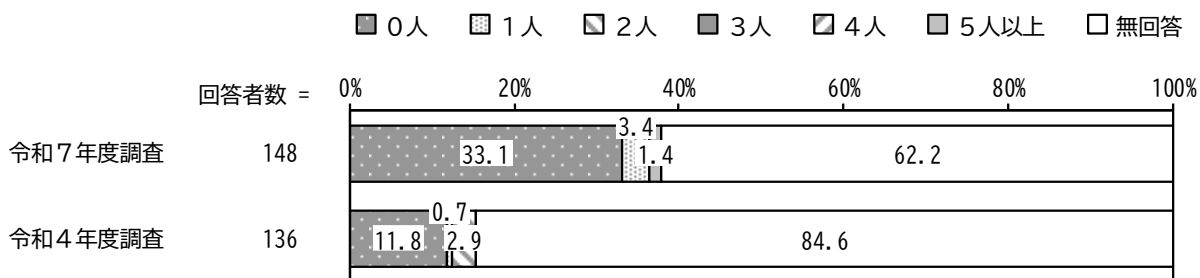
サービス種別にみると、居住系サービスで「0人」、訪問系サービスで「1人」「3人」、障害児相談支援で「2人」、相談支援で「4人」の割合が高くなっています。



## うち、利用児童数

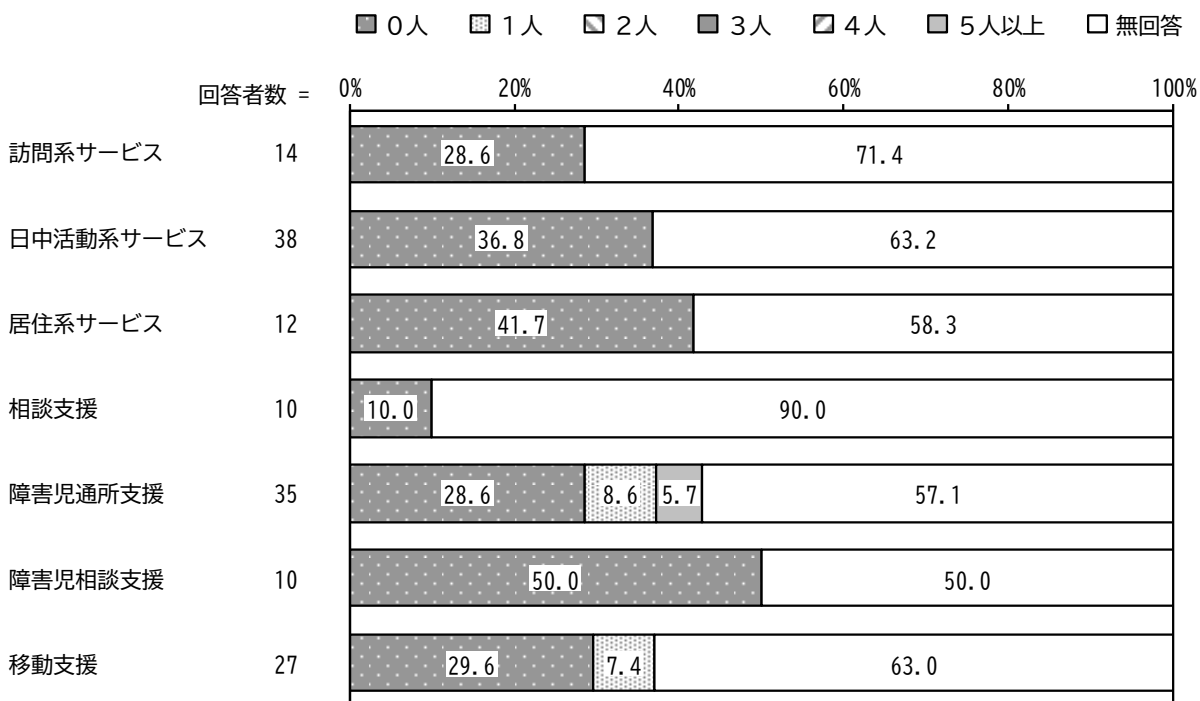
「0人」の割合が33.1%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「0人」の割合が増加しています。



## 【サービス種別】

サービス種別に見ると、障害児相談支援で「0人」、障害児通所支援で「1人」の割合が高くなっています。



問8 貴事業所におけるサービスの提供量について、現在の体制で、1か月あたり「実際に提供している量」と「提供可能な量」の両方について、時間/人日/人数の数字を記入してください。

※令和7年8月の1か月分の回答をお願いします。

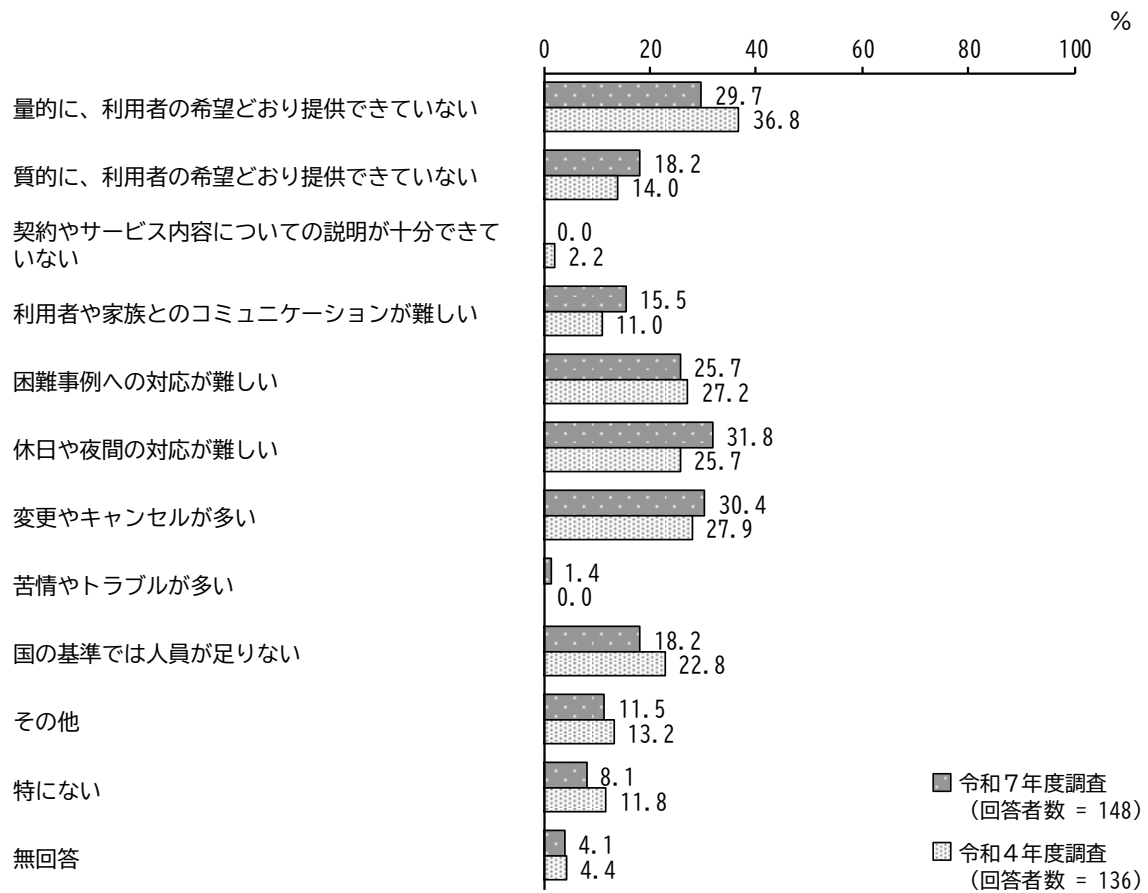
サービスの提供量について、回答があった事業所において「実際の提供量」は、概ね「提供可能な量」の範囲内となっています。

サービス種別	実際の提供量			提供可能な量		
	事業所数	総量	平均	事業所数	総量	平均
居宅介護（ホームヘルプ）	50	6865時間	137.3時間	46	7479時間	162.6時間
重度訪問介護	42	4042時間	96.2時間	39	4645時間	119.1時間
同行援護	35	652時間	18.6時間	32	613時間	19.2時間
行動援護	22	0時間	0.0時間	22	0時間	0.0時間
重度障害者等包括支援	22	457時間	20.8時間	23	457時間	19.9時間
生活介護	35	2176人日	62.2人日	34	2766人日	81.4人日
自立訓練（機能訓練）	23	0人日	0.0人日	23	0人日	0.0人日
自立訓練（生活訓練）	25	17人日	0.7人日	26	34人日	1.3人日
就労移行支援	29	289人日	9.9人日	29	514人日	17.7人日
就労定着支援	25	54人日	2.2人日	25	72人日	2.9人日
就労継続支援（A型）	23	20人日	0.9人日	24	20人日	0.8人日
就労継続支援（B型）	43	2562人日	59.6人日	42	2880人日	68.6人日
療養介護	22	0人日	0.0人日	23	0人日	0.0人日
短期入所	25	134人日	5.4人日	25	99人日	4.0人日
施設入所支援	24	43人	1.8人	24	45人	1.9人
共同生活援助（グループホーム）	35	1153人	32.9人	35	1362人	38.9人
自立生活援助	26	7人	0.3人	26	14人	0.5人
特定相談支援	36	692人	19.2人	34	762人	22.4人
地域移行支援	25	2人	0.1人	25	7人	0.3人
地域定着支援	24	1人	0.0人	25	7人	0.3人
移動支援	42	499人	11.9人	39	585人	15.0人
障害児相談支援	31	448時間	14.5時間	29	558時間	19.2時間
児童発達支援	37	1052人日	28.4人日	37	1158人日	31.3人日
医療型児童発達支援	21	0人日	0.0人日	21	0人日	0.0人日
放課後等デイサービス	35	1231人日	35.2人日	35	1369人日	39.1人日
保育所等訪問支援	22	19人日	0.9人日	22	11人日	0.5人日

問9 貴事業所で、サービスを提供する上で課題となっていることについて、あてはまるものに○をつけてください。(○は3つまで)

「休日や夜間の対応が難しい」の割合が31.8%と最も高く、次いで「変更やキャンセルが多い」の割合が30.4%、「量的に、利用者の希望どおり提供できていない」の割合が29.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「休日や夜間の対応が難しい」の割合が増加しています。一方、「量的に、利用者の希望どおり提供できていない」の割合が減少しています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、移動支援で「量的に、利用者の希望どおり提供できていない」「休日や夜間の対応が難しい」、相談支援、障害児相談支援で「質的に、利用者の希望どおり提供できていない」、日中活動系サービス、障害児相談支援で「利用者や家族とのコミュニケーションが難しい」、日中活動系サービスで「困難事例への対応が難しい」、障害児通所支援で「変更やキャンセルが多い」「国の基準では人員が足りない」の割合が高くなっています。

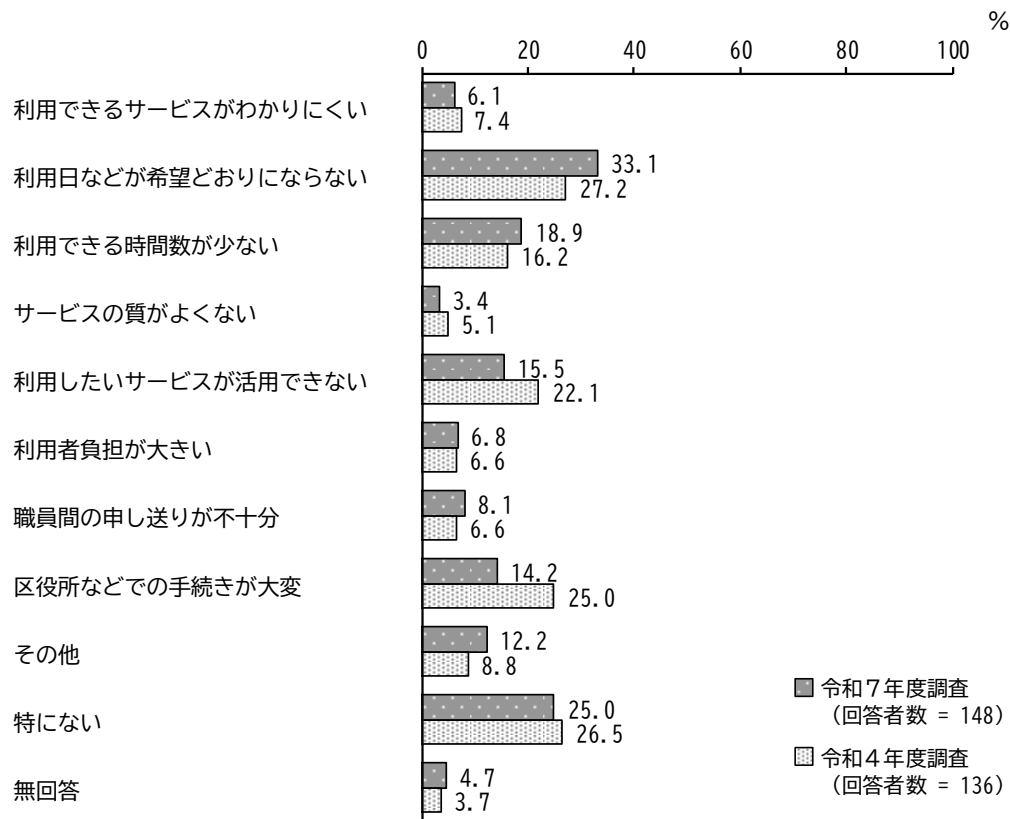
単位：％

区分	回答者数(件)	量的に、利用者の希望どおり提供できていない	質的に、利用者の希望どおり提供できていない	契約やサービス内容についての説明が十分できていない	利用者や家族とのコミュニケーションが難しい	困難事例への対応が難しい	休日や夜間の対応が難しい	変更やキャンセルが多い	苦情やトラブルが多い	国の基準では人員が足りない	その他	特になし	無回答
全体	148	29.7	18.2	0.0	15.5	25.7	31.8	30.4	1.4	18.2	11.5	8.1	4.1
訪問系サービス	14	50.0	14.3	0.0	21.4	21.4	35.7	28.6	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0
日中活動系サービス	38	5.3	21.1	0.0	31.6	44.7	23.7	23.7	2.6	18.4	10.5	10.5	5.3
居住系サービス	12	16.7	16.7	0.0	8.3	25.0	33.3	0.0	8.3	16.7	41.7	8.3	0.0
相談支援	10	20.0	30.0	0.0	10.0	30.0	40.0	20.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0
障害児通所支援	35	37.1	11.4	0.0	5.7	0.0	17.1	54.3	0.0	37.1	5.7	5.7	2.9
障害児相談支援	10	30.0	30.0	0.0	30.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	10.0	0.0	10.0
移動支援	27	55.6	18.5	0.0	3.7	25.9	59.3	29.6	0.0	3.7	11.1	3.7	7.4

問10 貴事業所では、サービス利用について、利用者やご家族の方から、どのような相談や苦情を受けることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「利用日などが希望どおりにならない」の割合が33.1%と最も高く、次いで「利用できる時間数が少ない」の割合が18.9%、「利用したいサービスが活用できない」の割合が15.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「利用日などが希望どおりにならない」の割合が増加しています。一方、「利用したいサービスが活用できない」「区役所などでの手続きが大変」の割合が減少しています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、障害児相談支援で「利用できるサービスがわかりにくい」「サービスの質がよくない」、訪問系サービスで「利用日などが希望どおりにならない」、移動支援で「利用できる時間数が少ない」、相談支援、障害児相談支援で「利用したいサービスが活用できない」の割合が高くなっています。

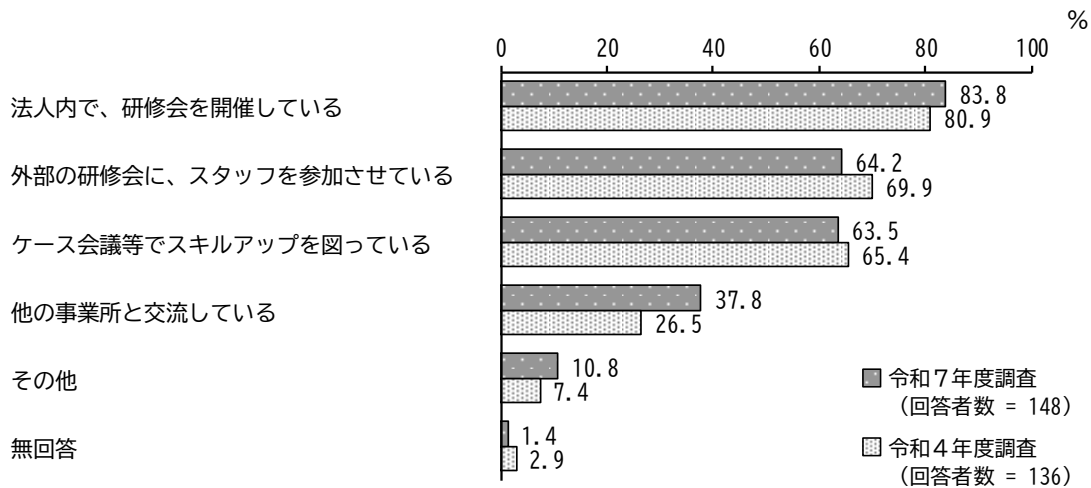
単位：%

区分	回答者数(件)	利用できるサービスがわかりにくい	利用日などが希望どおりにならない	利用できる時間数が少ない	サービスの質がよくない	利用したいサービスが活用できない	利用者負担が大きい	職員間の申し送りが不十分	区役所などでの手続きが大変	その他	特にない	無回答
全体	148	6.1	33.1	18.9	3.4	15.5	6.8	8.1	14.2	12.2	25.0	4.7
訪問系サービス	14	0.0	57.1	35.7	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	28.6	7.1
日中活動系サービス	38	10.5	2.6	2.6	2.6	7.9	15.8	13.2	21.1	26.3	26.3	2.6
居住系サービス	12	0.0	16.7	8.3	0.0	8.3	8.3	16.7	16.7	0.0	50.0	8.3
相談支援	10	10.0	20.0	0.0	10.0	40.0	10.0	10.0	10.0	30.0	20.0	0.0
障害児通所支援	35	2.9	51.4	20.0	0.0	8.6	2.9	0.0	8.6	11.4	22.9	5.7
障害児相談支援	10	20.0	50.0	30.0	20.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0
移動支援	27	3.7	44.4	40.7	3.7	25.9	3.7	7.4	11.1	3.7	22.2	3.7

問 11 貴事業所では、スタッフの質の向上など人材を育成するために、どのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「法人内で、研修会を開催している」の割合が 83.8%と最も高く、次いで「外部の研修会に、スタッフを参加させている」の割合が 64.2%、「ケース会議等でスキルアップを図っている」の割合が 63.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「他の事業所と交流している」の割合が増加しています。一方、「外部の研修会に、スタッフを参加させている」の割合が減少しています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、居住系サービスで「外部の研修会に、スタッフを参加させている」、日中活動系サービスで「ケース会議等でスキルアップを図っている」、障害児相談支援で「他の事業所と交流している」の割合が高くなっています。

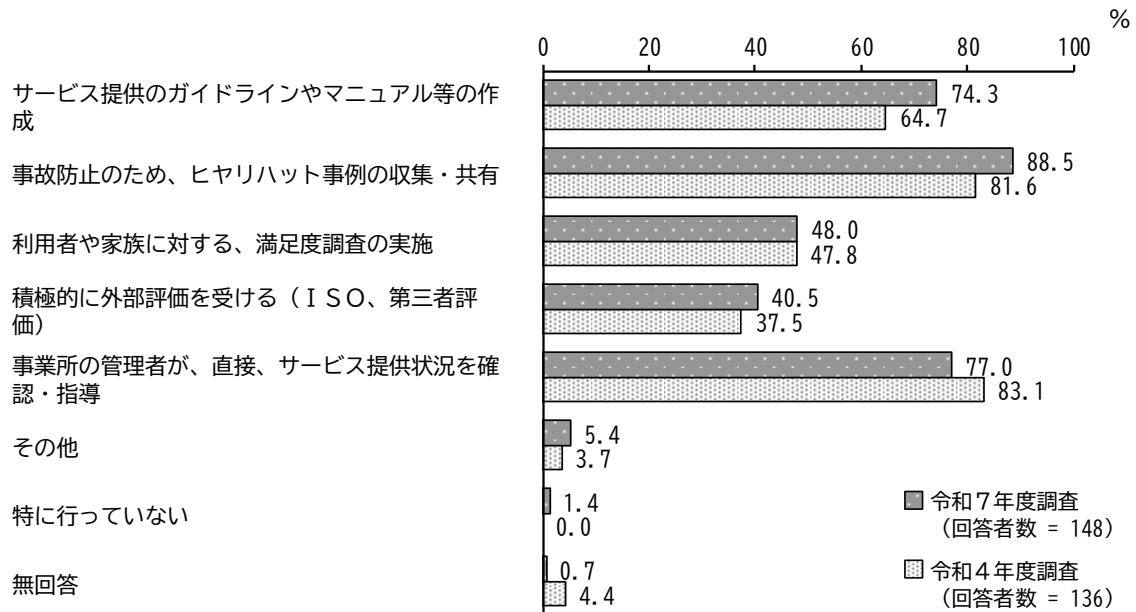
単位：%

区分	回答者数 (件)	法人内で、研修会を開催している	外部の研修会に、スタッフを参加させている	ケース会議等でスキルアップを図っている	他の事業所と交流している	その他	無回答
全体	148	83.8	64.2	63.5	37.8	10.8	1.4
訪問系サービス	14	92.9	21.4	50.0	21.4	7.1	0.0
日中活動系サービス	38	84.2	81.6	78.9	52.6	13.2	2.6
居住系サービス	12	91.7	91.7	50.0	33.3	16.7	0.0
相談支援	10	70.0	80.0	50.0	50.0	10.0	0.0
障害児通所支援	35	80.0	62.9	68.6	37.1	17.1	0.0
障害児相談支援	10	80.0	80.0	70.0	70.0	10.0	0.0
移動支援	27	88.9	40.7	55.6	14.8	0.0	3.7

問 12 (1) 貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「事故防止のため、ヒヤリハット事例の収集・共有」の割合が 88.5%と最も高く、次いで「事業所の管理者が、直接、サービス提供状況を確認・指導」の割合が 77.0%、「サービス提供のガイドラインやマニュアル等の作成」の割合が 74.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「サービス提供のガイドラインやマニュアル等の作成」「事故防止のため、ヒヤリハット事例の収集・共有」の割合が増加しています。一方、「事業所の管理者が、直接、サービス提供状況を確認・指導」の割合が減少しています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、障害児相談支援で「サービス提供のガイドラインやマニュアル等の作成」、障害児通所支援で「利用者や家族に対する、満足度調査の実施」、居住系サービスで「積極的に外部評価を受ける (ISO、第三者評価)」の割合が高くなっています。

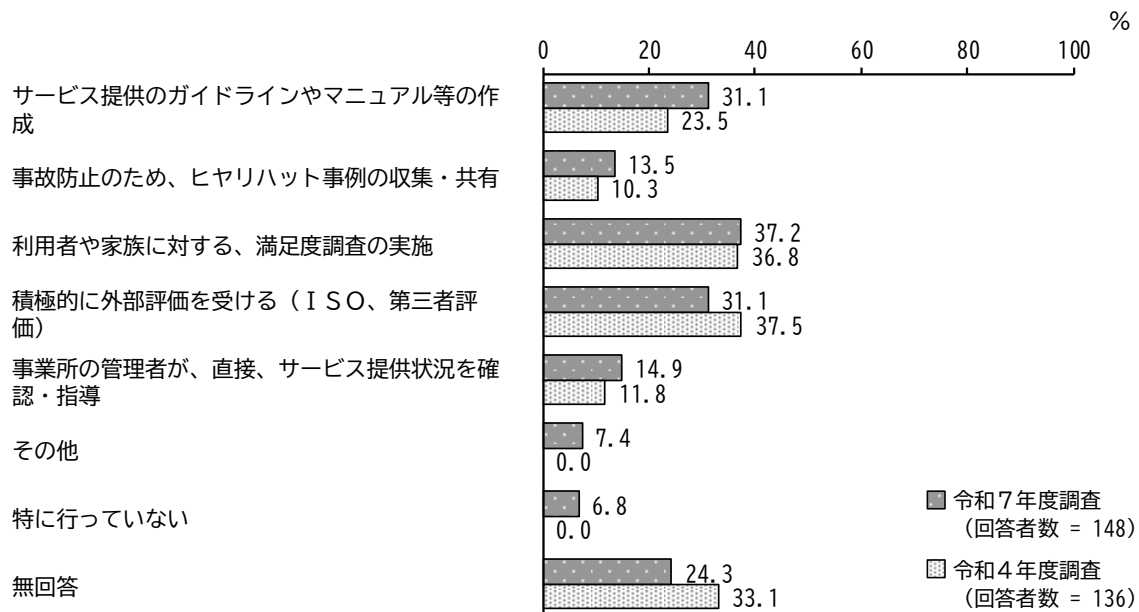
単位：%

区分	回答者数 (件)	サービス提供のガイドラインやマニュアル等の作成	事故防止のため、ヒヤリハット事例の収集・共有	利用者や家族に対する、満足度調査の実施	積極的に外部評価を受ける (ISO、第三者評価)	事業所の管理者が、直接、サービス提供状況を確認・指導	その他	特に行っていない	無回答
全体	148	74.3	88.5	48.0	40.5	77.0	5.4	1.4	0.7
訪問系サービス	14	78.6	64.3	14.3	7.1	64.3	14.3	7.1	0.0
日中活動系サービス	38	63.2	81.6	39.5	71.1	76.3	2.6	2.6	0.0
居住系サービス	12	75.0	91.7	16.7	83.3	83.3	0.0	0.0	0.0
相談支援	10	50.0	100.0	60.0	60.0	60.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援	35	80.0	100.0	88.6	34.3	85.7	11.4	0.0	0.0
障害児相談支援	10	90.0	80.0	50.0	30.0	80.0	10.0	0.0	0.0
移動支援	27	85.2	96.3	33.3	3.7	74.1	0.0	0.0	3.7

問12(2) また、今後どのような取組を行っていかうと考えていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「利用者や家族に対する、満足度調査の実施」の割合が37.2%と最も高く、次いで「サービス提供のガイドラインやマニュアル等の作成」、「積極的に外部評価を受ける（ISO、第三者評価）」の割合が31.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「サービス提供のガイドラインやマニュアル等の作成」の割合が増加しています。一方、「積極的に外部評価を受ける（ISO、第三者評価）」の割合が減少しています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、相談支援で「サービス提供のガイドラインやマニュアル等の作成」、日中活動系サービス、障害児相談支援で「利用者や家族に対する、満足度調査の実施」、訪問系サービスで「積極的に外部評価を受ける（ISO、第三者評価）」、居住系サービスで「事業所の管理者が、直接、サービス提供状況を確認・指導」の割合が高くなっています。

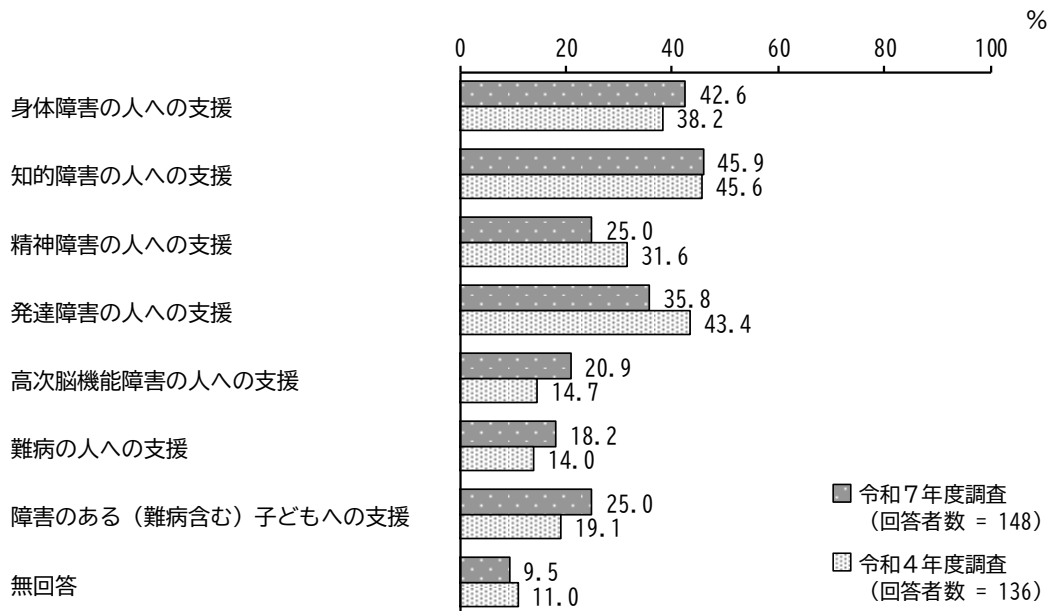
単位：%

区分	回答者数(件)	サービス提供のガイドラインやマニュアル等の作成	事故防止のため、ヒヤリハット事例の収集・共有	利用者や家族に対する、満足度調査の実施	積極的に外部評価を受ける（ISO、第三者評価）	事業所の管理者が、直接、サービス提供状況を確認・指導	その他	特に行っていない	無回答
全体	148	31.1	13.5	37.2	31.1	14.9	7.4	6.8	24.3
訪問系サービス	14	14.3	7.1	42.9	42.9	0.0	7.1	7.1	14.3
日中活動系サービス	38	42.1	15.8	50.0	26.3	21.1	5.3	0.0	23.7
居住系サービス	12	33.3	16.7	41.7	33.3	25.0	0.0	8.3	16.7
相談支援	10	50.0	0.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	30.0
障害児通所支援	35	28.6	17.1	14.3	37.1	14.3	17.1	14.3	22.9
障害児相談支援	10	20.0	10.0	50.0	40.0	10.0	20.0	10.0	20.0
移動支援	27	22.2	14.8	44.4	25.9	14.8	0.0	3.7	37.0

問13 貴事業所が、障害福祉サービス等の質の向上を図っていく上で、今後、支援を拡充したいと思う分野はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「知的障害の人への支援」の割合が45.9%と最も高く、次いで「身体障害の人への支援」の割合が42.6%、「発達障害の人への支援」の割合が35.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「高次脳機能障害の人への支援」「障害のある（難病含む）子どもへの支援」の割合が増加しています。一方、「精神障害の人への支援」「発達障害の人への支援」の割合が減少しています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、移動支援で「身体障害の人への支援」、居住系サービスで「知的障害の人への支援」「精神障害の人への支援」、日中活動系サービス、障害児通所支援で「発達障害の人への支援」、日中活動系サービスで「高次脳機能障害の人への支援」、訪問系サービスで「難病の人への支援」、障害児相談支援で「障害のある（難病含む）子どもへの支援」の割合が高くなっています。

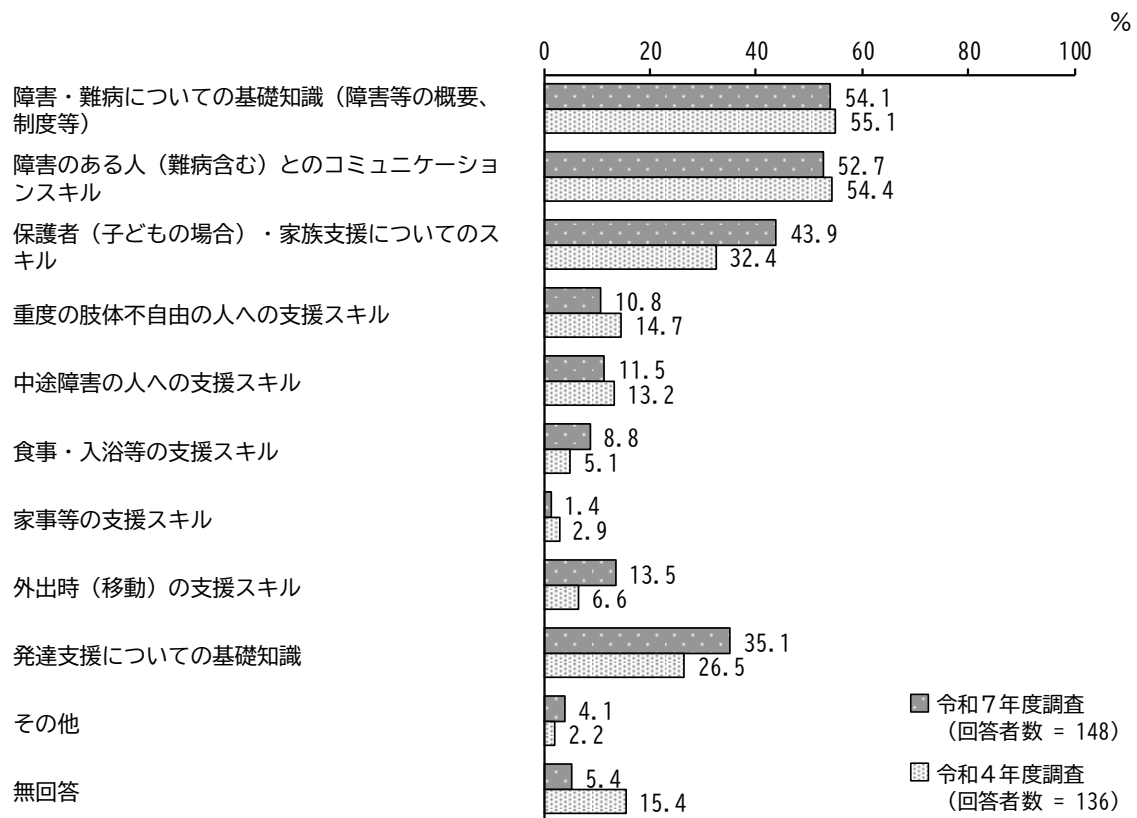
単位：%

区分	回答者数(件)	身体障害の人への支援	知的障害の人への支援	精神障害の人への支援	発達障害の人への支援	高次脳機能障害の人への支援	難病の人への支援	障害のある（難病含む）子どもへの支援	無回答
全体	148	42.6	45.9	25.0	35.8	20.9	18.2	25.0	9.5
訪問系サービス	14	57.1	42.9	35.7	21.4	14.3	28.6	21.4	14.3
日中活動系サービス	38	44.7	50.0	34.2	50.0	39.5	26.3	5.3	5.3
居住系サービス	12	33.3	75.0	58.3	25.0	25.0	16.7	8.3	0.0
相談支援	10	60.0	60.0	20.0	20.0	30.0	20.0	0.0	20.0
障害児通所支援	35	5.7	42.9	11.4	51.4	5.7	8.6	51.4	11.4
障害児相談支援	10	40.0	40.0	10.0	40.0	20.0	20.0	60.0	10.0
移動支援	27	77.8	29.6	18.5	14.8	14.8	14.8	25.9	11.1

問 14 貴事業所が、障害福祉サービス等の質の向上を図っていく上で、今後、知識やスキルを拡充したいと思う分野について、あてはまるものに○をつけてください。(○は3つまで)

「障害・難病についての基礎知識（障害等の概要、制度等）」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「障害のある人（難病含む）とのコミュニケーションスキル」の割合が 52.7%、「保護者（子どもの場合）・家族支援についてのスキル」の割合が 43.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「保護者（子どもの場合）・家族支援についてのスキル」「外出時（移動）の支援スキル」「発達支援についての基礎知識」の割合が増加しています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、日中活動系サービス、居住系サービスで「障害・難病についての基礎知識（障害等の概要、制度等）」、障害児相談支援で「障害のある人（難病含む）とのコミュニケーションスキル」、障害児通所支援で「保護者（子どもの場合）・家族支援についてのスキル」「発達支援についての基礎知識」、相談支援で「重度の肢体不自由の人への支援スキル」「食事・入浴等の支援スキル」、移動支援で「中途障害の人への支援スキル」「外出時（移動）の支援スキル」の割合が高くなっています。

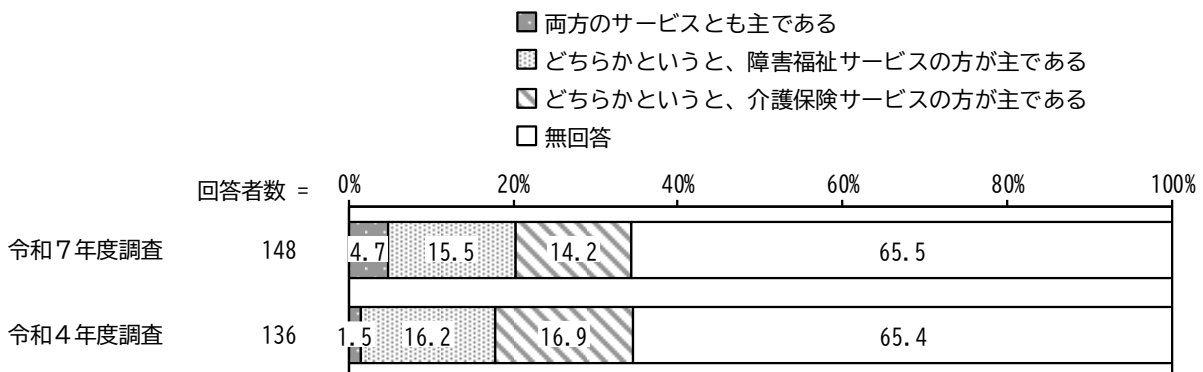
単位：％

区分	回答者数（件）	障害・難病についての基礎知識（障害等の概要、制度等）	障害のある人（難病含む）とのコミュニケーションスキル	保護者（子どもの場合）・家族支援についてのスキル	重度の肢体不自由の人への支援スキル	中途障害の人への支援スキル	食事・入浴等の支援スキル	家事等の支援スキル	外出時（移動）の支援スキル	発達支援についての基礎知識	その他	無回答
全 体	148	54.1	52.7	43.9	10.8	11.5	8.8	1.4	13.5	35.1	4.1	5.4
訪問系サービス	14	50.0	57.1	14.3	0.0	7.1	7.1	7.1	21.4	21.4	7.1	7.1
日中活動系サービス	38	65.8	63.2	42.1	5.3	15.8	7.9	0.0	13.2	23.7	5.3	2.6
居住系サービス	12	66.7	66.7	8.3	25.0	8.3	16.7	8.3	0.0	50.0	0.0	0.0
相談支援	10	60.0	50.0	40.0	30.0	10.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0	20.0
障害児通所支援	35	34.3	34.3	85.7	2.9	0.0	0.0	0.0	8.6	68.6	8.6	2.9
障害児相談支援	10	60.0	70.0	50.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	10.0
移動支援	27	51.9	44.4	22.2	22.2	22.2	18.5	0.0	29.6	14.8	0.0	7.4

### (3) 事業所運営について

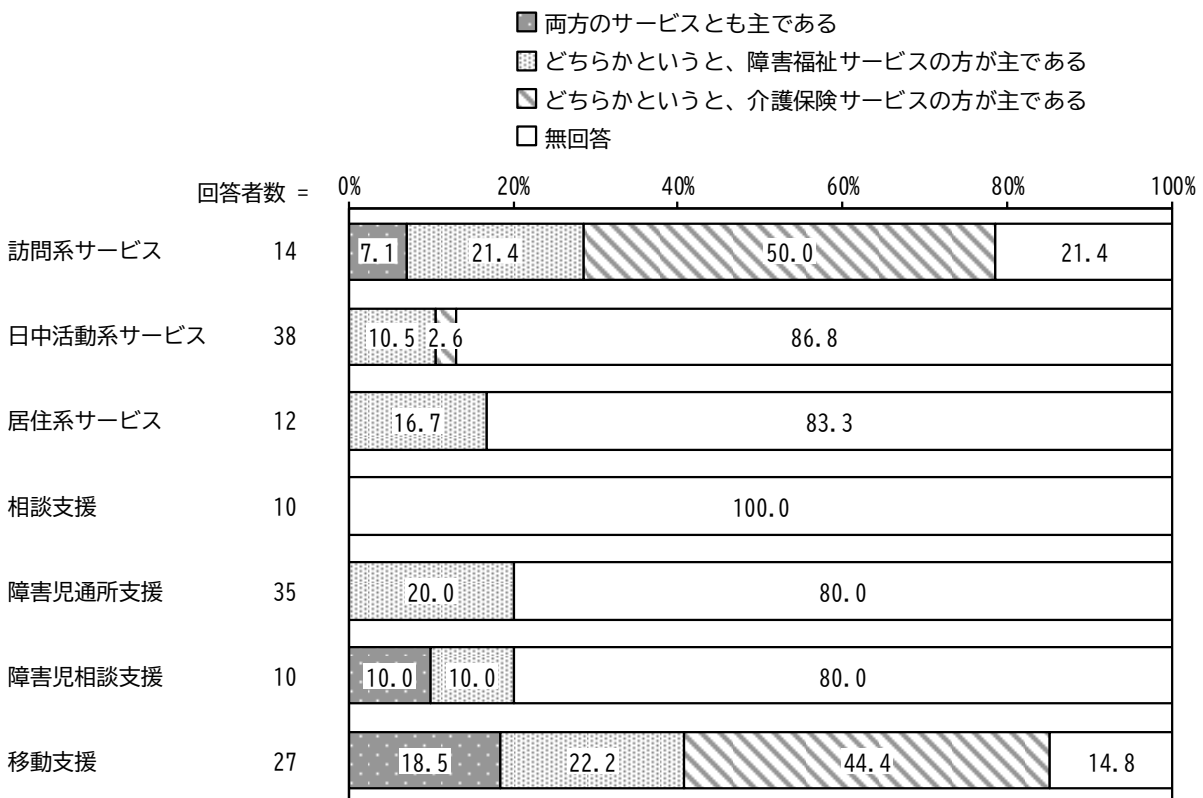
問 15 介護保険サービスの指定を受けている事業所におたずねします。貴事業所の提供する「障害福祉サービス」および「介護保険サービス」について、力の入れ方でもっとも近いものはどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「両方のサービスとも主である」の割合が 4.7%、「どちらかというと、障害福祉サービスの方が主である」の割合が 15.5%、「どちらかというと、介護保険サービスの方が主である」の割合が 14.2%となっています。



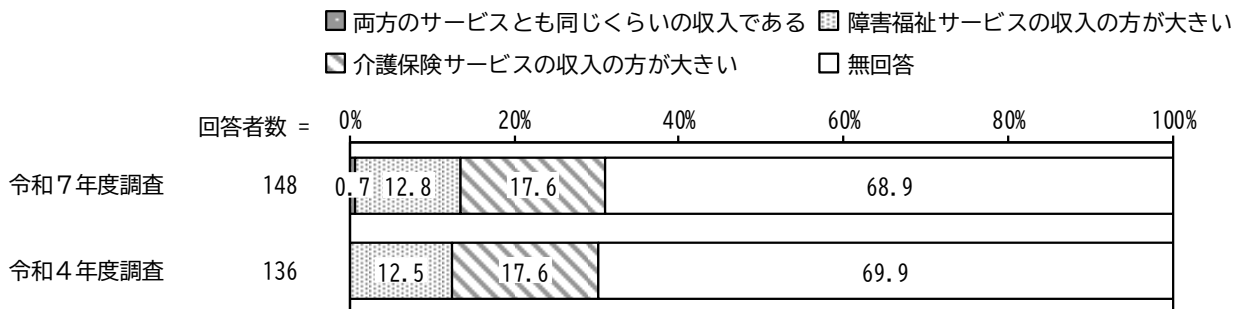
#### 【サービス種別】

サービス種別にみると、移動支援で「両方のサービスとも主である」、訪問系サービスで「どちらかというと、介護保険サービスの方が主である」の割合が高くなっています。



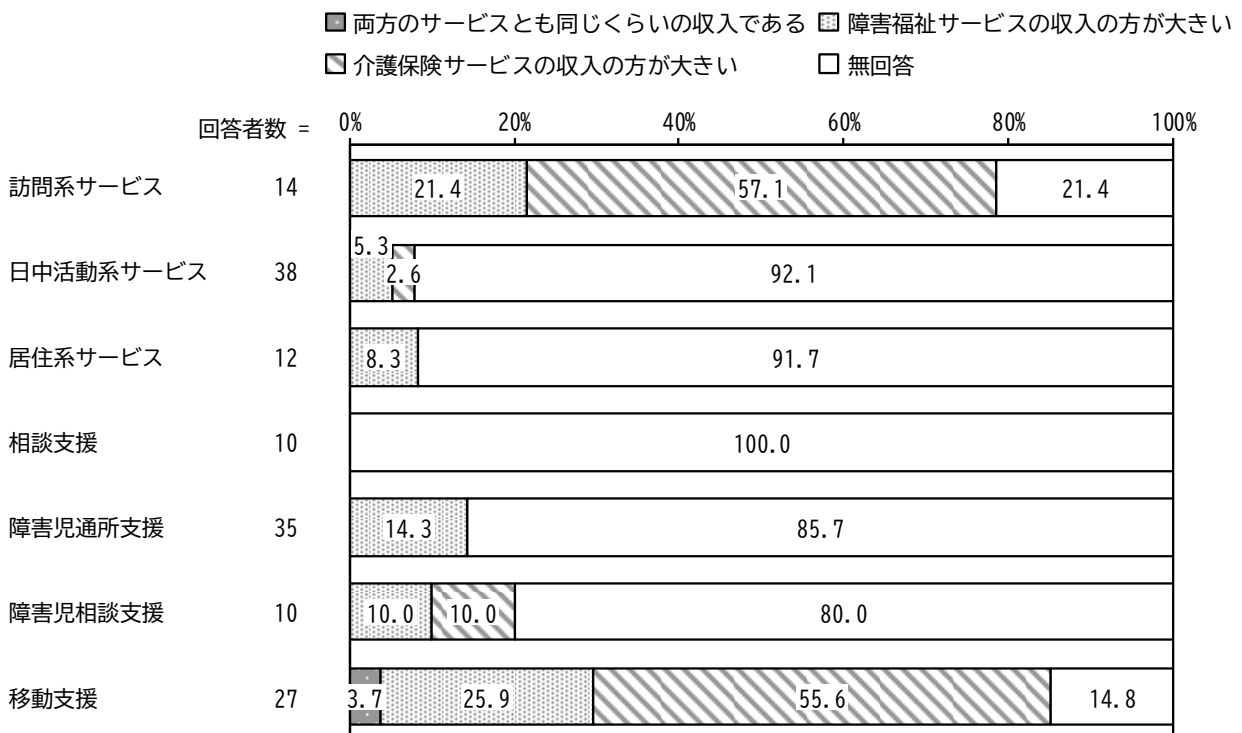
問 16 介護保険サービスの指定を受けている事業所におたずねします。貴事業所の収入（売り上げベース）で見た場合、障害福祉サービスと介護保険サービスの割合について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

「両方のサービスとも同じくらいの収入である」の割合が 0.7%、「障害福祉サービスの収入の方が大きい」の割合が 12.8%、「介護保険サービスの収入の方が大きい」の割合が 17.6%となっています。



【サービス種別】

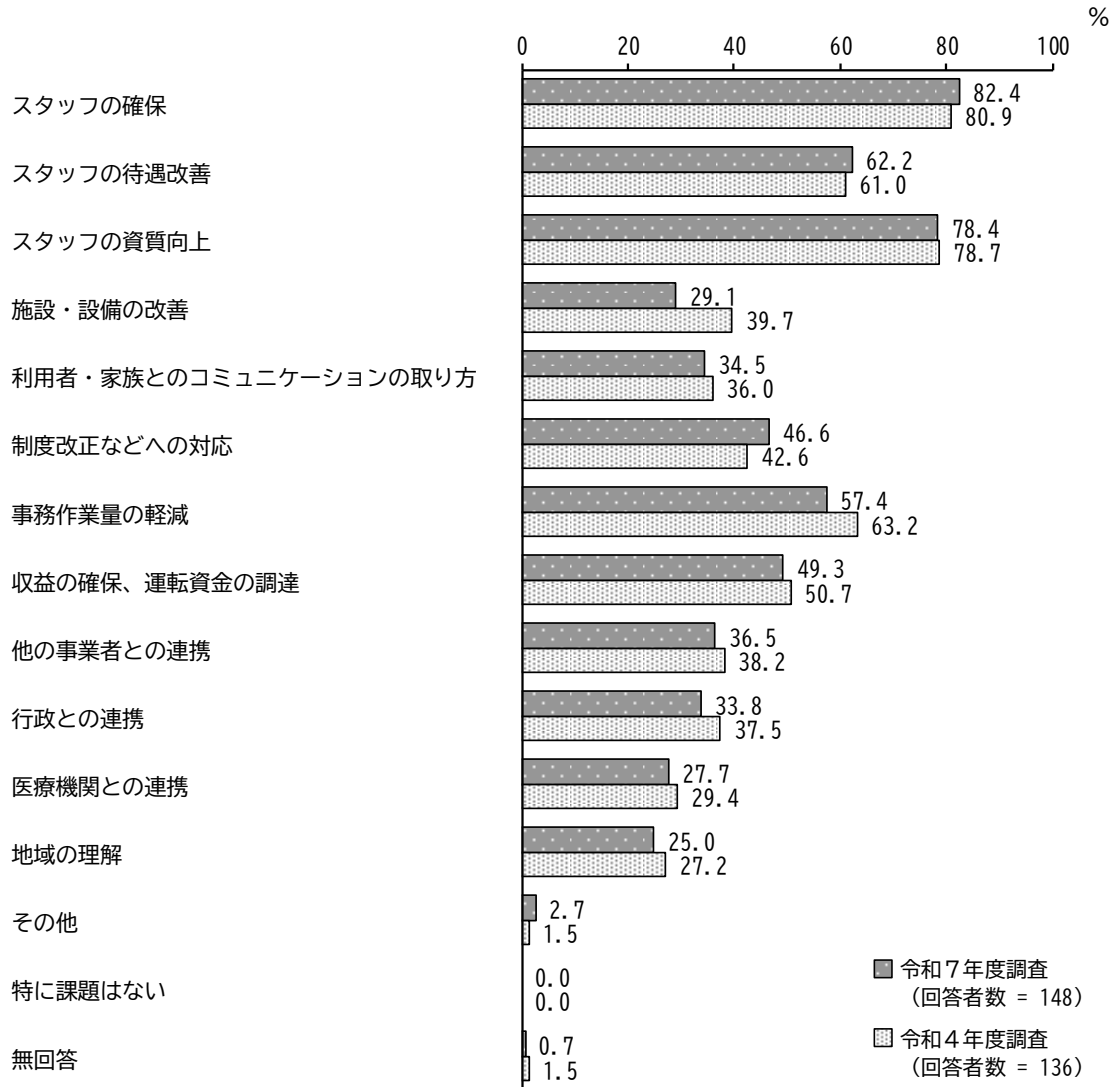
サービス種別にみると、移動支援で「障害福祉サービスの収入の方が大きい」、訪問系サービス、移動支援で「介護保険サービスの収入の方が大きい」の割合が高くなっています。



問17 貴事業所を経営していく上での課題について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「スタッフの確保」の割合が82.4%と最も高く、次いで「スタッフの資質向上」の割合が78.4%、「スタッフの待遇改善」の割合が62.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「施設・設備の改善」「事務作業量の軽減」の割合が減少しています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、移動支援で「スタッフの確保」、障害児通所支援で「スタッフの資質向上」、居住系サービスで「施設・設備の改善」「事務作業量の軽減」「医療機関との連携」、障害児相談支援で「制度改正などへの対応」「収益の確保、運転資金の調達」「他の事業者との連携」「行政との連携」「地域の理解」の割合が高くなっています。

単位：％

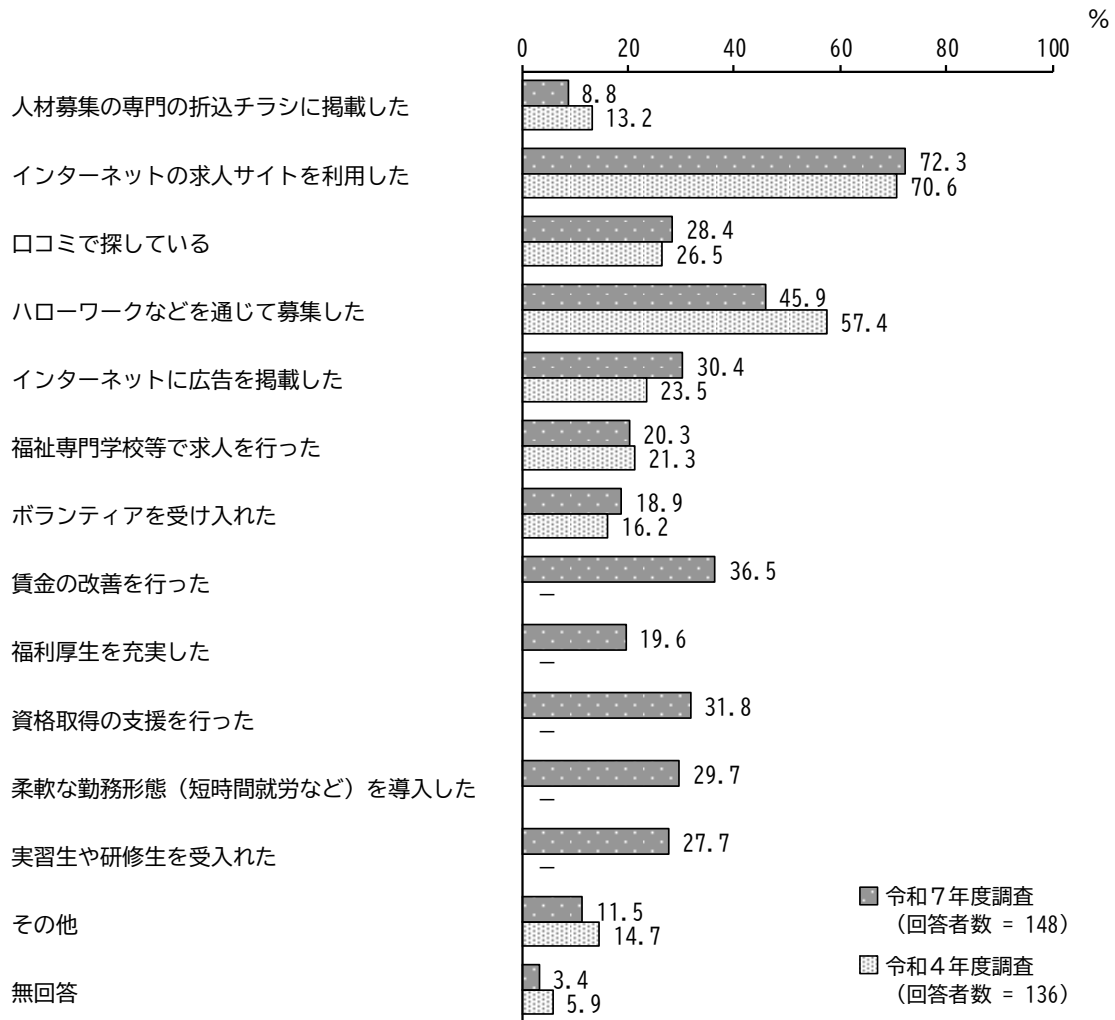
区分	回答者数(件)	スタッフの確保	スタッフの待遇改善	スタッフの資質向上	施設・設備の改善	利用者・家族とのコミュニケーションの取り方	制度改正などへの対応	事務作業量の軽減
全体	148	82.4	62.2	78.4	29.1	34.5	46.6	57.4
訪問系サービス	14	85.7	50.0	57.1	0.0	35.7	57.1	50.0
日中活動系サービス	38	76.3	71.1	81.6	44.7	36.8	50.0	57.9
居住系サービス	12	83.3	41.7	75.0	50.0	41.7	33.3	75.0
相談支援	10	60.0	60.0	80.0	20.0	30.0	40.0	50.0
障害児通所支援	35	91.4	68.6	88.6	37.1	37.1	54.3	57.1
障害児相談支援	10	60.0	40.0	80.0	40.0	40.0	70.0	60.0
移動支援	27	96.3	70.4	70.4	3.7	25.9	29.6	59.3

区分	収益の確保、運転資金の調達	他の事業者との連携	行政との連携	医療機関との連携	地域の理解	その他	特に課題はない	無回答
全体	49.3	36.5	33.8	27.7	25.0	2.7	0.0	0.7
訪問系サービス	50.0	35.7	28.6	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
日中活動系サービス	57.9	44.7	42.1	44.7	36.8	5.3	0.0	2.6
居住系サービス	50.0	33.3	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0
相談支援	40.0	40.0	50.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援	51.4	42.9	31.4	22.9	34.3	5.7	0.0	0.0
障害児相談支援	70.0	60.0	60.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0
移動支援	33.3	7.4	18.5	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0

問 18 貴事業所では、人材を確保するために、どのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「インターネットの求人サイトを利用した」の割合が 72.3%と最も高く、次いで「ハローワークなどを通じて募集した」の割合が 45.9%、「賃金の改善を行った」の割合が 36.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「インターネットに広告を掲載した」の割合が増加しています。一方、「ハローワークなどを通じて募集した」の割合が減少しています。



※「賃金の改善を行った」、「福利厚生を充実した」、「資格取得の支援を行った」、「柔軟な勤務形態（短時間就労など）を導入した」、「実習生や研修生を受入れた」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

【サービス種別】

サービス種別にみると、障害児通所支援で「インターネットの求人サイトを利用した」「福利厚生を充実した」、移動支援で「口コミで探している」「ハローワークなどを通じて募集した」、訪問系サービスで「インターネットに広告を掲載した」「資格取得の支援を行った」、障害児相談支援で「福祉専門学校等で求人を行った」「実習生や研修生を受入れた」、日中活動系サービスで「ボランティアを受け入れた」、訪問系サービス、障害児相談支援で「柔軟な勤務形態（短時間就労など）を導入した」の割合が高くなっています。

単位：％

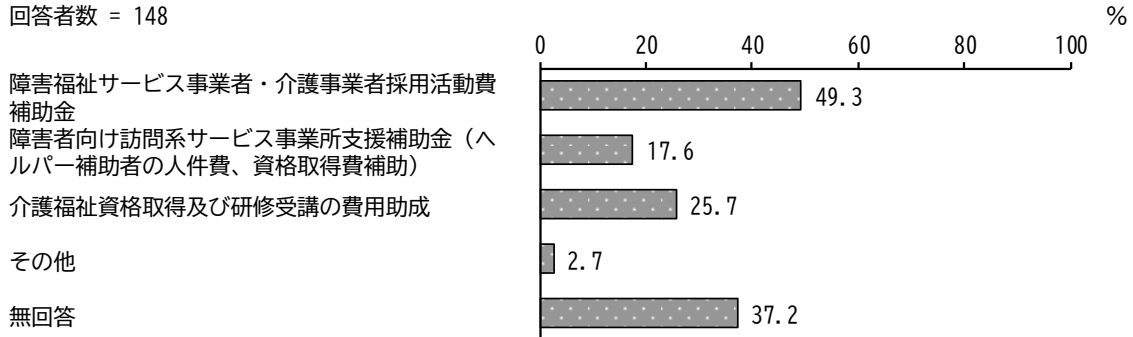
区分	回答者数 (件)	人材募集の専門的 折込チラシに掲載 した	インターネットの 求人サイトを利用 した	口コミで探してい る	ハローワークなど を通じて募集した	インターネットに 広告を掲載した	福祉専門学校等 で求人を行った	ボラン ティアを受 け入れた
全 体	148	8.8	72.3	28.4	45.9	30.4	20.3	18.9
訪問系サービス	14	7.1	50.0	35.7	28.6	50.0	7.1	0.0
日中活動系サービス	38	10.5	78.9	13.2	47.4	18.4	26.3	36.8
居住系サービス	12	8.3	66.7	25.0	66.7	33.3	33.3	0.0
相談支援	10	0.0	70.0	30.0	30.0	40.0	30.0	20.0
障害児通所支援	35	8.6	82.9	25.7	28.6	40.0	17.1	28.6
障害児相談支援	10	10.0	60.0	20.0	40.0	30.0	40.0	10.0
移動支援	27	11.1	70.4	55.6	77.8	22.2	7.4	3.7

区分	賃金の改善を行っ た	福利厚生を充実し た	資格取得の支援を 行った	柔軟な勤務形態（短 時間就労など）を導 入した	実習生や研修生を 受入れた	その他	無回答
全 体	36.5	19.6	31.8	29.7	27.7	11.5	3.4
訪問系サービス	42.9	28.6	57.1	42.9	7.1	21.4	0.0
日中活動系サービス	36.8	10.5	21.1	31.6	42.1	13.2	2.6
居住系サービス	41.7	16.7	25.0	25.0	8.3	16.7	0.0
相談支援	20.0	10.0	10.0	30.0	50.0	10.0	20.0
障害児通所支援	37.1	31.4	25.7	22.9	25.7	11.4	2.9
障害児相談支援	30.0	10.0	30.0	40.0	60.0	10.0	10.0
移動支援	40.7	22.2	51.9	25.9	11.1	3.7	0.0

問 19 区では福祉サービス事業所での福祉人材を確保・定着につなげるため、次の補助金事業等を実施しています。活用したもの、今後検討するものすべてに○をつけてください。

「障害福祉サービス事業者・介護事業者採用活動費補助金」の割合が 49.3%、「障害者向け訪問系サービス事業所支援補助金（ヘルパー補助者の人件費、資格取得費補助）」の割合が 17.6%、「介護福祉資格取得及び研修受講の費用助成」の割合が 25.7%となっています。

回答者数 = 148



【サービス種別】

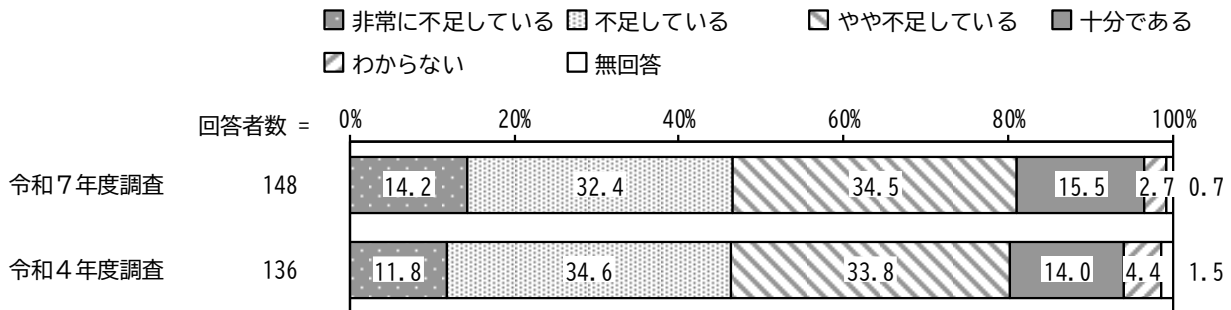
サービス種別にみると、障害児通所支援で「障害福祉サービス事業者・介護事業者採用活動費補助金」、訪問系サービスで「障害者向け訪問系サービス事業所支援補助金（ヘルパー補助者の人件費、資格取得費補助）」「介護福祉資格取得及び研修受講の費用助成」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	障害福祉サービス事業者・介護事業者採用活動費補助金	障害者向け訪問系サービス事業所支援補助金（ヘルパー補助者の人件費、資格取得費補助）	介護福祉資格取得及び研修受講の費用助成	その他	無回答
全体	148	49.3	17.6	25.7	2.7	37.2
訪問系サービス	14	28.6	42.9	78.6	0.0	14.3
日中活動系サービス	38	47.4	10.5	15.8	0.0	47.4
居住系サービス	12	41.7	0.0	16.7	0.0	50.0
相談支援	10	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
障害児通所支援	35	62.9	8.6	14.3	8.6	31.4
障害児相談支援	10	30.0	20.0	10.0	10.0	50.0
移動支援	27	51.9	37.0	48.1	0.0	29.6

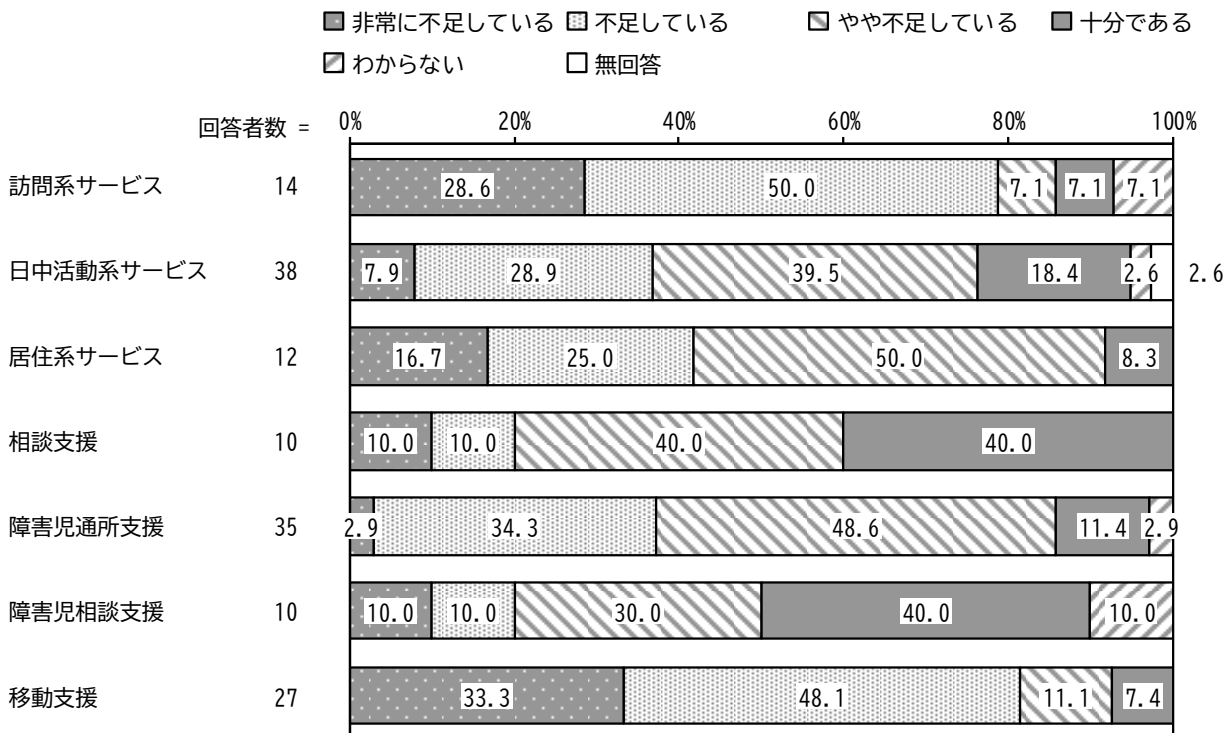
問 20 職員数は充足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「やや不足している」の割合が34.5%と最も高く、次いで「不足している」の割合が32.4%、「十分である」の割合が15.5%となっています。



【サービス種別】

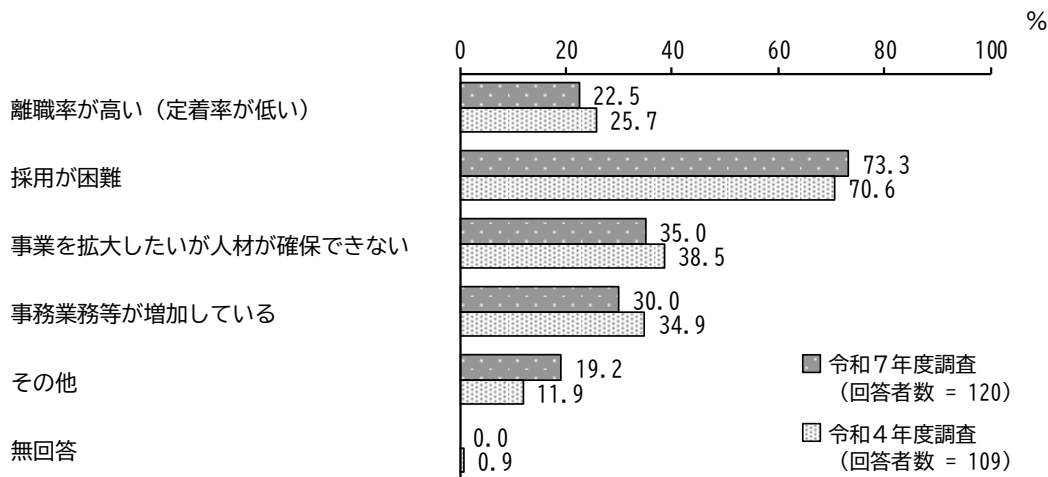
サービス種別にみると、移動支援で「非常に不足している」、訪問系サービス、移動支援で「不足している」、居住系サービス、障害児通所支援で「やや不足している」、相談支援、障害児相談支援で「十分である」の割合が高くなっています。



問 20 で「非常に不足している」～「やや不足している」に○をつけた事業所にうかがいます。

問 20-1 その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「採用が困難」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「事業を拡大したいが人材が確保できない」の割合が 35.0%、「事務業務等が増加している」の割合が 30.0%となっています。



【サービス種別】

サービス種別にみると、障害児通所支援で「離職率が高い (定着率が低い)」、訪問系サービスで「採用が困難」「事業を拡大したいが人材が確保できない」、居住系サービス、移動支援で「事務業務等が増加している」の割合が高くなっています。

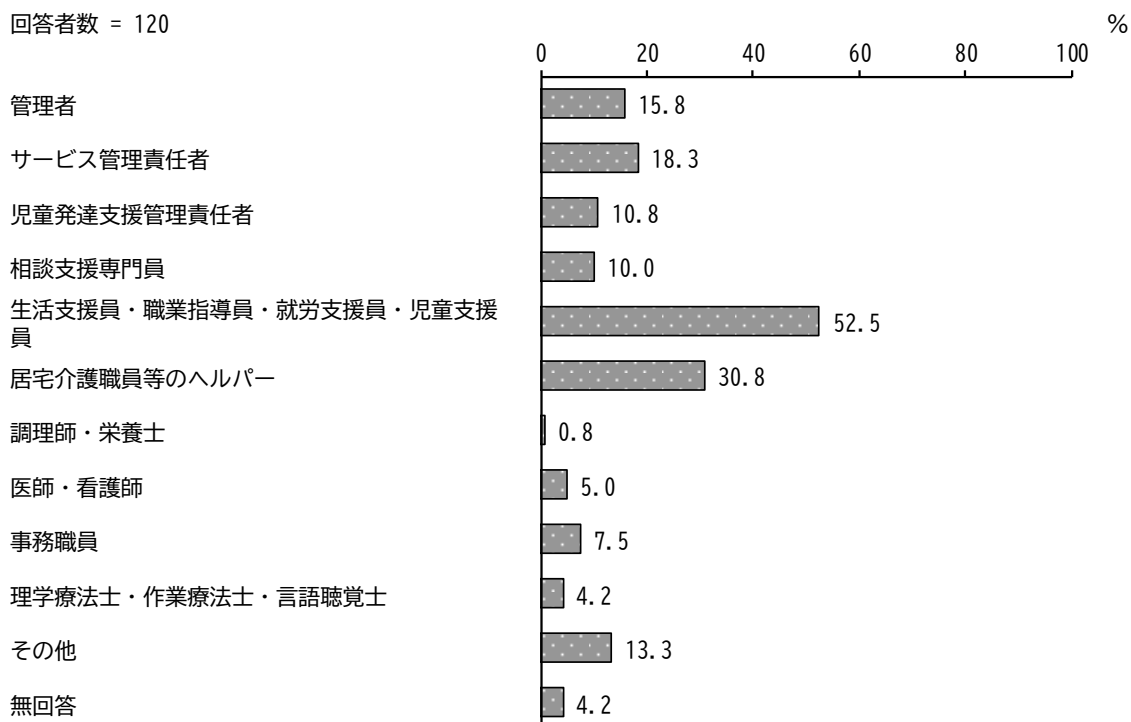
単位：%

区分	回答者数 (件)	離職率が高い (定着率が低い)	採用が困難	事業を拡大したいが人材が確保できない	事務業務等が増加している	その他	無回答
全 体	120	22.5	73.3	35.0	30.0	19.2	0.0
訪問系サービス	12	16.7	83.3	66.7	41.7	8.3	0.0
日中活動系サービス	29	24.1	75.9	27.6	37.9	20.7	0.0
居住系サービス	11	0.0	72.7	18.2	45.5	18.2	0.0
相談支援	6	16.7	83.3	16.7	16.7	16.7	0.0
障害児通所支援	30	33.3	66.7	26.7	3.3	23.3	0.0
障害児相談支援	5	20.0	40.0	0.0	40.0	40.0	0.0
移動支援	25	24.0	76.0	56.0	44.0	12.0	0.0

問 20 で「非常に不足している」～「やや不足している」に○をつけた事業所にうかがいます。

問 20-2 職員が不足しているのは、どの職種ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「生活支援員・職業指導員・就労支援員・児童支援員」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「居宅介護職員等のヘルパー」の割合が 30.8%、「サービス管理責任者」の割合が 18.3%となっています。



### 【サービス種別】

サービス種別にみると、移動支援で「管理者」、訪問系サービスで「サービス管理責任者」、障害児通所支援で「児童発達支援管理責任者」、日中活動系サービスで「生活支援員・職業指導員・就労支援員・児童支援員」、訪問系サービス、移動支援で「居宅介護職員等のヘルパー」の割合が高くなっています。

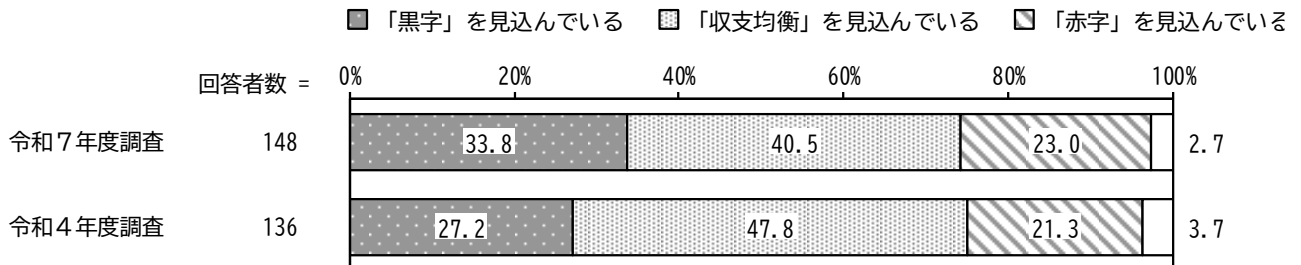
単位：%

区分	回答者数(件)	管理者	サービス管理責任者	児童発達支援管理責任者	相談支援専門員	生活支援員・職業指導員・就労支援員・児童支援員	居宅介護職員等のヘルパー	調理師・栄養士	医師・看護師	事務職員	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	その他	無回答
全体	120	15.8	18.3	10.8	10.0	52.5	30.8	0.8	5.0	7.5	4.2	13.3	4.2
訪問系サービス	12	16.7	41.7	0.0	0.0	0.0	91.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
日中活動系サービス	29	10.3	27.6	0.0	10.3	89.7	3.4	3.4	6.9	10.3	0.0	3.4	0.0
居住系サービス	11	9.1	18.2	0.0	0.0	54.5	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	27.3	27.3
相談支援	6	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援	30	20.0	0.0	40.0	3.3	70.0	0.0	0.0	10.0	0.0	13.3	26.7	3.3
障害児相談支援	5	0.0	0.0	20.0	40.0	80.0	20.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0
移動支援	25	28.0	28.0	0.0	12.0	0.0	92.0	0.0	0.0	4.0	0.0	16.0	4.0

問 21 貴事業所の今年度の収支状況（見込み）について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

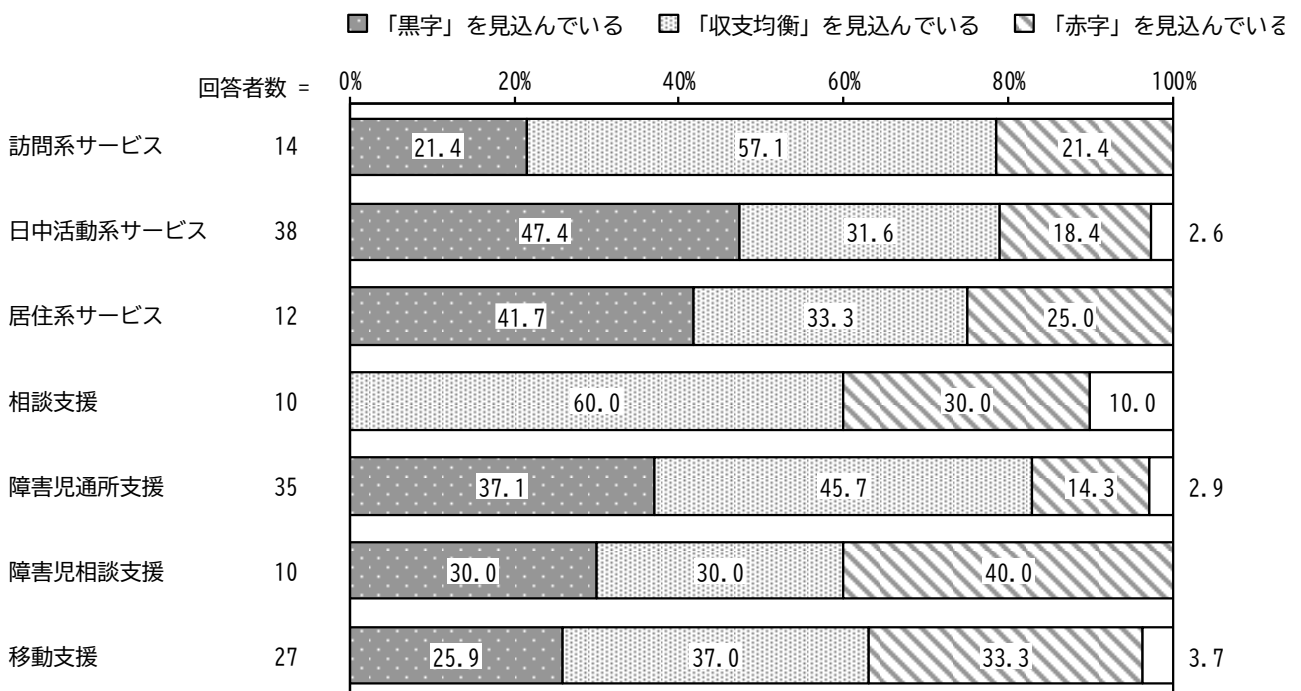
「黒字」を見込んでいる」の割合が33.8%、「収支均衡」を見込んでいる」の割合が40.5%、「赤字」を見込んでいる」の割合が23.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「黒字」を見込んでいる」の割合が増加しています。一方、「収支均衡」を見込んでいる」の割合が減少しています。



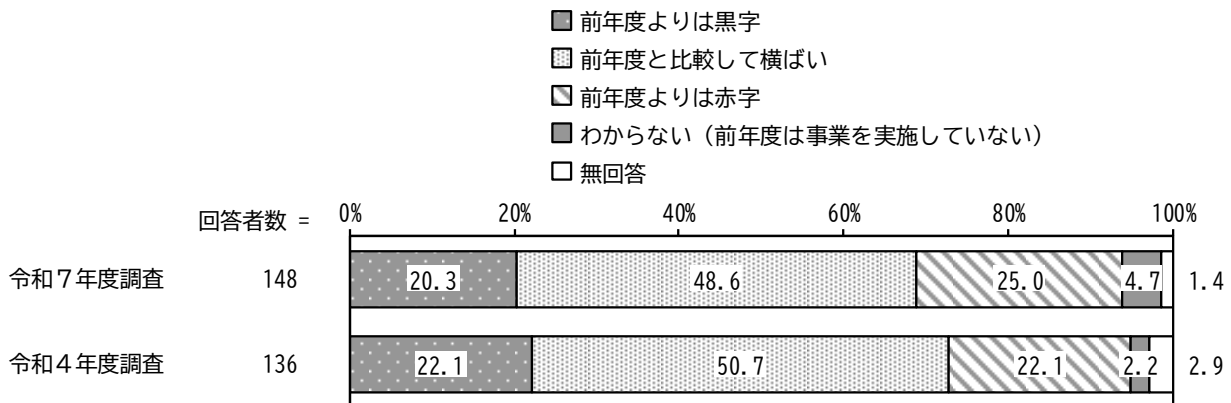
【サービス種別】

サービス種別にみると、日中活動系サービスで「黒字」を見込んでいる」、訪問系サービス、相談支援で「収支均衡」を見込んでいる」、障害児相談支援で「赤字」を見込んでいる」の割合が高くなっています。



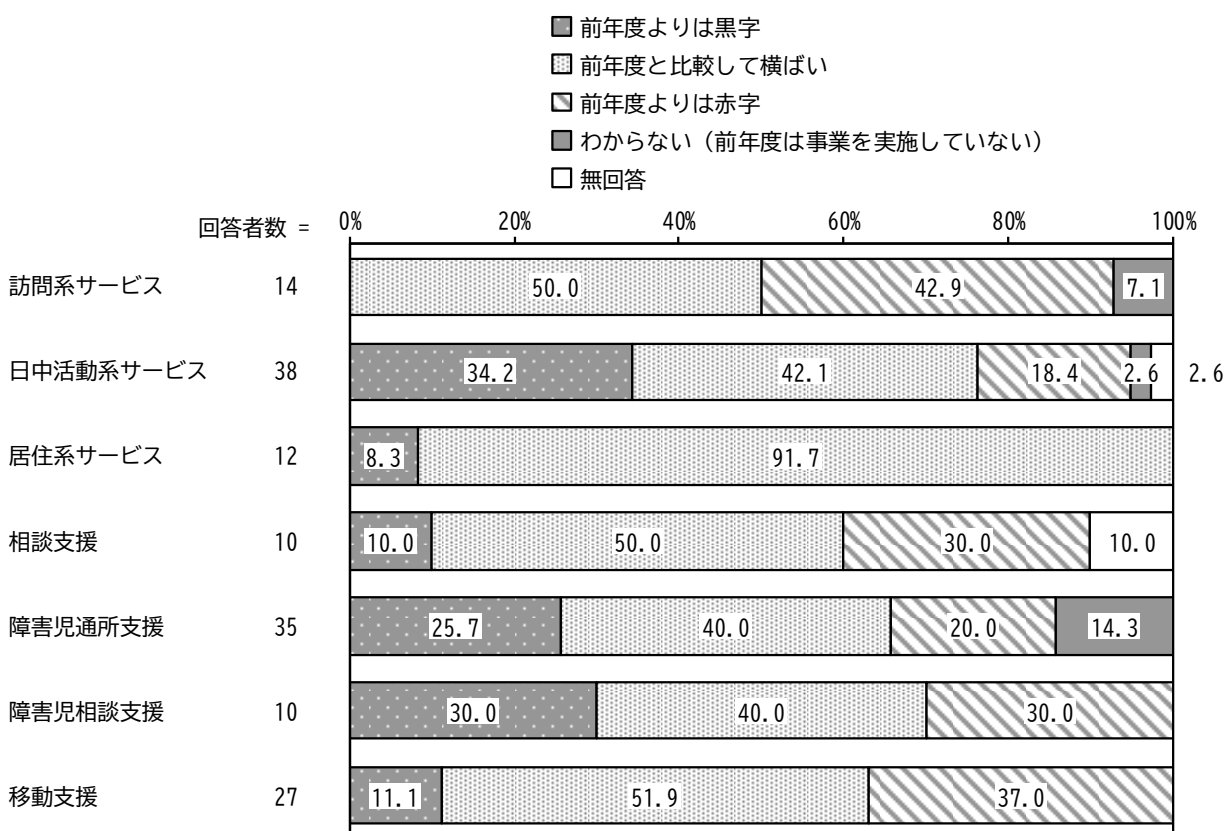
問 22 貴事業所の今年度の収支状況と、昨年同時期の収支状況を比較して、あてはまるもの1つに○をつけてください。

「前年度よりは黒字」の割合が 20.3%、「前年度と比較して横ばい」の割合が 48.6%、「前年度よりは赤字」の割合が 25.0%となっています。



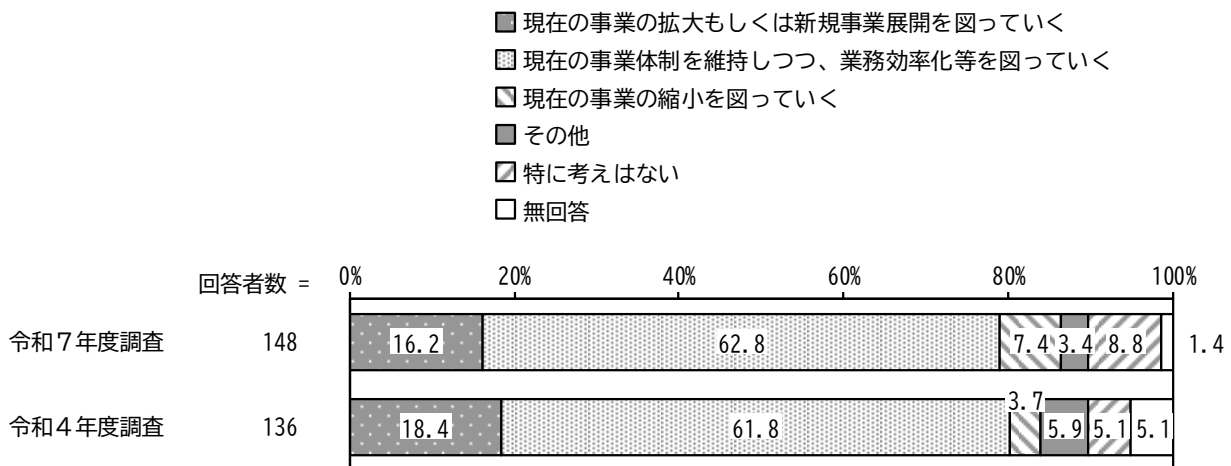
【サービス種別】

サービス種別にみると、日中活動系サービスで「前年度よりは黒字」、居住系サービスで「前年度と比較して横ばい」、訪問系サービスで「前年度よりは赤字」の割合が高くなっています。



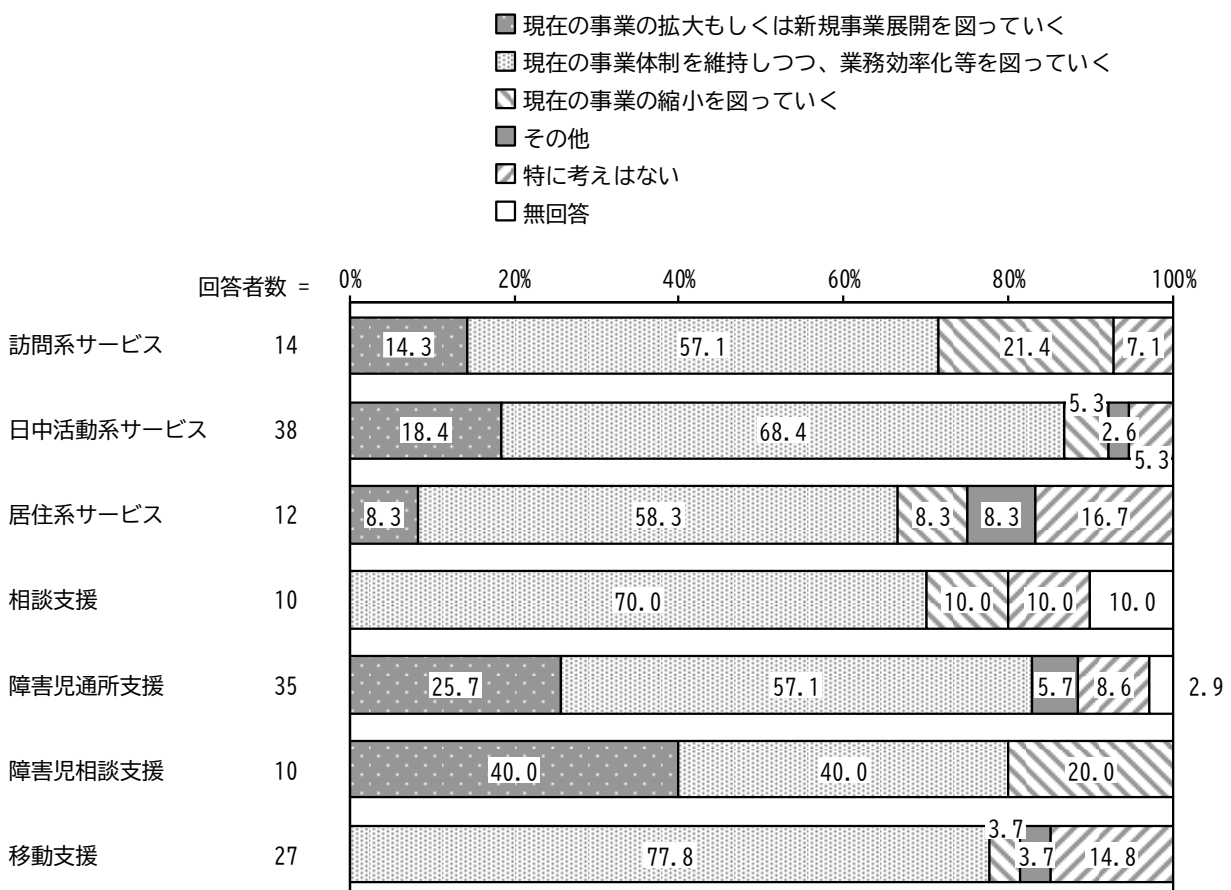
問 23 貴事業所の収支の向上や改善についてのお考えにもっとも近いもの1つに○をつけてください。

「現在の事業の拡大もしくは新規事業展開を図っていく」の割合が 16.2%、「現在の事業体制を維持しつつ、業務効率化等を図っていく」の割合が 62.8%、「現在の事業の縮小を図っていく」の割合が 7.4%となっています。



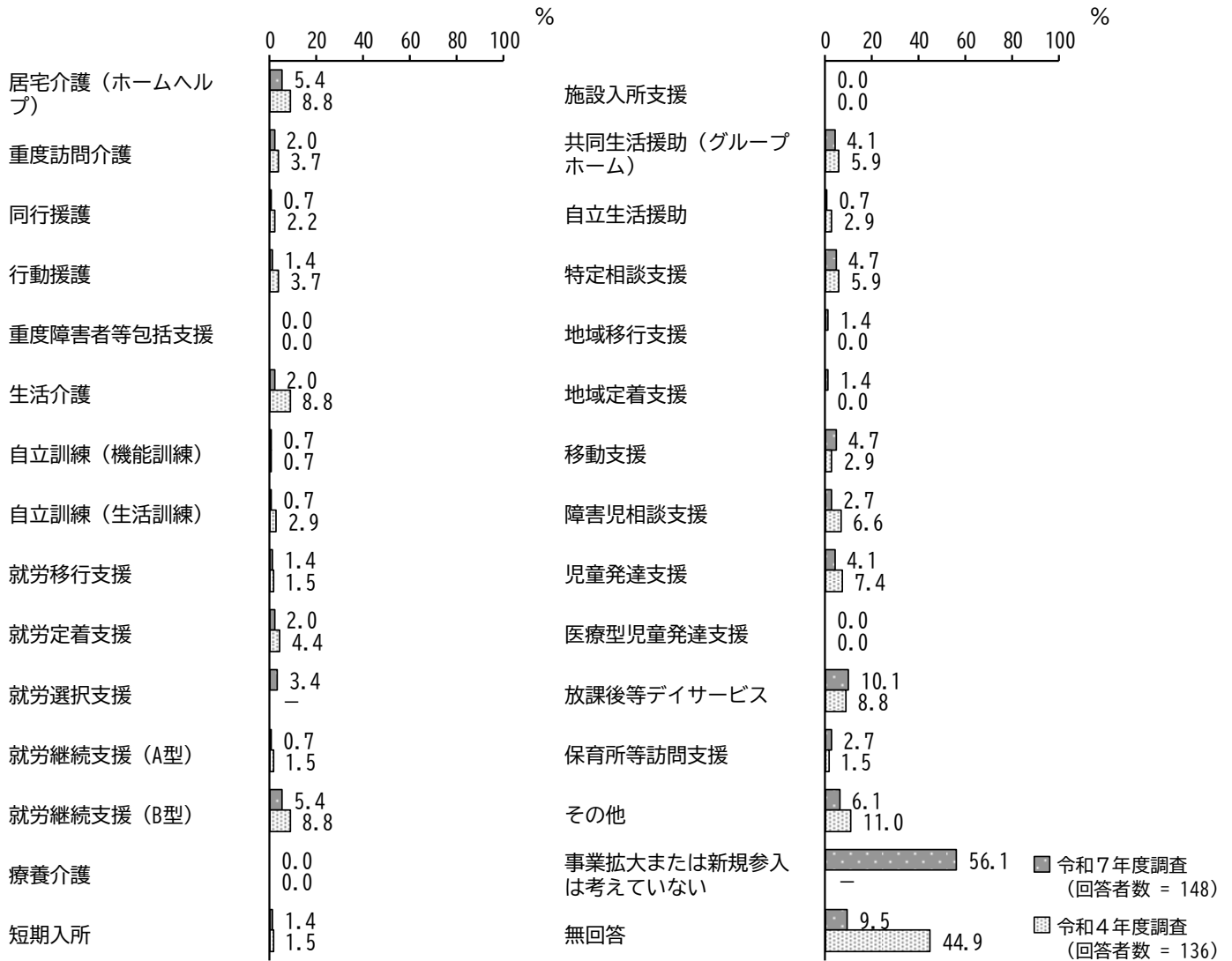
【サービス種別】

サービス種別にみると、障害児相談支援で「現在の事業の拡大もしくは新規事業展開を図っていく」、移動支援で「現在の事業体制を維持しつつ、業務効率化等を図っていく」、訪問系サービス、障害児相談支援で「現在の事業の縮小を図っていく」の割合が高くなっています。



問 24 次のサービスのうち、貴事業所において、今後3年間（令和10年度まで）に事業拡大または新規参入のお考えがあるものはどれですか。現段階でご検討されているものすべてに○をつけてください。

「放課後等デイサービス」の割合が10.1%と最も高くなっています。  
令和4年度調査と比較すると、「生活介護」の割合が減少しています。



※「就労選択支援」、「事業拡大または新規参入は考えていない」は令和7年度調査で追加した選択肢です。

【サービス種別】

サービス種別にみると、移動支援で「居宅介護（ホームヘルプ）」「重度訪問介護」、障害児相談支援で「同行援護」「行動援護」「自立訓練（機能訓練）」「自立訓練（生活訓練）」「就労移行支援」「就労定着支援」「共同生活援助（グループホーム）」「特定相談支援」「地域移行支援」「地域定着支援」「移動支援」、居住系サービスで「生活介護」「障害児相談支援」、日中活動系サービス、障害児相談支援で「就労選択支援」、日中活動系サービスで「就労継続支援（B型）」、障害児通所支援、障害児相談支援で「児童発達支援」、障害児通所支援で「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」の割合が高くなっています。

単位：％

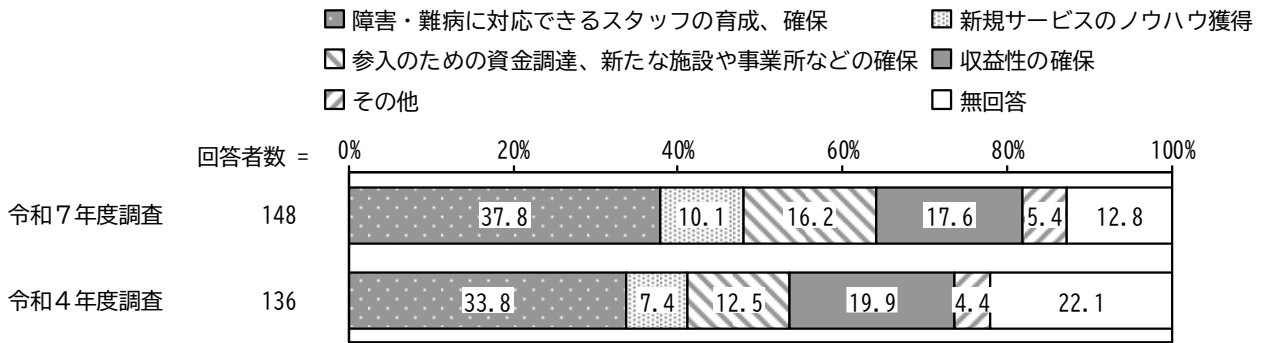
区分	回答者数(件)	居宅介護(ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	生活介護	自立訓練(機能訓練)	自立訓練(生活訓練)	就労移行支援	就労定着支援	就労選択支援
全体	148	5.4	2.0	0.7	1.4	0.0	2.0	0.7	0.7	1.4	2.0	3.4
訪問系サービス	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日中活動系サービス	38	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	2.6	5.3	10.5
居住系サービス	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談支援	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援	35	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害児相談支援	10	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
移動支援	27	14.8	7.4	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	療養介護	短期入所	施設入所支援	共同生活援助(グループホーム)	自立生活援助	特定相談支援	地域移行支援	移動支援	障害児相談支援	児童発達支援
全体	0.7	5.4	0.0	1.4	0.0	4.1	0.7	4.7	1.4	4.7	2.7	4.1
訪問系サービス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
日中活動系サービス	0.0	13.2	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	5.3	2.6	0.0	0.0	0.0
居住系サービス	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	8.3
相談支援	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援	2.9	2.9	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	5.7	11.4
障害児相談支援	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	10.0	20.0	0.0	10.0
移動支援	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	0.0	11.1	3.7	0.0

区分	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	その他	事業拡大または新規参入は考えていない	無回答
全体	0.0	10.1	2.7	6.1	56.1	9.5
訪問系サービス	0.0	0.0	0.0	14.3	78.6	0.0
日中活動系サービス	0.0	2.6	0.0	2.6	52.6	15.8
居住系サービス	0.0	0.0	0.0	8.3	58.3	8.3
相談支援	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0	10.0
障害児通所支援	0.0	31.4	11.4	11.4	42.9	5.7
障害児相談支援	0.0	20.0	0.0	10.0	30.0	20.0
移動支援	0.0	3.7	0.0	0.0	63.0	7.4

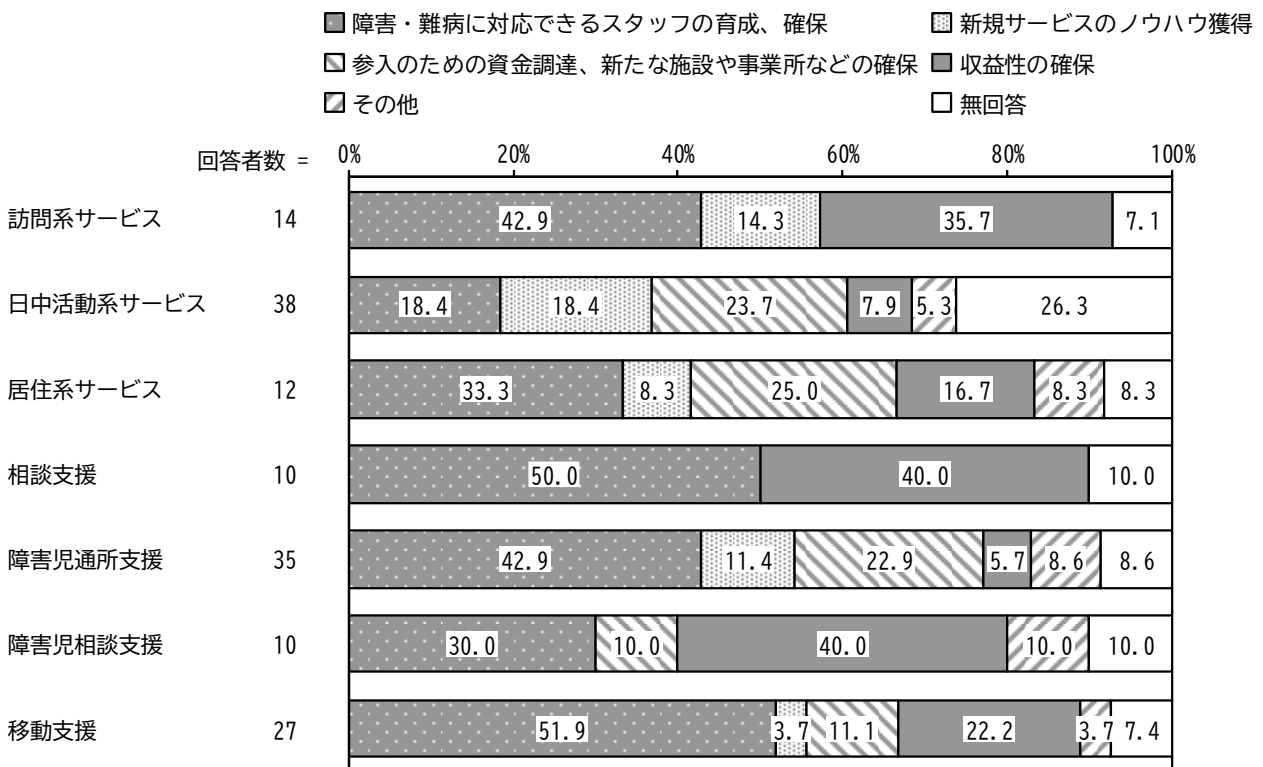
問 25 新規サービスに参入又は事業拡大する上で、課題となることは何ですか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。(実際に事業の拡大・新規参入の予定がない場合でも、想定の上でお答えください。)

「障害・難病に対応できるスタッフの育成、確保」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「収益性の確保」の割合が 17.6%、「参入のための資金調達、新たな施設や事業所などの確保」の割合が 16.2%となっています。



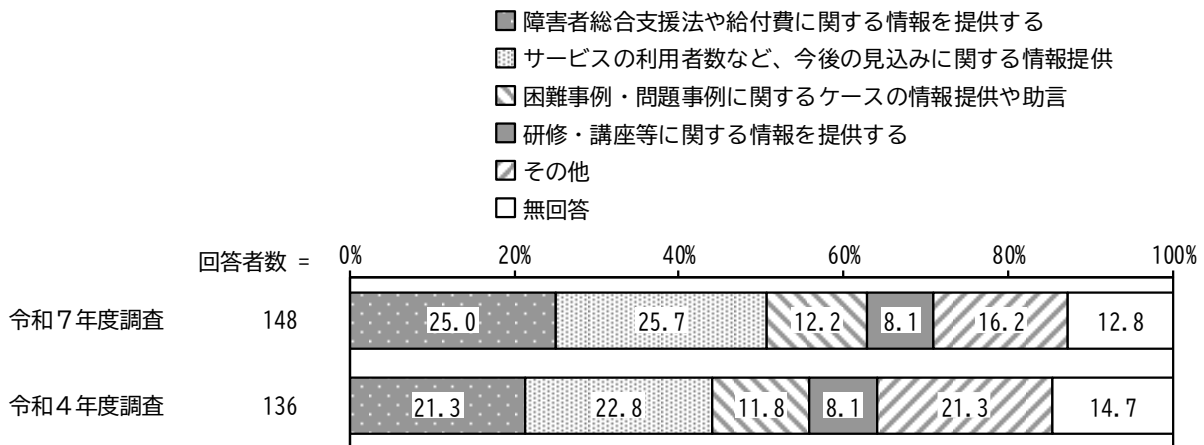
【サービス種別】

サービス種別にみると、相談支援、移動支援で「障害・難病に対応できるスタッフの育成、確保」、相談支援、障害児相談支援で「収益性の確保」の割合が高くなっています。



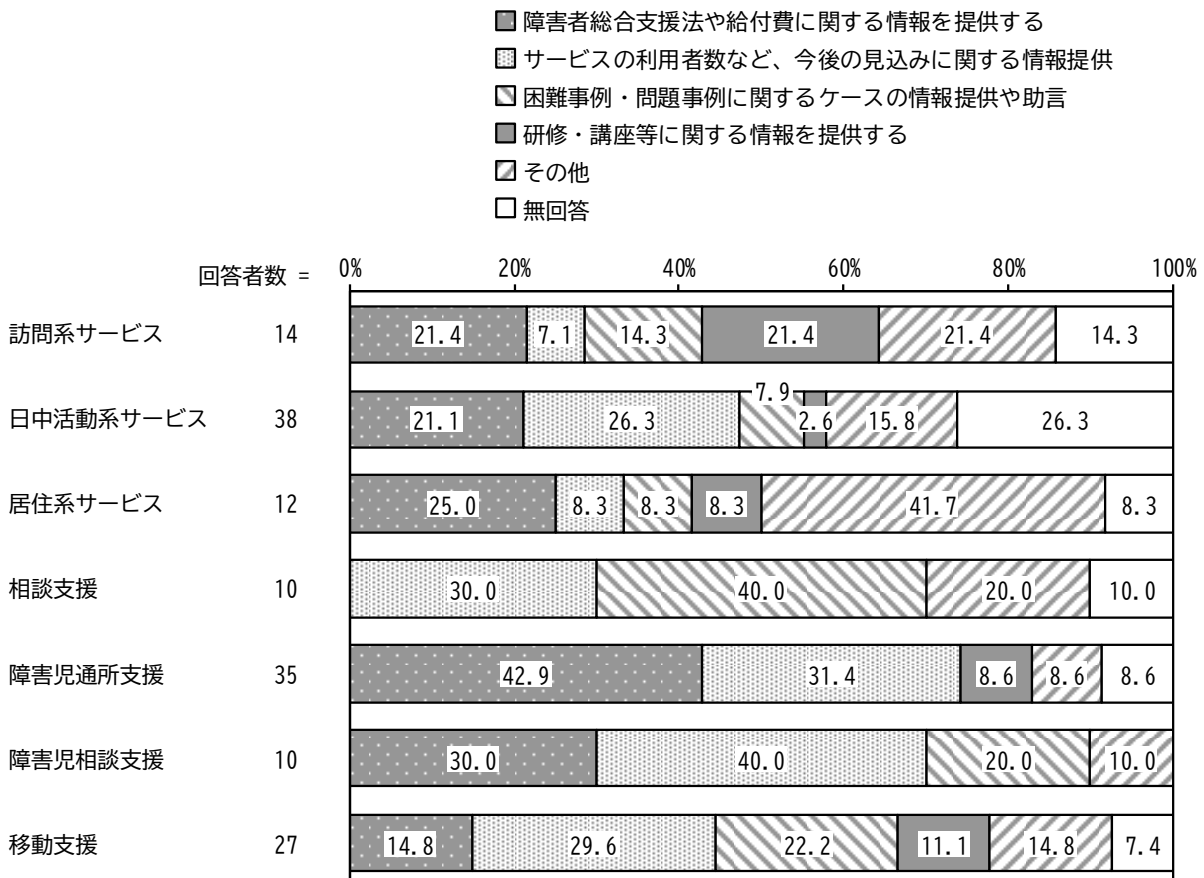
問 26 障害福祉サービス等への事業者の新規参入又は事業拡大を促進するため、区としては、どのようなことに取り組んでいくことが必要だと思いますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

「サービスの利用者数など、今後の見込みに関する情報提供」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「障害者総合支援法や給付費に関する情報を提供する」の割合が 25.0%、「困難事例・問題事例に関するケースの情報提供や助言」の割合が 12.2%となっています。



【サービス種別】

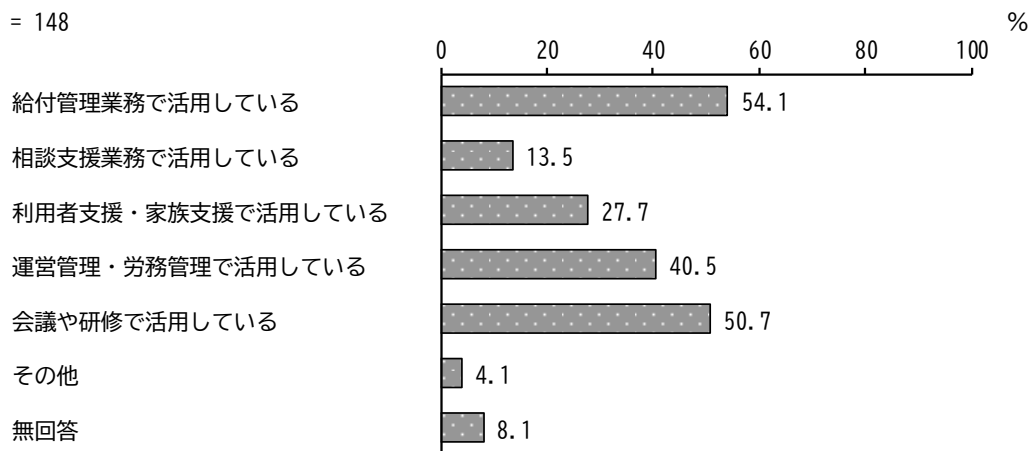
サービス種別にみると、障害児通所支援で「障害者総合支援法や給付費に関する情報を提供する」、障害児相談支援で「サービスの利用者数など、今後の見込みに関する情報提供」、相談支援で「困難事例・問題事例に関するケースの情報提供や助言」、訪問系サービスで「研修・講座等に関する情報を提供する」の割合が高くなっています。



問 27 貴事業所では、どのような業務で I C T を活用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「給付管理業務で活用している」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「会議や研修で活用している」の割合が 50.7%、「運営管理・労務管理で活用している」の割合が 40.5%となっています。

回答者数 = 148



### 【サービス種別】

サービス種別にみると、移動支援で「給付管理業務で活用している」、障害児相談支援で「相談支援業務で活用している」「利用者支援・家族支援で活用している」、相談支援で「運営管理・労務管理で活用している」の割合が高くなっています。

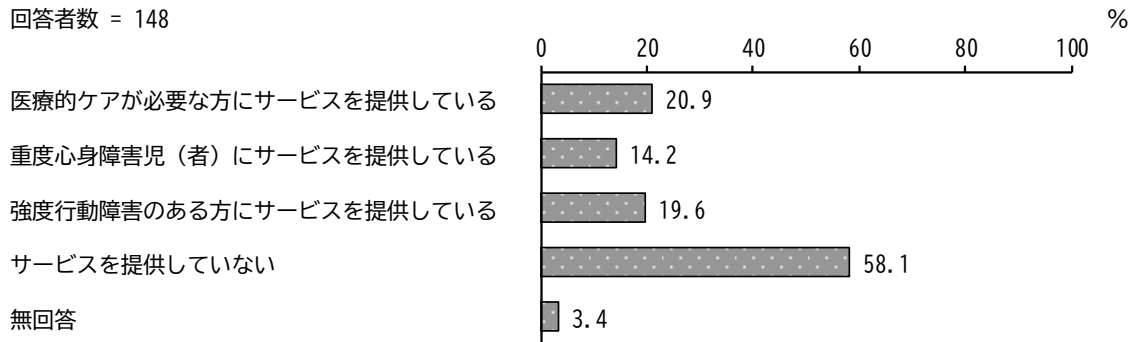
単位：%

区分	回答者数 (件)	給付管理業務で活用している	相談支援業務で活用している	利用者支援・家族支援で活用している	運営管理・労務管理で活用している	会議や研修で活用している	その他	無回答
全体	148	54.1	13.5	27.7	40.5	50.7	4.1	8.1
訪問系サービス	14	64.3	0.0	0.0	50.0	21.4	7.1	14.3
日中活動系サービス	38	42.1	15.8	34.2	28.9	57.9	2.6	7.9
居住系サービス	12	50.0	8.3	33.3	25.0	58.3	8.3	0.0
相談支援	10	40.0	40.0	20.0	60.0	60.0	0.0	10.0
障害児通所支援	35	51.4	8.6	37.1	48.6	48.6	2.9	11.4
障害児相談支援	10	60.0	50.0	40.0	40.0	50.0	0.0	10.0
移動支援	27	70.4	3.7	18.5	44.4	55.6	7.4	3.7

問 28 貴事業所において医療的ケアが必要な方や重度心身障害児（者）、強度行動障害のある方に対して、サービスを提供していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「サービスを提供していない」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「医療的ケアが必要な方にサービスを提供している」の割合が 20.9%、「強度行動障害のある方にサービスを提供している」の割合が 19.6%となっています。

回答者数 = 148



### 【サービス種別】

サービス種別にみると、相談支援で「医療的ケアが必要な方にサービスを提供している」「強度行動障害のある方にサービスを提供している」、移動支援で「重度心身障害児（者）にサービスを提供している」、日中活動系サービスで「サービスを提供していない」の割合が高くなっています。

単位：%

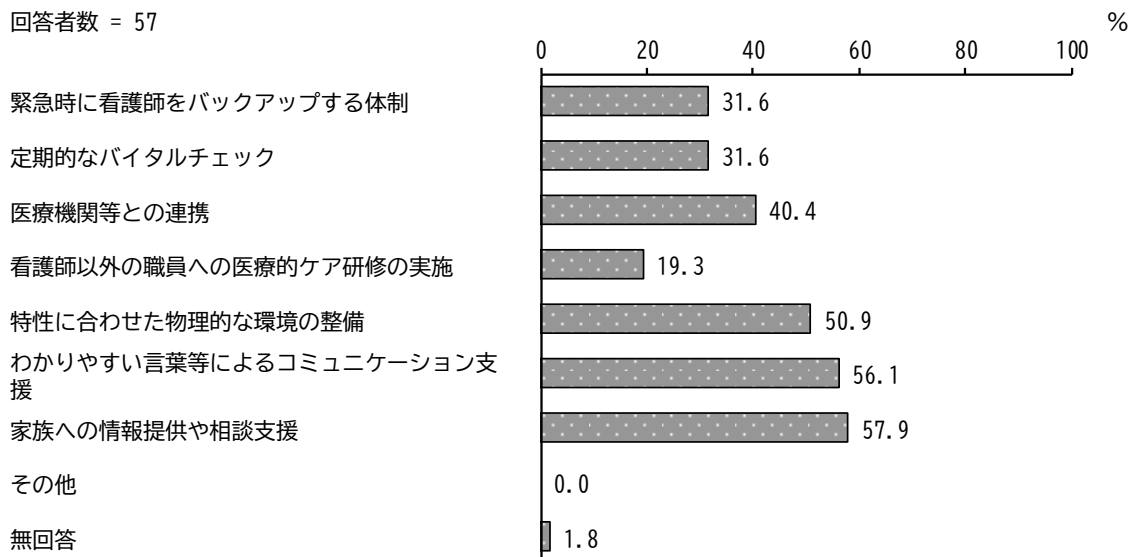
区分	回答者数 (件)	医療的ケアが必要な方にサービスを提供している	重度心身障害児（者）にサービスを提供している	強度行動障害のある方にサービスを提供している	サービスを提供していない	無回答
全体	148	20.9	14.2	19.6	58.1	3.4
訪問系サービス	14	28.6	7.1	7.1	57.1	7.1
日中活動系サービス	38	10.5	0.0	15.8	73.7	2.6
居住系サービス	12	0.0	16.7	25.0	66.7	0.0
相談支援	10	50.0	20.0	60.0	30.0	0.0
障害児通所支援	35	17.1	11.4	17.1	60.0	2.9
障害児相談支援	10	30.0	20.0	40.0	40.0	10.0
移動支援	27	33.3	37.0	11.1	44.4	3.7

問 28 で「医療的ケアが必要な方にサービスを提供している」～「強度行動障害のある方にサービスを提供している」のいずれかに○をつけた事業所にうかがいます。

問 28-1 貴事業所において、医療的ケアが必要な方や重度心身障害児（者）、強度行動障害のある方に対して、どのような配慮をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「家族への情報提供や相談支援」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「わかりやすい言葉等によるコミュニケーション支援」の割合が 56.1%、「特性に合わせた物理的な環境の整備」の割合が 50.9%となっています。

回答者数 = 57



【サービス種別】

サービス種別にみると、障害児通所支援で「看護師以外の職員への医療的ケア研修の実施」「特性に合わせた物理的な環境の整備」「わかりやすい言葉等によるコミュニケーション支援」「家族への情報提供や相談支援」の割合が高く、移動支援で「緊急時に看護師をバックアップする体制」「定期的なバイタルチェック」「医療機関等との連携」の割合が高くなっています。

単位：%

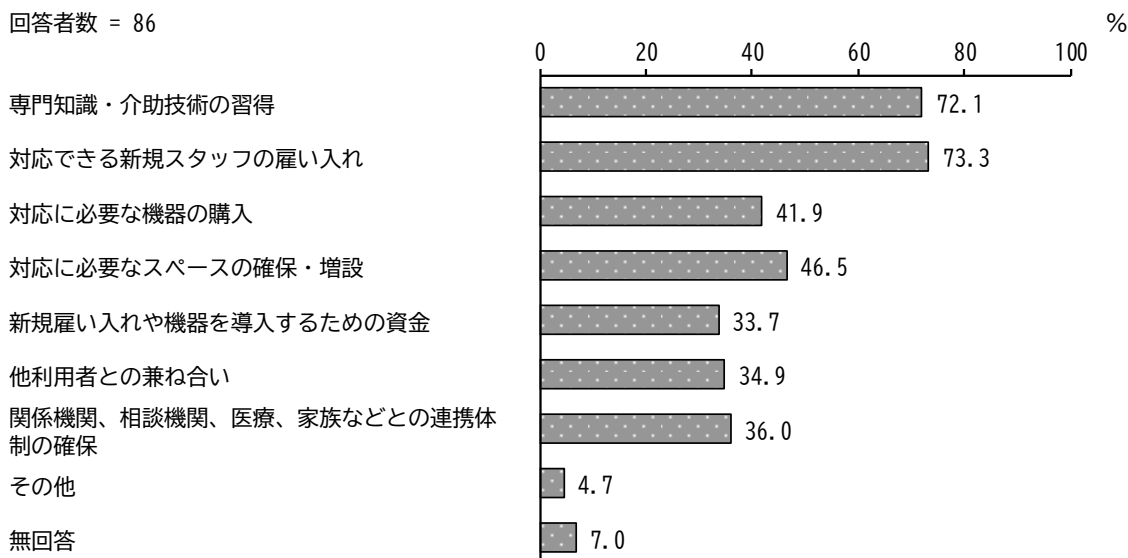
区分	回答者数 (件)	緊急時に看護師をバックアップする体制	定期的なバイタルチェック	医療機関等との連携	看護師以外の職員への医療的ケア研修の実施	特性に合わせた物理的な環境の整備	わかりやすい言葉等によるコミュニケーション支援	家族への情報提供や相談支援	その他	無回答
全体	57	31.6	31.6	40.4	19.3	50.9	56.1	57.9	0.0	1.8
訪問系サービス	5	20.0	20.0	80.0	20.0	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0
日中活動系サービス	9	33.3	33.3	44.4	11.1	77.8	66.7	44.4	0.0	11.1
居住系サービス	4	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	75.0	75.0	0.0	0.0
相談支援	7	28.6	57.1	42.9	0.0	71.4	28.6	42.9	0.0	0.0
障害児通所支援	13	23.1	23.1	7.7	38.5	61.5	69.2	69.2	0.0	0.0
障害児相談支援	5	20.0	20.0	20.0	0.0	60.0	80.0	100.0	0.0	0.0
移動支援	14	57.1	42.9	71.4	28.6	21.4	42.9	42.9	0.0	0.0

問 28 で「サービスを提供していない」に○をつけた事業所にうかがいます。

問 28-2 貴事業所において、医療的ケアが必要な方や重度心身障害児（者）、強度行動障害のある方に障害福祉サービスを提供するために必要なことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「対応できる新規スタッフの雇い入れ」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「専門知識・介助技術の習得」の割合が 72.1%、「対応に必要なスペースの確保・増設」の割合が 46.5%となっています。

回答者数 = 86



### 【サービス種別】

サービス種別にみると、障害児通所支援、移動支援で「専門知識・介助技術の習得」、障害児通所支援で「対応に必要な機器の購入」「新規雇い入れや機器を導入するための資金」、日中活動系サービスで「対応に必要なスペースの確保・増設」「他利用者との兼ね合い」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	専門知識・介助技術の習得	対応できる新規スタッフの雇い入れ	対応に必要な機器の購入	対応に必要なスペースの確保・増設	新規雇い入れや機器を導入するための資金	他利用者との兼ね合い	関係機関、相談機関、医療、家族などとの連携体制の確保	その他	無回答
全体	86	72.1	73.3	41.9	46.5	33.7	34.9	36.0	4.7	7.0
訪問系サービス	8	75.0	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	37.5	12.5	0.0
日中活動系サービス	28	64.3	78.6	50.0	67.9	42.9	50.0	35.7	3.6	3.6
居住系サービス	8	62.5	62.5	50.0	50.0	37.5	50.0	25.0	12.5	12.5
相談支援	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
障害児通所支援	21	85.7	81.0	66.7	61.9	47.6	42.9	42.9	4.8	4.8
障害児相談支援	4	75.0	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	50.0	0.0	25.0
移動支援	12	83.3	100.0	8.3	0.0	8.3	8.3	41.7	0.0	0.0

問 29 区全体をみたときに、不足していると思われるサービスや支援はどのようなものですか。また、それらのサービスや支援が足りていない理由は何だと思われますか。

■不足していると感じるサービス・支援

- 共同生活援助（グループホーム）について(27件)
- 移動支援・通院介助・送迎について(25件)
- 居宅介護・ヘルパーについて(24件)
- 計画相談・相談支援について(16件)
- 短期入所（ショートステイ）・緊急一時保護について(14件)
- 医療的ケア・重度障害者・困難事例対応について(9件)
- 放課後等デイサービスについて(8件)
- その他の障害福祉サービス・支援について(8件)
- 人材不足・報酬単価・処遇改善について(7件)
- 居住支援・家賃補助について(5件)
- 自立生活援助について(4件)
- 事業所の地域偏在・時間外対応（夜間・休日等）について(4件)
- 生活介護について(3件)
- 就労支援・就労継続支援について(3件)
- 他機関との連携・情報共有について(3件)
- 行政の対応・制度の運用について(3件)
- 研修・勉強会について(1件)
- 災害時対応・避難所について(1件)
- その他について(6件)

■理由など

- ・人材不足・人材確保について(29件)  
人材が不足している
- ・物件・家賃・土地の確保について(16件)  
23区は家賃が高い。
- ・報酬・単価の低さについて(15件)  
サービス単価が低く、事業継続が困難な為。
- ・移動支援・送迎サービスについて(9件)  
移動支援を使いたいと思っている利用者が多いのですが見つけることができないため。
- ・グループホーム・住居確保について(9件)  
車いす利用者などが利用できるグループホームが少ない。重度知的障害者が利用できるグループホームが少ない。
- ・サービス需要増・定員超過について(9件)  
対応できる事業所の数が不足しているため。
- ・計画相談・相談支援について(8件)  
相談支援員さんの1名あたりの対応人数が多いことで、なかなか連絡が返ってこないケースがある

・行政の対応・制度的課題について(8件)

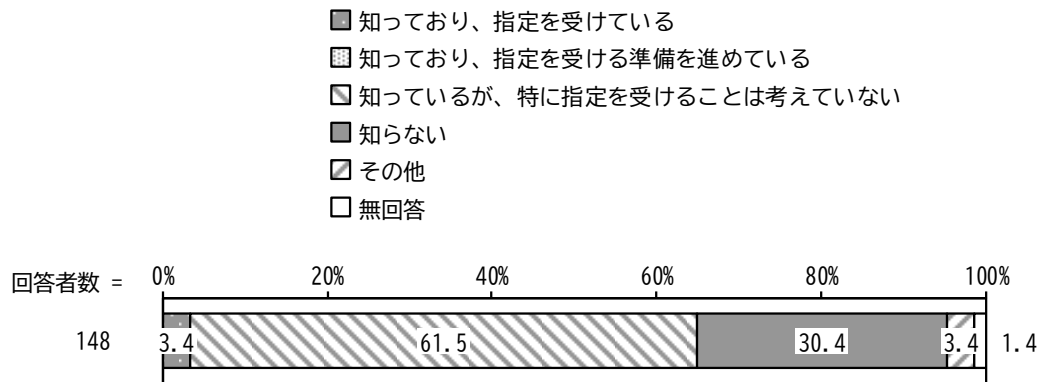
区内の状況やニーズに合わせそれぞれに必要な課題の抽出、対策など検討解決していくことが実現されない

なお、以下の項目についてもご意見をいただいております。

- ・スタッフの待遇・労働環境について(5件)
- ・児童向けサービス（放課後等デイサービス等）について(4件)
- ・緊急時・夜間対応・短期入所について(4件)
- ・地域偏在・立地による格差について(4件)
- ・精神障害・困難事例への対応について(3件)
- ・研修・教育・障害理解について(3件)
- ・重度障害・医療的ケアへの対応について(2件)
- ・就労支援・日中活動の場について(2件)
- ・防災・避難場所について(1件)
- ・地域の間人関係・モラルについて(1件)
- ・その他について(4件)

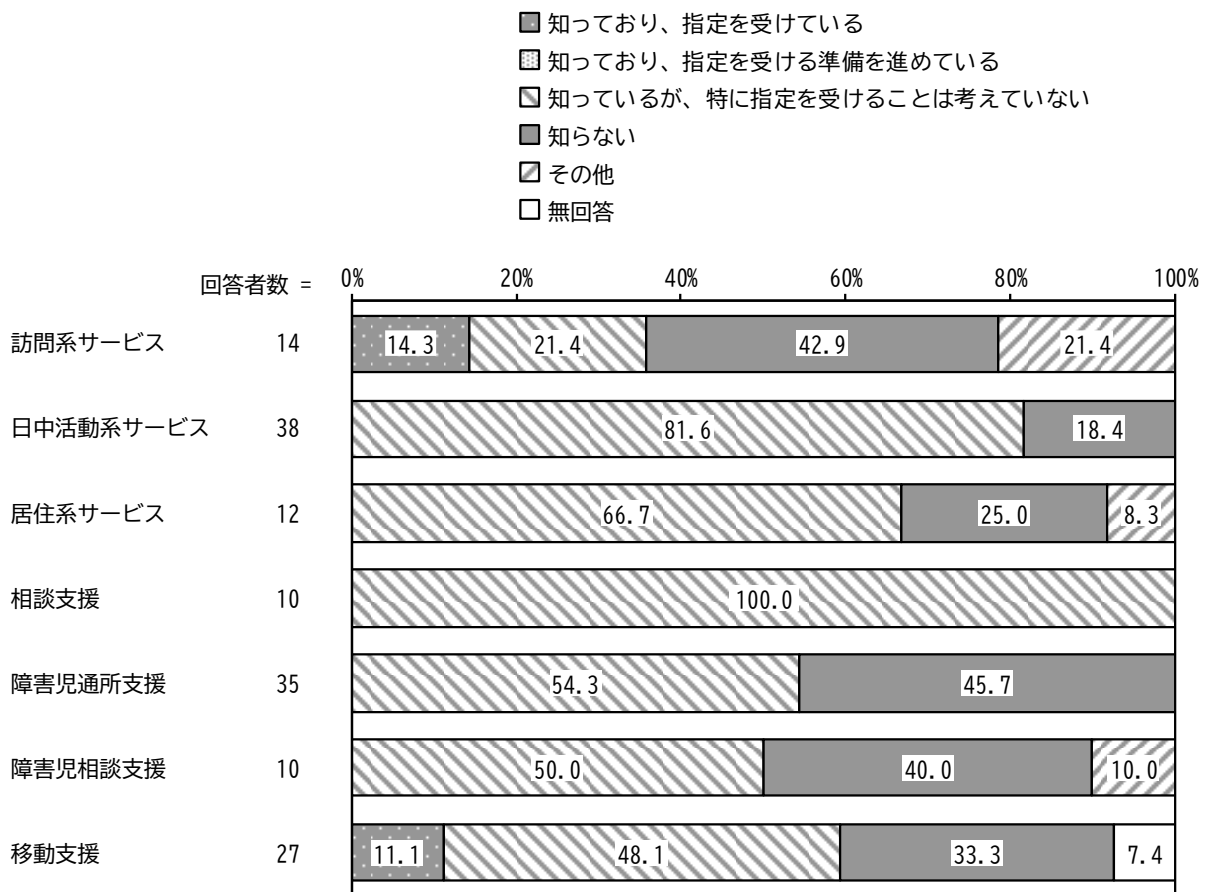
問 30 「共生型サービス」をご存じですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っており、指定を受けている」の割合が 3.4%、「知らない」の割合が 30.4%となっています。



【サービス種別】

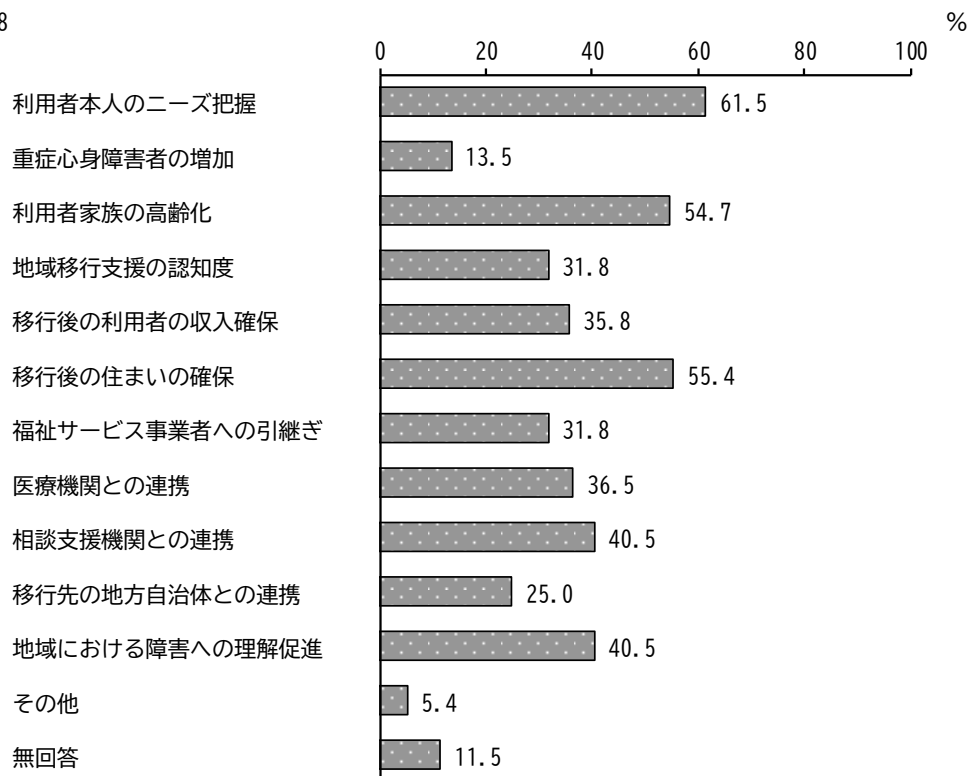
サービス種別にみると、訪問系サービスで「知っており、指定を受けている」、訪問系サービス、障害児通所支援で「知らない」の割合が高くなっています。



問 31 入所者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「利用者本人のニーズ把握」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「移行後の住まいの確保」の割合が 55.4%、「利用者家族の高齢化」の割合が 54.7%となっています。

回答者数 = 148



【サービス種別】

サービス種別にみると、相談支援で「利用者本人のニーズ把握」「移行後の住まいの確保」、障害児相談支援で「重症心身障害者の増加」「地域移行支援の認知度」「福祉サービス事業者への引継ぎ」「医療機関との連携」「移行先の地方自治体との連携」、日中活動系サービス、相談支援で「利用者家族の高齢化」、日中活動系サービス、居住系サービスで「移行後の利用者の収入確保」、居住系サービスで「相談支援機関との連携」、相談支援、障害児相談支援で「地域における障害への理解促進」の割合が高くなっています。

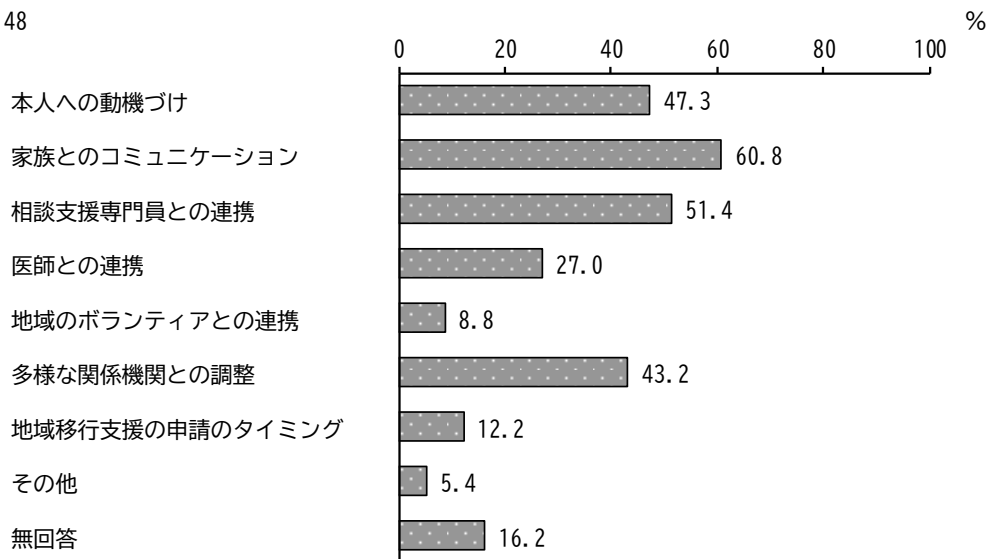
単位：%

区分	回答者数(件)	利用者本人のニーズ把握	重症心身障害者の増加	利用者家族の高齢化	地域移行支援の認知度	移行後の利用者の収入確保	移行後の住まいの確保	福祉サービス事業者への引継ぎ	医療機関との連携	相談支援機関との連携	移行先の地方自治体との連携	地域における障害への理解促進	その他	無回答
全体	148	61.5	13.5	54.7	31.8	35.8	55.4	31.8	36.5	40.5	25.0	40.5	5.4	11.5
訪問系サービス	14	42.9	0.0	35.7	14.3	28.6	42.9	14.3	14.3	42.9	21.4	28.6	0.0	35.7
日中活動系サービス	38	71.1	13.2	71.1	36.8	50.0	76.3	47.4	47.4	52.6	23.7	42.1	5.3	2.6
居住系サービス	12	50.0	25.0	66.7	25.0	50.0	58.3	25.0	50.0	58.3	8.3	41.7	8.3	8.3
相談支援	10	80.0	30.0	70.0	30.0	40.0	90.0	30.0	30.0	30.0	50.0	60.0	10.0	0.0
障害児通所支援	35	60.0	8.6	40.0	22.9	25.7	31.4	28.6	25.7	37.1	20.0	45.7	5.7	14.3
障害児相談支援	10	60.0	40.0	60.0	70.0	40.0	80.0	60.0	60.0	40.0	60.0	60.0	0.0	10.0
移動支援	27	55.6	7.4	48.1	33.3	22.2	40.7	14.8	33.3	22.2	18.5	22.2	7.4	14.8

問 32 地域生活への移行を進める上で工夫していることについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「家族とのコミュニケーション」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「相談支援専門員との連携」の割合が 51.4%、「本人への動機づけ」の割合が 47.3%となっています。

回答者数 = 148



【サービス種別】

サービス種別にみると、日中活動系サービス、居住系サービスで「本人への動機づけ」、日中活動系サービスで「家族とのコミュニケーション」、居住系サービスで「相談支援専門員との連携」「医師との連携」、障害児相談支援で「地域のボランティアとの連携」、相談支援で「多様な関係機関との調整」、障害児相談支援、移動支援で「地域移行支援の申請のタイミング」の割合が高くなっています。

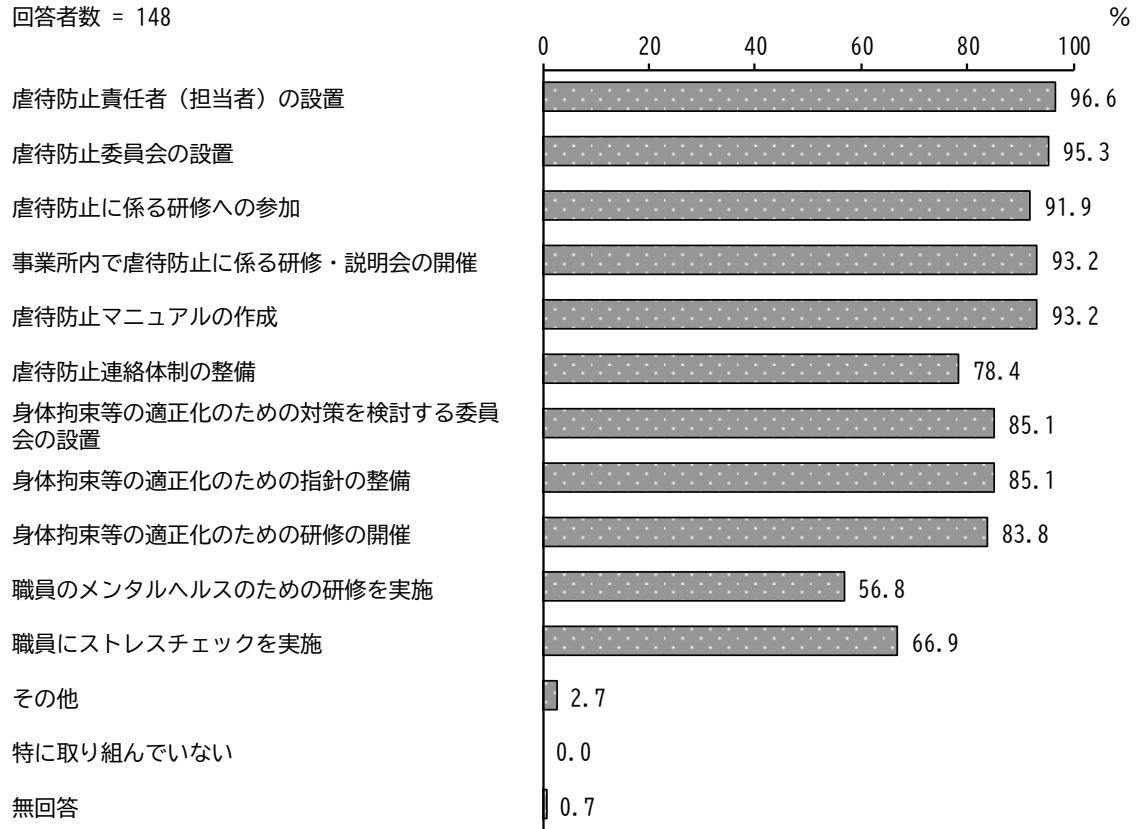
単位：%

区分	回答者数 (件)	本人への動機づけ	家族とのコミュニケーション	相談支援専門員との連携	医師との連携	地域のボランティアとの連携	多様な関係機関との調整	地域移行支援の申請のタイミング	その他	無回答
全体	148	47.3	60.8	51.4	27.0	8.8	43.2	12.2	5.4	16.2
訪問系サービス	14	42.9	50.0	42.9	14.3	7.1	35.7	0.0	7.1	35.7
日中活動系サービス	38	65.8	71.1	68.4	42.1	13.2	50.0	10.5	5.3	13.2
居住系サービス	12	66.7	66.7	75.0	50.0	8.3	75.0	8.3	0.0	8.3
相談支援	10	30.0	30.0	30.0	20.0	0.0	80.0	10.0	0.0	20.0
障害児通所支援	35	20.0	68.6	45.7	5.7	5.7	25.7	2.9	8.6	11.4
障害児相談支援	10	60.0	60.0	50.0	40.0	20.0	70.0	30.0	0.0	20.0
移動支援	27	48.1	51.9	40.7	25.9	7.4	18.5	29.6	7.4	18.5

問 33 貴事業所では虐待防止対策についてどのような取組をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「虐待防止責任者（担当者）の設置」の割合が 96.6%と最も高く、次いで「虐待防止委員会の設置」の割合が 95.3%、「事業所内で虐待防止に係る研修・説明会の開催」、「虐待防止マニュアルの作成」の割合が 93.2%となっています。

回答者数 = 148



【サービス種別】

サービス種別にみると、障害児通所支援、移動支援で「職員のメンタルヘルスのための研修を実施」の割合が高くなっています。

単位：％

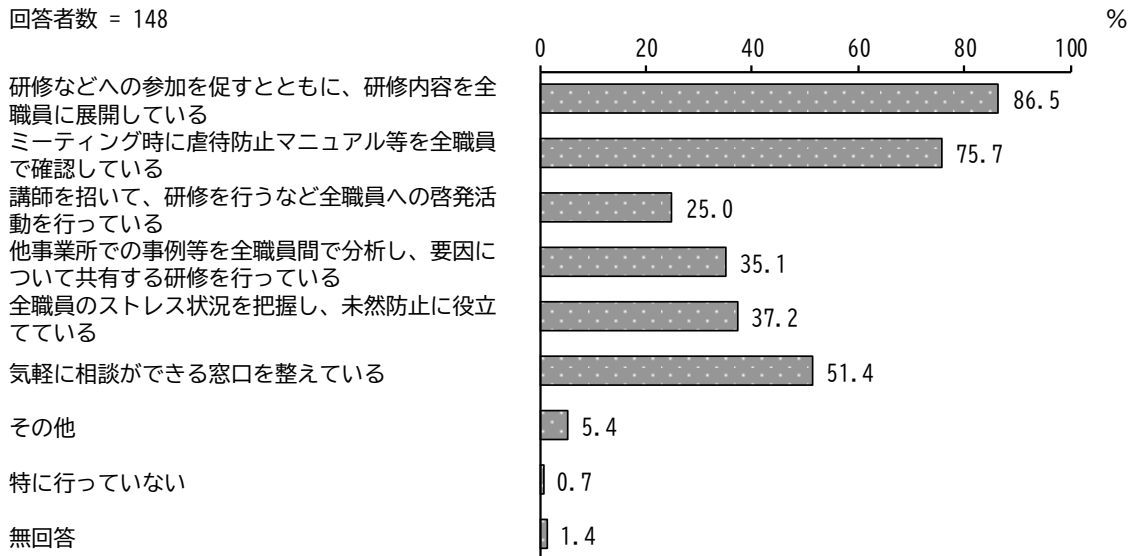
区分	回答者数 (件)	虐待防止責任者 (担当者)の設置	虐待防止委員会の設 置	虐待防止に係る研修 への参加	事業所内で虐待防止 に係る研修・説明会 の開催	虐待防止マニュアル の作成	虐待防止連絡体制の 整備	身体拘束等の適正化 のための対策を検討 する委員会の設置
全 体	148	96.6	95.3	91.9	93.2	93.2	78.4	85.1
訪問系サービス	14	92.9	78.6	78.6	92.9	78.6	57.1	64.3
日中活動系サービス	38	100.0	100.0	100.0	94.7	89.5	81.6	97.4
居住系サービス	12	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
相談支援	10	90.0	80.0	90.0	80.0	90.0	50.0	60.0
障害児通所支援	35	97.1	100.0	80.0	97.1	97.1	82.9	88.6
障害児相談支援	10	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	90.0	80.0
移動支援	27	96.3	96.3	96.3	88.9	100.0	77.8	81.5

区分	身体拘束等の適正化 のための指針の整備	身体拘束等の適正化 のための研修の開催	職員のメンタルヘル スのための研修を実 施	職員にストレスチエ ックを実施	その他	特に取り組んでいな い	無回答
全 体	85.1	83.8	56.8	66.9	2.7	0.0	0.7
訪問系サービス	71.4	71.4	57.1	57.1	0.0	0.0	0.0
日中活動系サービス	89.5	89.5	55.3	63.2	5.3	0.0	0.0
居住系サービス	100.0	100.0	25.0	66.7	8.3	0.0	0.0
相談支援	60.0	60.0	40.0	70.0	0.0	0.0	10.0
障害児通所支援	94.3	91.4	65.7	68.6	2.9	0.0	0.0
障害児相談支援	80.0	70.0	60.0	70.0	0.0	0.0	0.0
移動支援	81.5	81.5	66.7	70.4	0.0	0.0	0.0

問 34 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している」の割合が 86.5%と最も高く、次いで「ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している」の割合が 75.7%、「気軽に相談ができる窓口を整えている」の割合が 51.4%となっています。

回答者数 = 148



【サービス種別】

サービス種別にみると、障害児通所支援で「ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している」「他事業所での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている」、障害児相談支援で「講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動を行っている」、障害児通所支援、移動支援で「全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている」、移動支援で「気軽に相談ができる窓口を整えている」の割合が高くなっています。

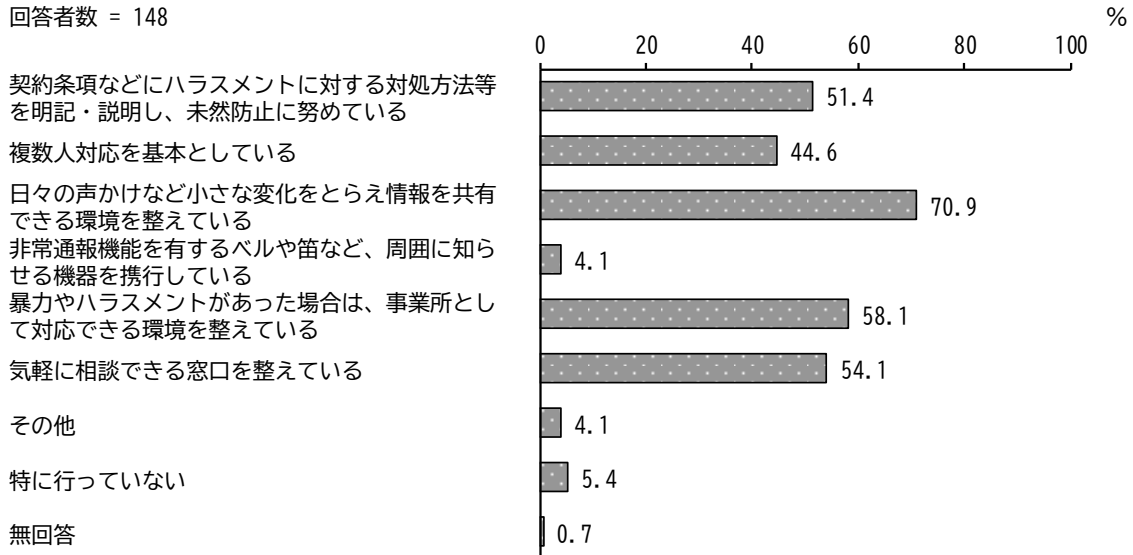
単位：%

区分	回答者数 (件)	研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している	ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している	講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動を行っている	他事業所での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている	全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている	気軽に相談ができる窓口を整えている	その他	特に行っていない	無回答
全体	148	86.5	75.7	25.0	35.1	37.2	51.4	5.4	0.7	1.4
訪問系サービス	14	85.7	50.0	21.4	28.6	35.7	50.0	0.0	0.0	0.0
日中活動系サービス	38	92.1	71.1	28.9	28.9	28.9	47.4	10.5	0.0	2.6
居住系サービス	12	91.7	83.3	25.0	41.7	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0
相談支援	10	60.0	50.0	20.0	20.0	30.0	30.0	0.0	10.0	10.0
障害児通所支援	35	80.0	88.6	25.7	51.4	54.3	45.7	8.6	0.0	0.0
障害児相談支援	10	90.0	80.0	40.0	30.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0
移動支援	27	92.6	85.2	18.5	33.3	51.9	77.8	3.7	0.0	0.0

問 35 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている」の割合が 70.9%と最も高く、次いで「暴力やハラスメントがあった場合は、事業所として対応できる環境を整えている」の割合が 58.1%、「気軽に相談できる窓口を整えている」の割合が 54.1%となっています。

回答者数 = 148



【サービス種別】

サービス種別にみると、移動支援で「契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている」「暴力やハラスメントがあった場合は、事業所として対応できる環境を整えている」「気軽に相談できる窓口を整えている」、障害児通所支援で「複数人対応を基本としている」、日中活動系サービス、居住系サービスで「日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている」の割合が高くなっています。

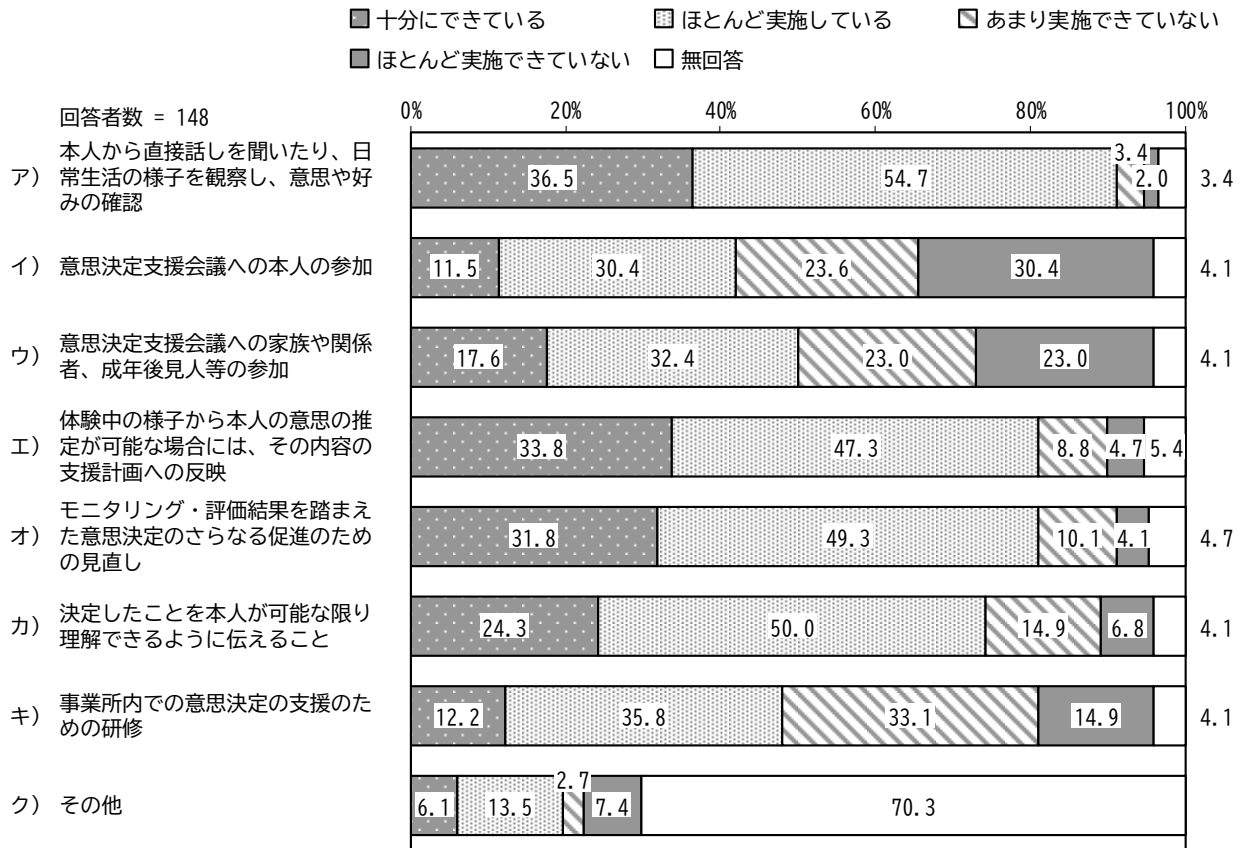
単位：％

区分	回答者数(件)	契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている	複数人対応を基本としている	日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている	非常通報機能を有するベルや笛など、周囲に知らせる機器を携行している
全体	148	51.4	44.6	70.9	4.1
訪問系サービス	14	64.3	35.7	57.1	0.0
日中活動系サービス	38	44.7	57.9	89.5	5.3
居住系サービス	12	41.7	16.7	91.7	0.0
相談支援	10	30.0	30.0	50.0	10.0
障害児通所支援	35	40.0	65.7	71.4	5.7
障害児相談支援	10	50.0	30.0	60.0	0.0
移動支援	27	81.5	29.6	55.6	3.7

区分	暴力やハラスメントがあった場合は、事業所として対応できる環境を整えている	気軽に相談できる窓口を整えている	その他	特に行っていない	無回答
全体	58.1	54.1	4.1	5.4	0.7
訪問系サービス	57.1	64.3	0.0	7.1	0.0
日中活動系サービス	55.3	42.1	2.6	0.0	0.0
居住系サービス	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0
相談支援	30.0	30.0	0.0	30.0	10.0
障害児通所支援	45.7	51.4	5.7	5.7	0.0
障害児相談支援	50.0	50.0	10.0	10.0	0.0
移動支援	85.2	81.5	7.4	3.7	0.0

問 36 貴事業所における利用者の意思決定支援の対応状況について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

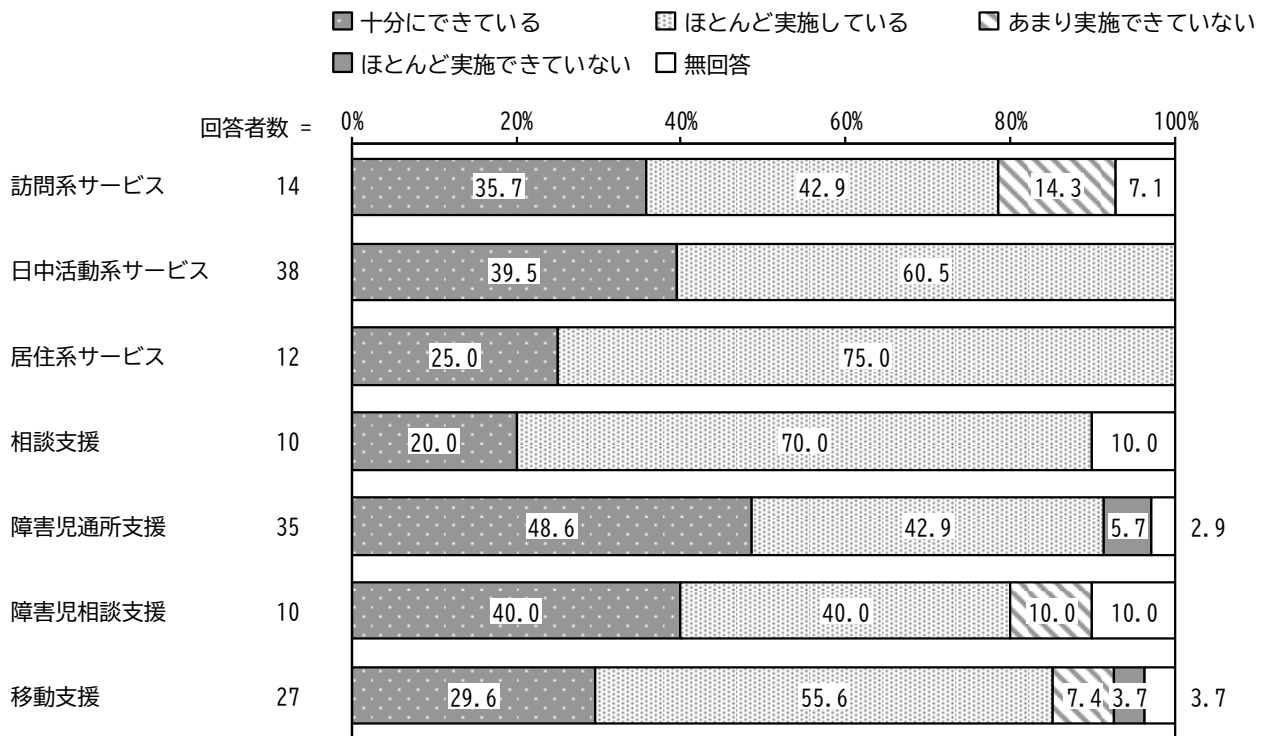
『ア) 本人から直接話しを聞いたり、日常生活の様子を観察し、意思や好みの確認』で「十分にできている」「ほとんど実施している」が、『キ) 事業所内での意思決定の支援のための研修』で「あまり実施できていない」が、『イ) 意思決定支援会議への本人の参加』で「ほとんど実施できていない」が高くなっています。



ア) 本人から直接話しを聞いたり、日常生活の様子を観察し、意思や好みの確認

【サービス種別】

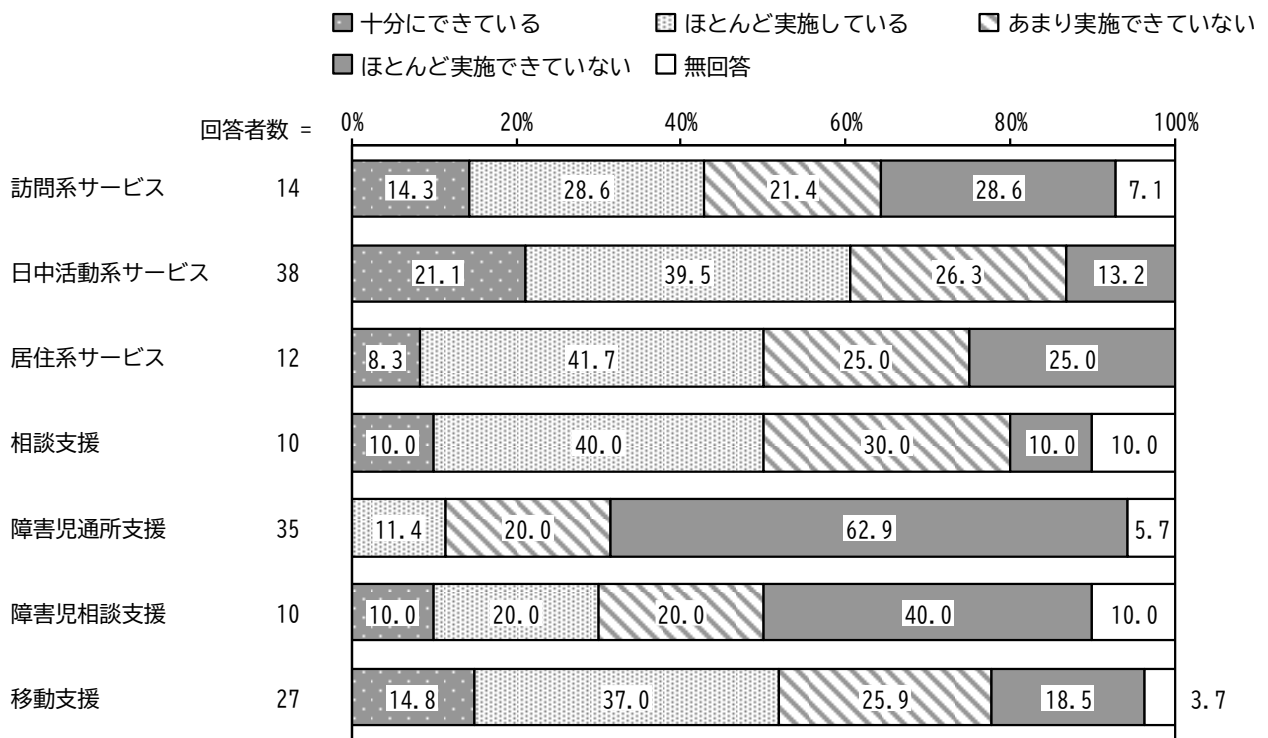
サービス種別にみると、障害児通所支援で「十分にできている」、居住系サービスで「ほとんど実施している」、訪問系サービスで「あまり実施できていない」の割合が高くなっています。



イ) 意思決定支援会議への本人の参加

【サービス種別】

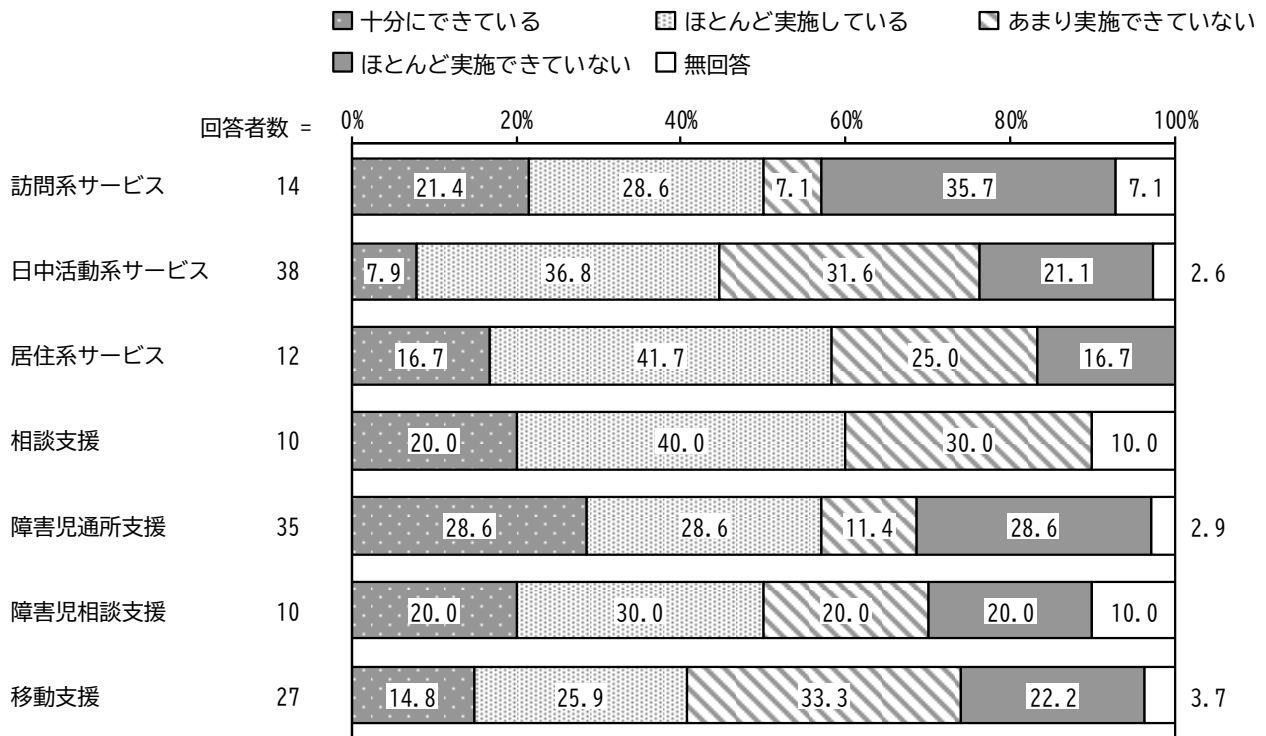
サービス種別にみると、居住系サービスで「ほとんど実施している」、障害児通所支援で「ほとんど実施できていない」の割合が高くなっています。



ウ) 意思決定支援会議への家族や関係者、成年後見人等の参加

【サービス種別】

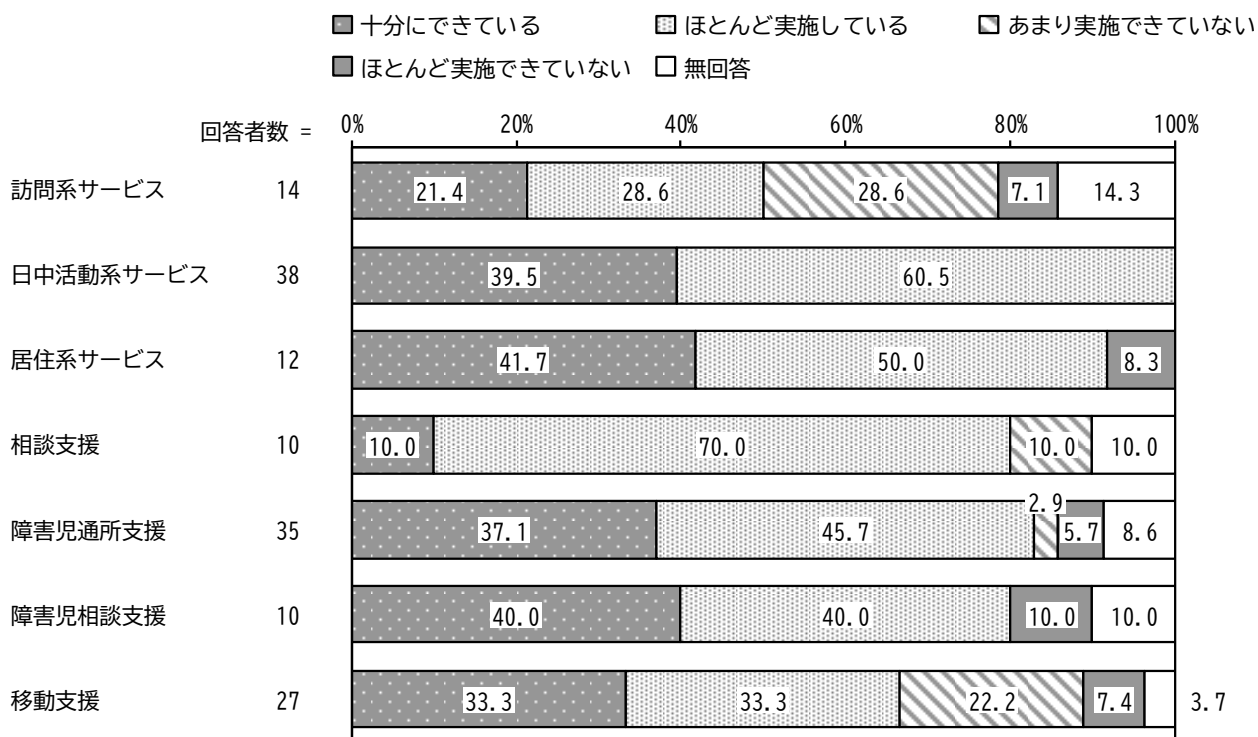
サービス種別にみると、障害児通所支援で「十分にできている」、移動支援で「あまり実施できていない」、訪問系サービスで「ほとんど実施できていない」の割合が高くなっています。



エ) 体験中の様子から本人の意思の推定が可能な場合には、その内容の支援計画への反映

【サービス種別】

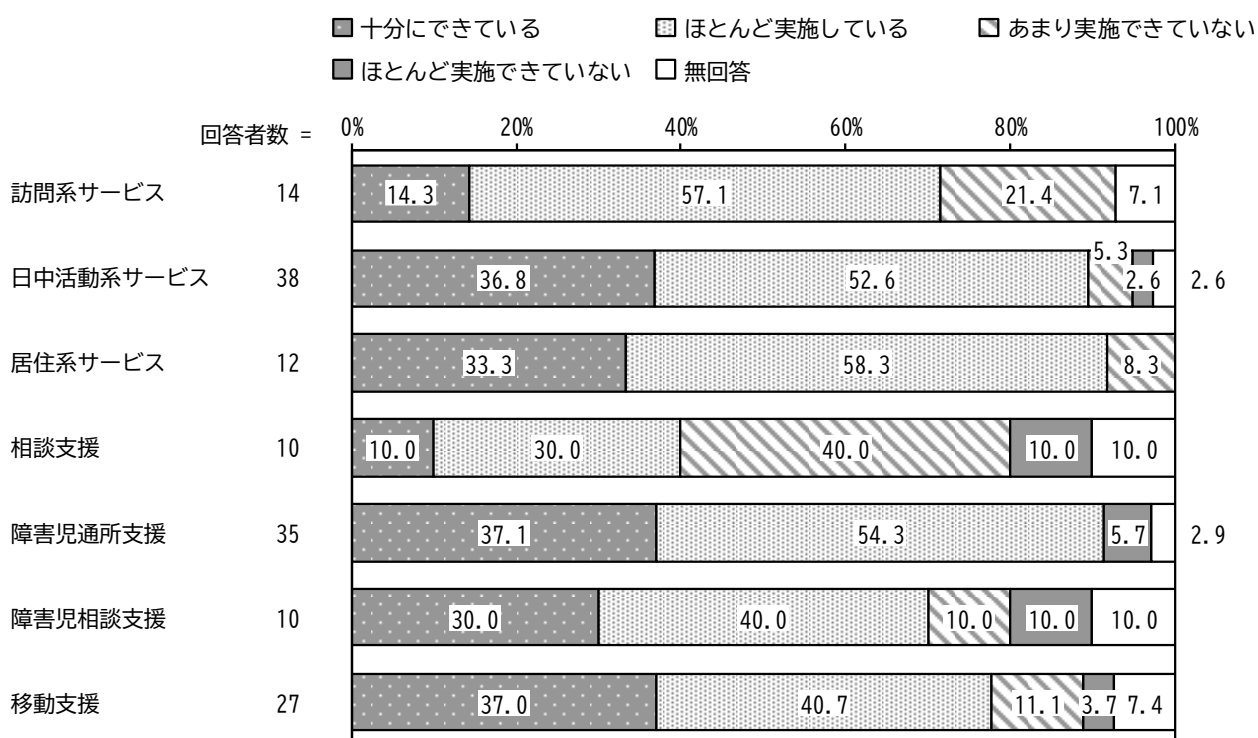
サービス種別にみると、相談支援で「ほとんど実施している」、訪問系サービスで「あまり実施できていない」の割合が高くなっています。



オ) モニタリング・評価結果を踏まえた意思決定のさらなる促進のための見直し

【サービス種別】

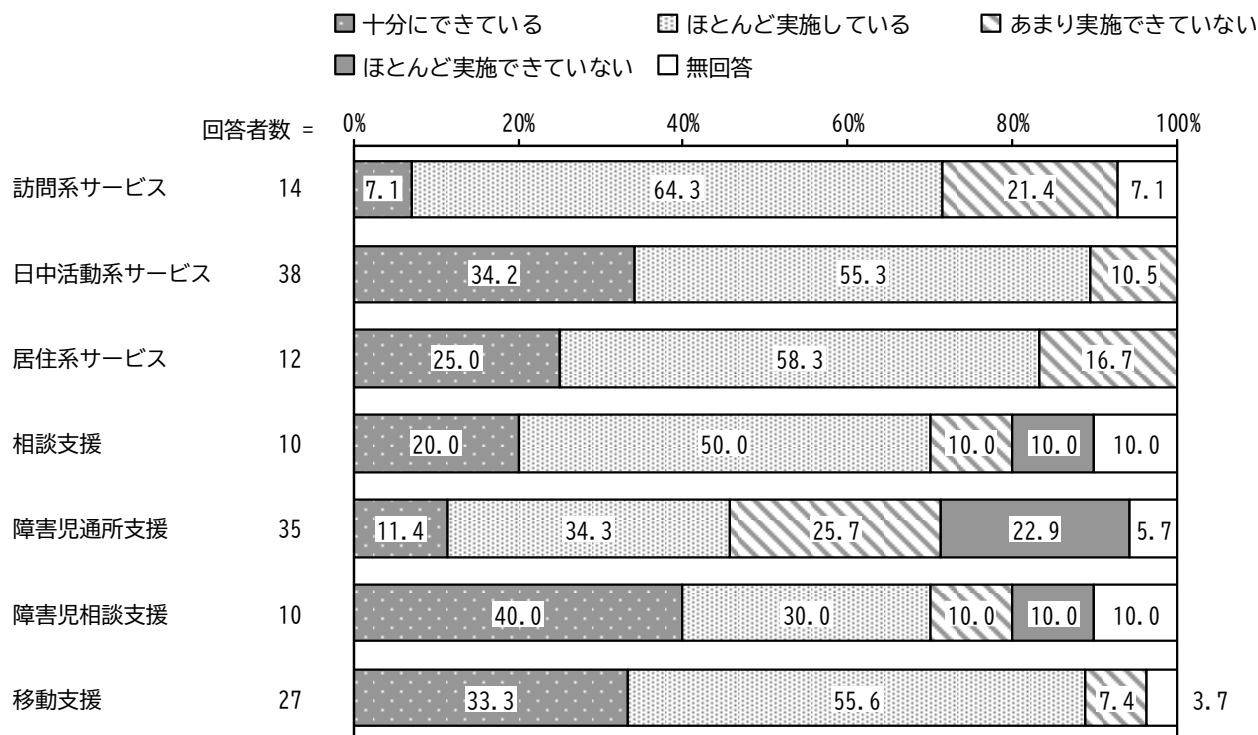
サービス種別にみると、相談支援で「あまり実施できていない」の割合が高く、「十分にできている」「ほとんど実施している」の割合が低くなっています。



カ) 決定したことを本人が可能な限り理解できるように伝えること

【サービス種別】

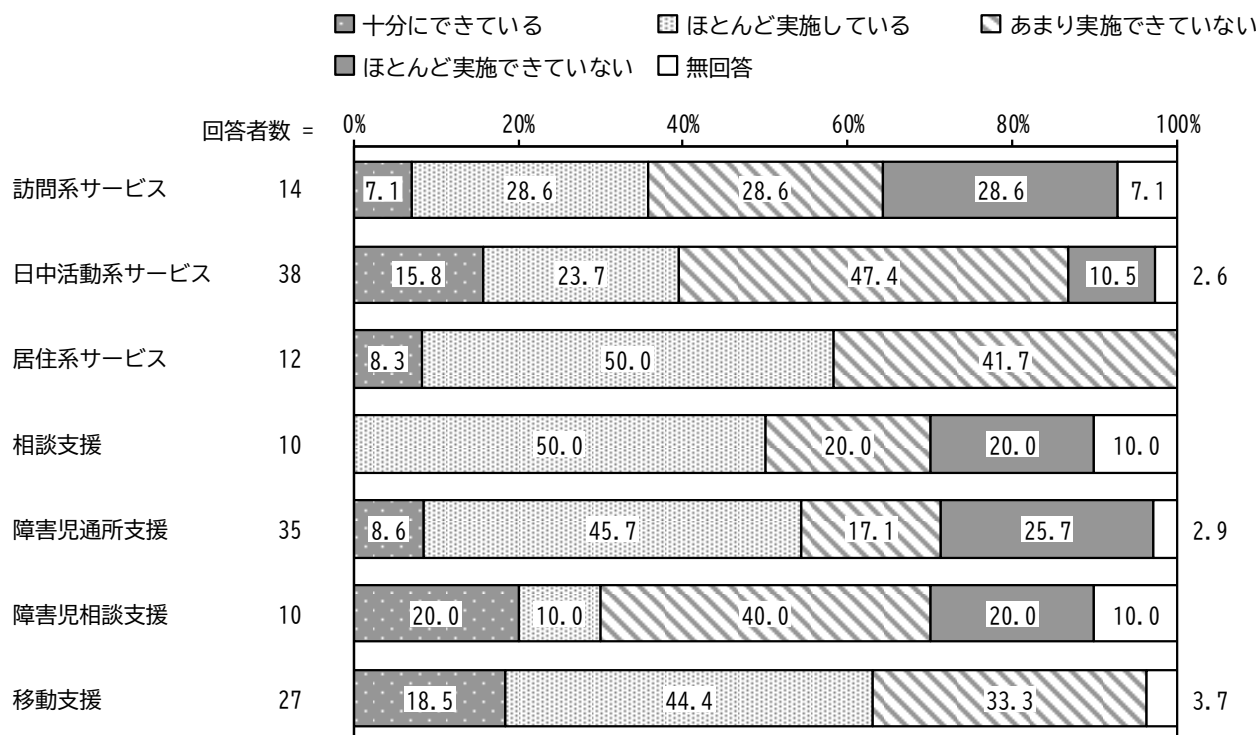
サービス種別にみると、障害児相談支援で「十分にできている」、訪問系サービスで「ほとんど実施している」、障害児通所支援で「あまり実施できていない」「ほとんど実施できていない」の割合が高くなっています。



## キ) 事業所内での意思決定の支援のための研修

### 【サービス種別】

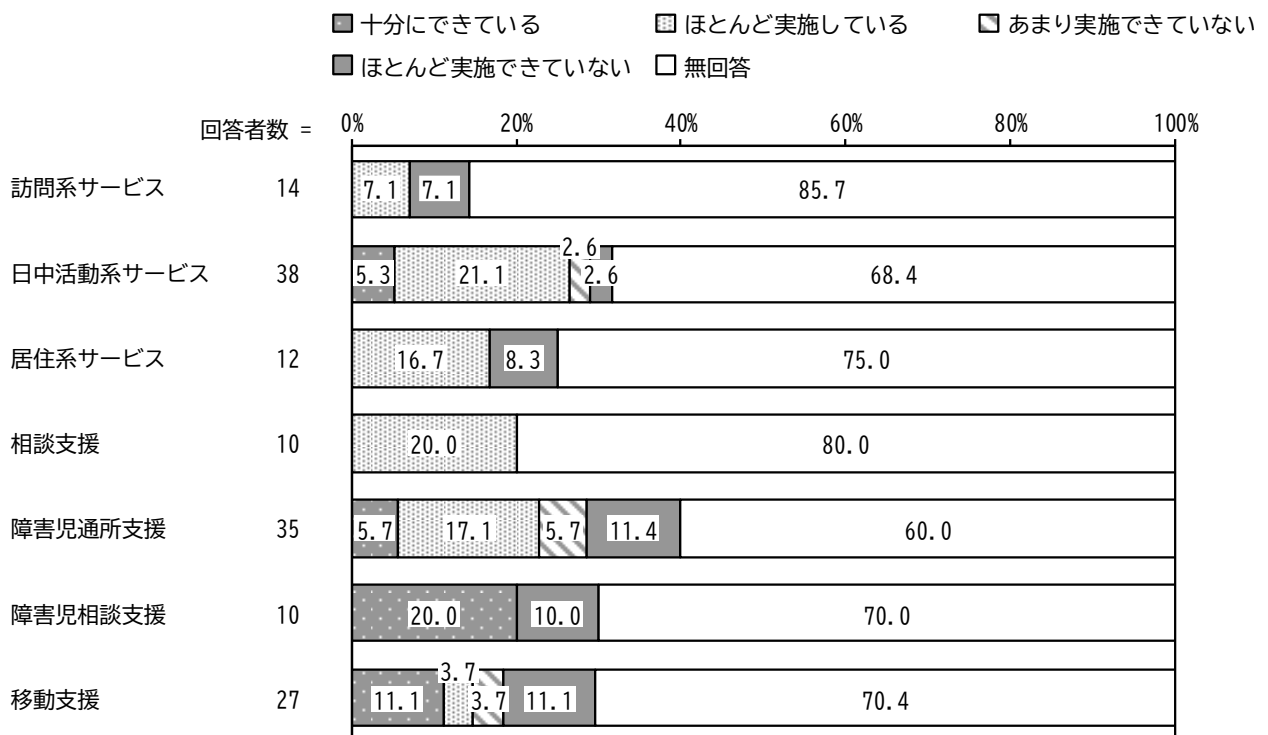
サービス種別にみると、居住系サービス、相談支援で「ほとんど実施している」、日中活動系サービスで「あまり実施できていない」、訪問系サービス、障害児通所支援で「ほとんど実施できていない」の割合が高くなっています。



ク) その他

【サービス種別】

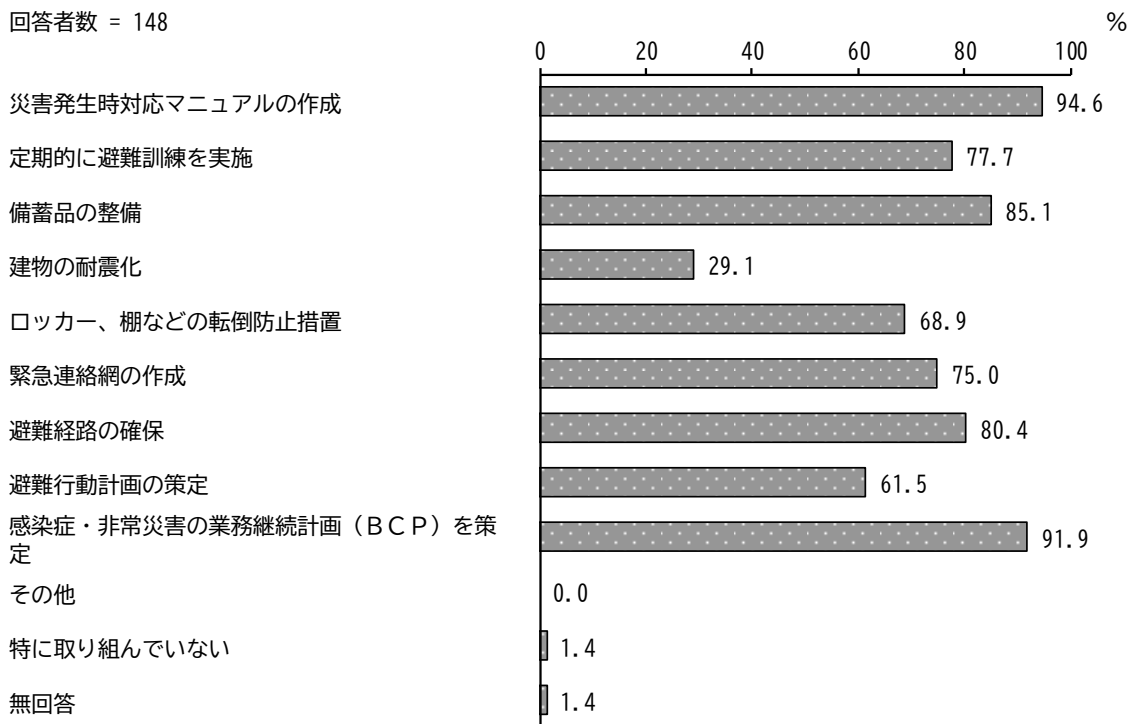
サービス種別にみると、障害児相談支援で「十分にできている」、日中活動系サービス、相談支援で「ほとんど実施している」の割合が高くなっています。



問 37 貴事業所では災害時の対策についてどのような取組をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「災害発生時対応マニュアルの作成」の割合が 94.6%と最も高く、次いで「感染症・非常災害の業務継続計画（BCP）を策定」の割合が 91.9%、「備蓄品の整備」の割合が 85.1%となっています。

回答者数 = 148



【サービス種別】

サービス種別にみると、障害児相談支援で「建物の耐震化」、障害児通所支援で「ロッカー、棚などの転倒防止措置」「緊急連絡網の作成」、日中活動系サービスで「避難経路の確保」、日中活動系サービス、障害児通所支援で「避難行動計画の策定」の割合が高くなっています。

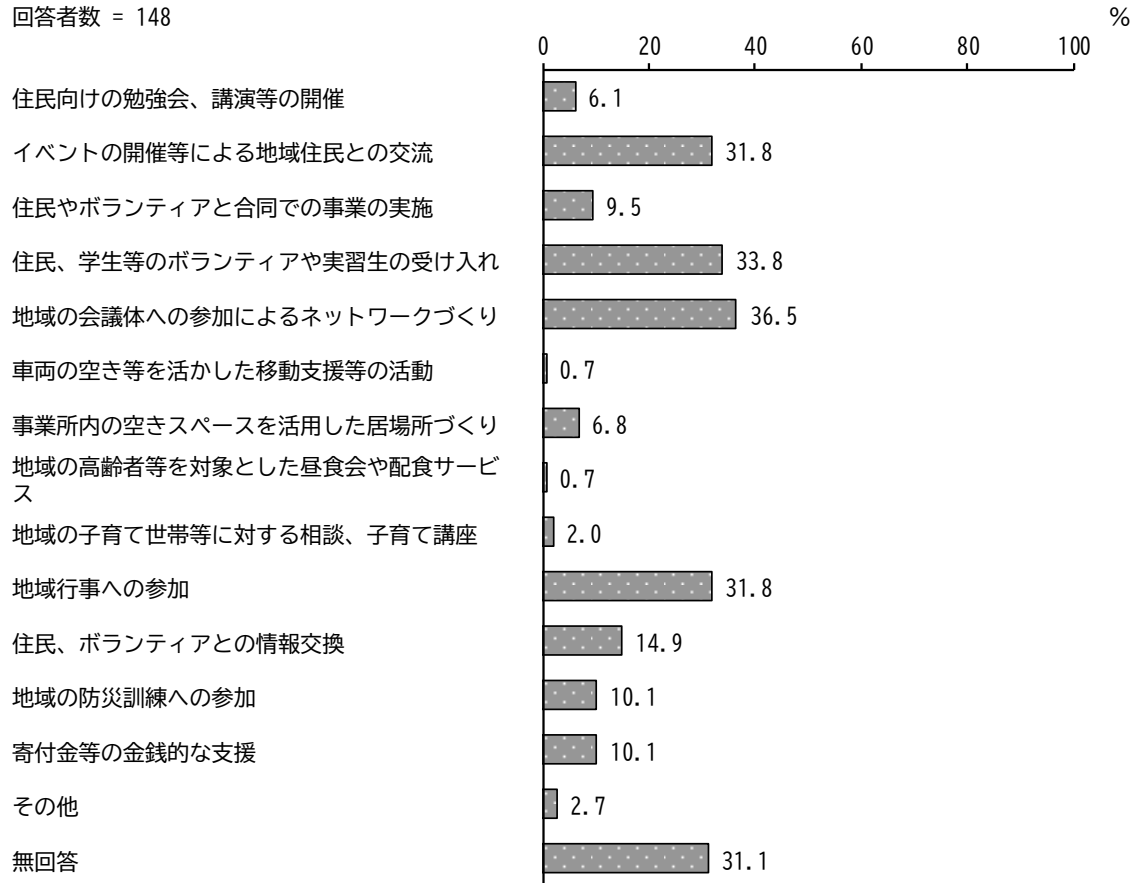
単位：%

区分	回答者数(件)	災害発生時対応マニュアルの作成	定期的に避難訓練を実施	備蓄品の整備	建物の耐震化	ロッカー、棚などの転倒防止措置	緊急連絡網の作成	避難経路の確保	避難行動計画の策定	感染症・非常災害の業務継続計画（BCP）を策定	その他	特に取り組んでいない	無回答
全体	148	94.6	77.7	85.1	29.1	68.9	75.0	80.4	61.5	91.9	0.0	1.4	1.4
訪問系サービス	14	78.6	28.6	64.3	7.1	28.6	50.0	21.4	28.6	78.6	0.0	14.3	0.0
日中活動系サービス	38	94.7	100.0	86.8	18.4	76.3	76.3	94.7	78.9	97.4	0.0	0.0	0.0
居住系サービス	12	91.7	100.0	100.0	33.3	75.0	83.3	83.3	75.0	91.7	0.0	0.0	0.0
相談支援	10	90.0	60.0	70.0	40.0	70.0	50.0	90.0	40.0	90.0	0.0	0.0	10.0
障害児通所支援	35	100.0	100.0	97.1	45.7	88.6	85.7	91.4	77.1	91.4	0.0	0.0	0.0
障害児相談支援	10	90.0	70.0	70.0	50.0	80.0	70.0	90.0	50.0	90.0	0.0	0.0	10.0
移動支援	27	100.0	44.4	81.5	18.5	48.1	81.5	66.7	37.0	92.6	0.0	0.0	0.0

問 38 (1) 地域における住民、団体、ボランティア等との関わりについて、どのようなことを行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「地域の会議体への参加によるネットワークづくり」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「住民、学生等のボランティアや実習生の受け入れ」の割合が 33.8%、「イベントの開催等による地域住民との交流」、「地域行事への参加」の割合が 31.8%となっています。

回答者数 = 148



【サービス種別】

サービス種別にみると、相談支援で「イベントの開催等による地域住民との交流」「住民やボランティアと合同での事業の実施」「住民、学生等のボランティアや実習生の受け入れ」「地域の防災訓練への参加」、相談支援、障害児相談支援で「地域の会議体への参加によるネットワークづくり」、障害児相談支援で「事業所内の空きスペースを活用した居場所づくり」、日中活動系サービス、相談支援で「地域行事への参加」の割合が高くなっています。

単位：％

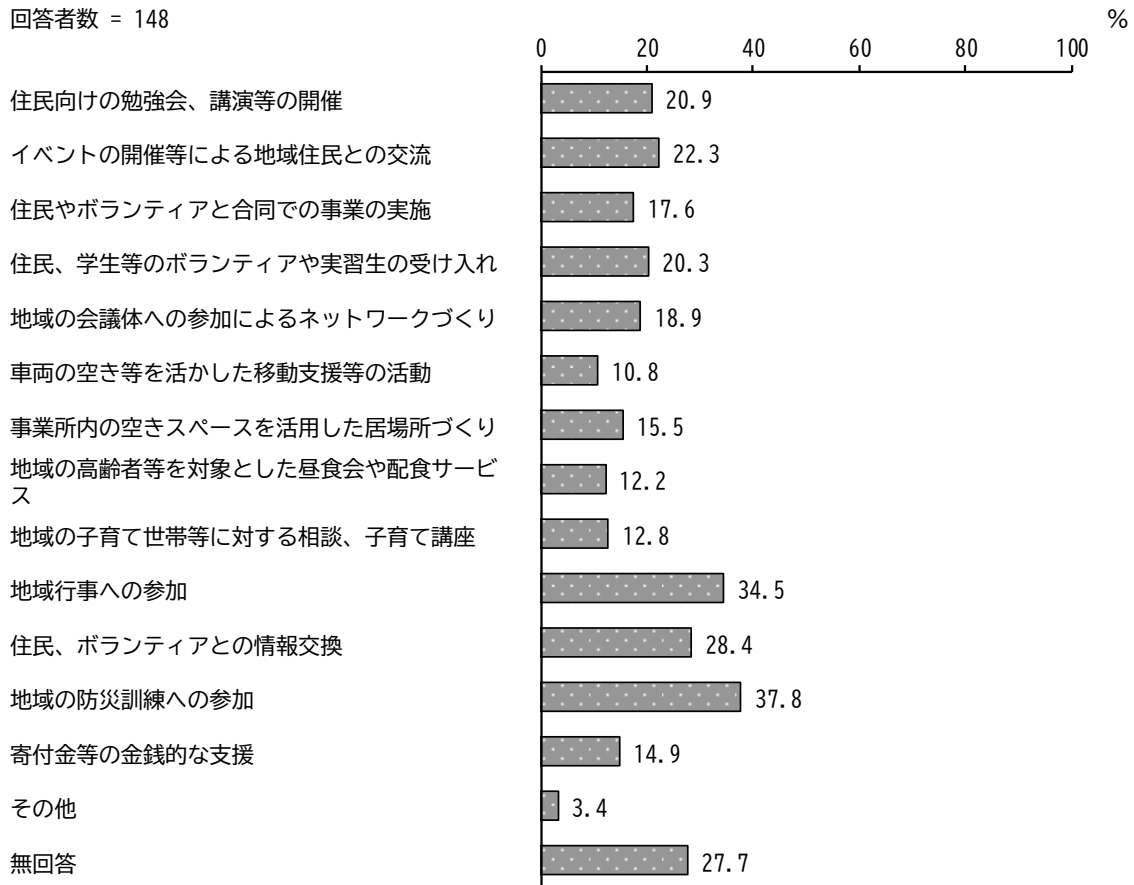
区分	回答者数(件)	住民向けの勉強会、講演等の開催	イベントの開催等による地域住民との交流	住民やボランティアと合同での事業の実施	住民、学生等のボランティアや実習生の受け入れ	地域の会議体への参加によるネットワークづくり	車両の空き等を活用した移動支援等の活動	事業所内の空きスペースを活用した居場所づくり
全体	148	6.1	31.8	9.5	33.8	36.5	0.7	6.8
訪問系サービス	14	0.0	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0
日中活動系サービス	38	2.6	50.0	21.1	57.9	55.3	0.0	7.9
居住系サービス	12	8.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
相談支援	10	10.0	60.0	30.0	70.0	60.0	0.0	20.0
障害児通所支援	35	5.7	25.7	2.9	28.6	34.3	0.0	0.0
障害児相談支援	10	10.0	50.0	10.0	50.0	60.0	0.0	30.0
移動支援	27	11.1	11.1	3.7	14.8	22.2	3.7	7.4

区分	地域の高齢者等を対象とした昼食会や配食サービス	地域の子育て世帯等に対する相談、子育て講座	地域行事への参加	住民、ボランティアとの情報交換	地域の防災訓練への参加	寄付金等の金銭的な支援	その他	無回答
全体	0.7	2.0	31.8	14.9	10.1	10.1	2.7	31.1
訪問系サービス	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3	7.1	57.1
日中活動系サービス	2.6	2.6	50.0	18.4	7.9	2.6	2.6	21.1
居住系サービス	0.0	0.0	33.3	8.3	8.3	8.3	0.0	33.3
相談支援	0.0	0.0	50.0	20.0	40.0	10.0	0.0	0.0
障害児通所支援	0.0	5.7	25.7	17.1	8.6	14.3	2.9	28.6
障害児相談支援	0.0	0.0	40.0	20.0	30.0	10.0	0.0	10.0
移動支援	0.0	0.0	18.5	14.8	3.7	11.1	0.0	55.6

問 38 (2) また、これから行えることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「地域の防災訓練への参加」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「地域行事への参加」の割合が 34.5%、「住民、ボランティアとの情報交換」の割合が 28.4%となっています。

回答者数 = 148



【サービス種別】

サービス種別にみると、居住系サービスで「住民向けの勉強会、講演等の開催」「住民、学生等のボランティアや実習生の受け入れ」「地域の防災訓練への参加」、日中活動系サービスで「イベントの開催等による地域住民との交流」、障害児相談支援で「住民やボランティアと合同での事業の実施」「事業所内の空きスペースを活用した居場所づくり」「地域の子育て世帯等に対する相談、子育て講座」「地域行事への参加」、相談支援で「住民、ボランティアとの情報交換」の割合が高くなっています。

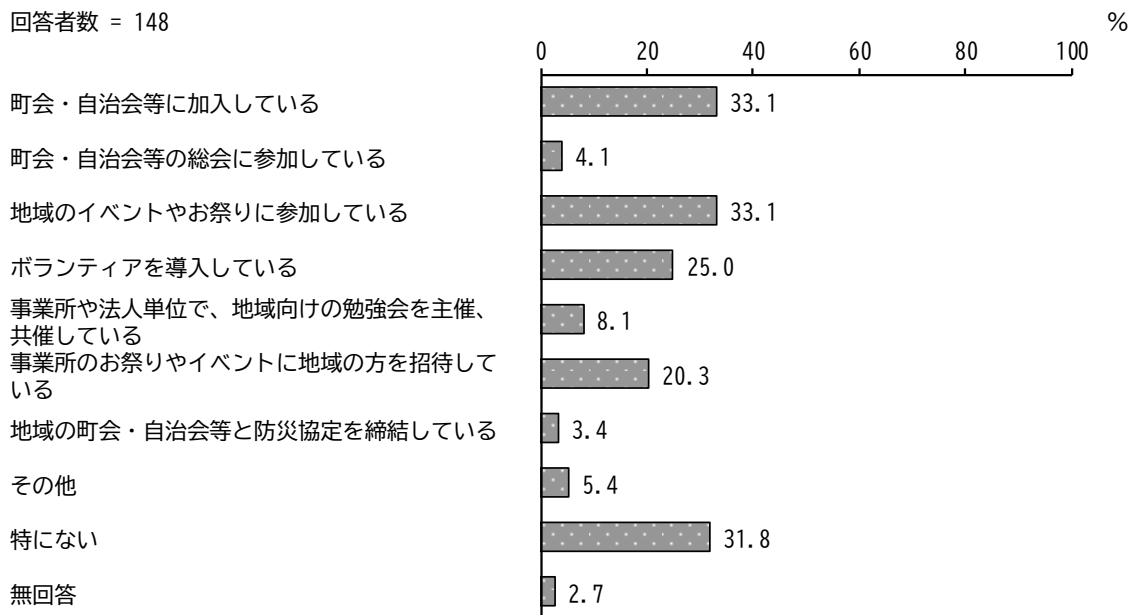
単位：％

区分	回答者数(件)	住民向けの勉強会、講演等の開催	イベントの開催等による地域住民との交流	住民やボランティアと合同での事業の実施	住民、学生等のボランティアや実習生の受け入れ	地域の会議体への参加によるネットワーキング	車両の空き等を活用した移動支援等の活動	事業所内の空きスペースを活用した居場所づくり
全体	148	20.9	22.3	17.6	20.3	18.9	10.8	15.5
訪問系サービス	14	28.6	21.4	14.3	14.3	21.4	14.3	21.4
日中活動系サービス	38	23.7	36.8	21.1	26.3	10.5	7.9	15.8
居住系サービス	12	33.3	25.0	25.0	50.0	25.0	8.3	8.3
相談支援	10	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
障害児通所支援	35	14.3	20.0	20.0	14.3	25.7	11.4	17.1
障害児相談支援	10	20.0	20.0	30.0	40.0	20.0	10.0	30.0
移動支援	27	14.8	14.8	11.1	11.1	25.9	14.8	14.8

区分	地域の高齢者等を対象とした昼食会や配食サービス	地域の子育て世帯等に対する相談、子育て講座	地域行事への参加	住民、ボランティアとの情報交換	地域の防災訓練への参加	寄付金等の金銭的な支援	その他	無回答
全体	12.2	12.8	34.5	28.4	37.8	14.9	3.4	27.7
訪問系サービス	21.4	14.3	35.7	28.6	21.4	14.3	14.3	28.6
日中活動系サービス	13.2	7.9	39.5	31.6	44.7	13.2	5.3	18.4
居住系サービス	8.3	0.0	41.7	41.7	50.0	8.3	0.0	33.3
相談支援	0.0	0.0	20.0	50.0	30.0	0.0	0.0	20.0
障害児通所支援	14.3	22.9	31.4	20.0	37.1	17.1	0.0	37.1
障害児相談支援	10.0	30.0	50.0	30.0	40.0	10.0	0.0	20.0
移動支援	11.1	11.1	29.6	22.2	33.3	22.2	0.0	33.3

問 39 貴事業所では、地域との連携を図るために、どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「町会・自治会等に参加している」、「地域のイベントやお祭りに参加している」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「ボランティアを導入している」の割合が 25.0%となっています。



#### 【サービス種別】

サービス種別にみると、居住系サービスで「町会・自治会等に参加している」、訪問系サービスで「町会・自治会等の総会に参加している」、相談支援で「地域のイベントやお祭りに参加している」「ボランティアを導入している」「事業所や法人単位で、地域向けの勉強会を主催、共催している」「事業所のお祭りやイベントに地域の方を招待している」の割合が高くなっています。

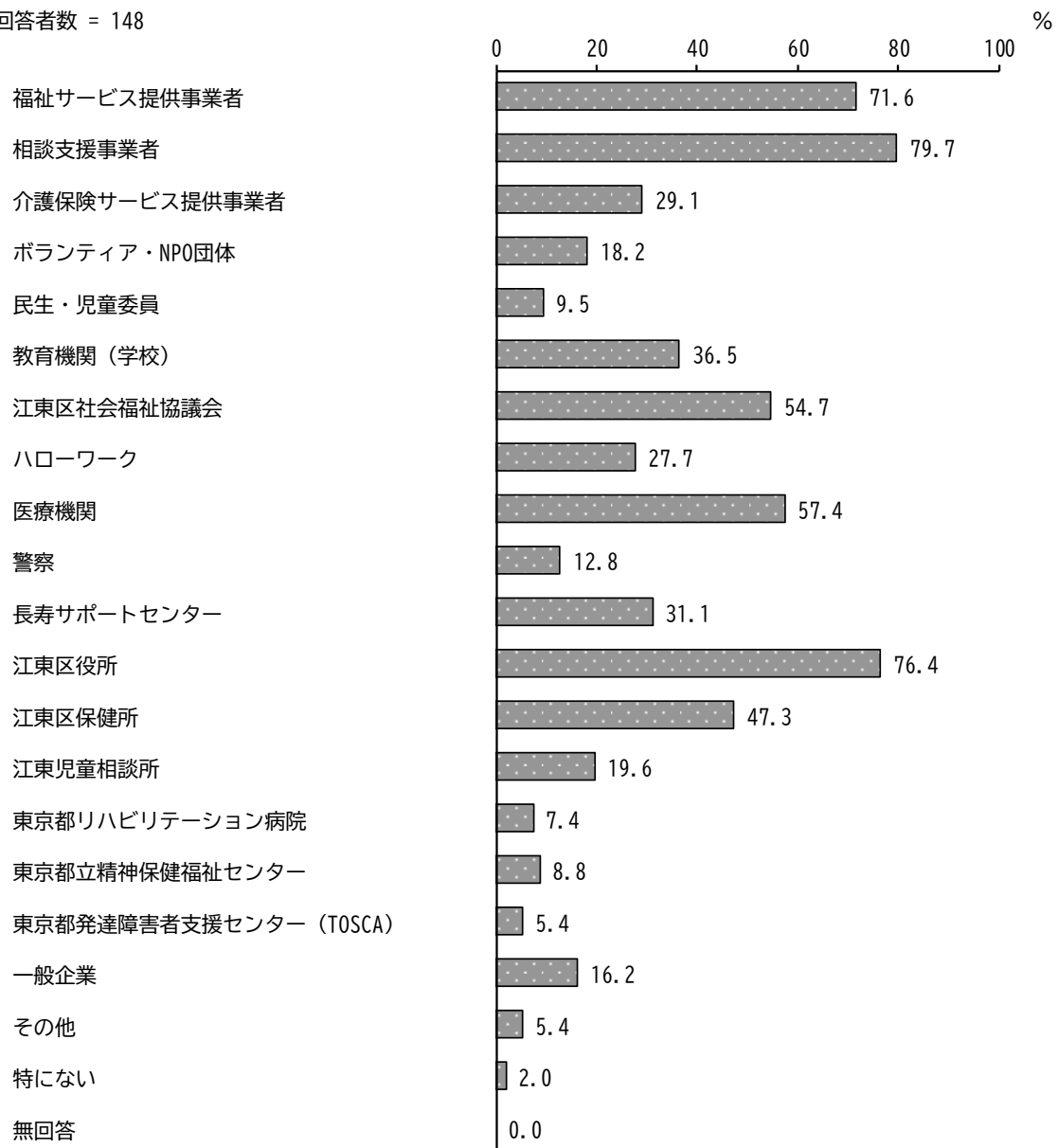
単位：%

区分	回答者数 (件)	町会・自治会等に参加している	町会・自治会等の総会に参加している	地域のイベントやお祭りに参加している	ボランティアを導入している	事業所や法人単位で、地域向けの勉強会を主催、共催している	事業所のお祭りやイベントに地域の方を招待している	地域の町会・自治会等と防災協定を締結している	その他	特にない	無回答
全体	148	33.1	4.1	33.1	25.0	8.1	20.3	3.4	5.4	31.8	2.7
訪問系サービス	14	28.6	14.3	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	50.0	7.1
日中活動系サービス	38	34.2	5.3	55.3	44.7	10.5	28.9	2.6	7.9	15.8	0.0
居住系サービス	12	50.0	0.0	33.3	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
相談支援	10	10.0	0.0	60.0	50.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0
障害児通所支援	35	31.4	2.9	22.9	25.7	5.7	11.4	2.9	2.9	45.7	2.9
障害児相談支援	10	30.0	0.0	40.0	40.0	10.0	50.0	0.0	10.0	20.0	0.0
移動支援	27	37.0	3.7	18.5	7.4	0.0	7.4	11.1	3.7	48.1	7.4

問 40 事業所の運営にあたり、連携している関係機関・団体はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「相談支援事業者」の割合が79.7%と最も高く、次いで「江東区役所」の割合が76.4%、「福祉サービス提供事業者」の割合が71.6%となっています。

回答者数 = 148



【サービス種別】

サービス種別にみると、相談支援で「介護保険サービス提供事業者」「ボランティア・NPO 団体」「民生・児童委員」「医療機関」「警察」「長寿サポートセンター」「江東区保健所」「東京都リハビリテーション病院」「東京都立精神保健福祉センター」「東京都発達障害者支援センター（TOSCA）」、相談支援、障害児通所支援で「教育機関（学校）」、日中活動系サービスで「江東区社会福祉協議会」、日中活動系サービス、居住系サービスで「ハローワーク」、障害児相談支援で「江東児童相談所」、日中活動系サービス、相談支援で「一般企業」の割合が高くなっています。

単位：％

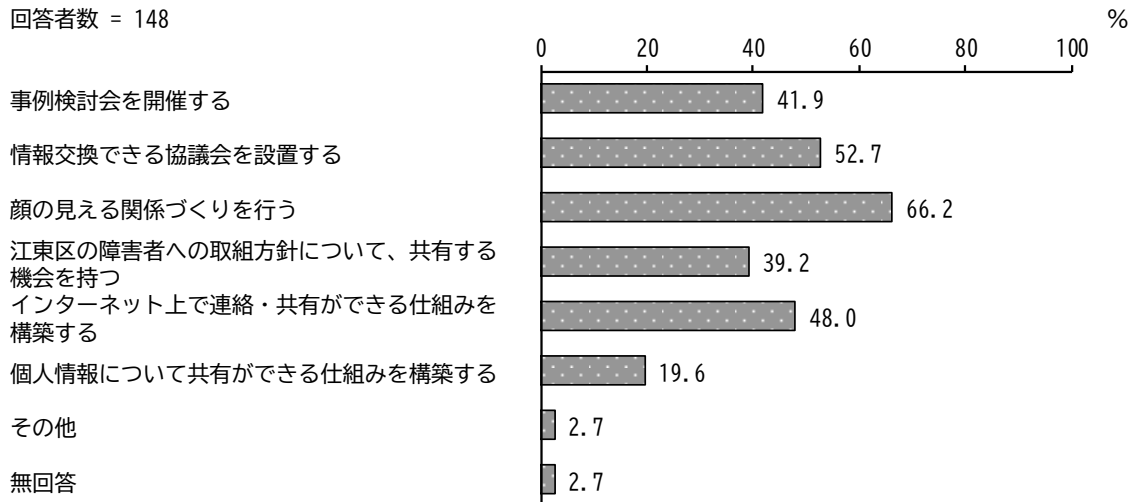
区分	回答者数（件）	福祉サービス提供事業者	相談支援事業者	介護保険サービス提供事業者	ボランティア・NPO 団体	民生・児童委員	教育機関（学校）	江東区社会福祉協議会	ハローワーク	医療機関	警察
全体	148	71.6	79.7	29.1	18.2	9.5	36.5	54.7	27.7	57.4	12.8
訪問系サービス	14	57.1	35.7	50.0	14.3	14.3	7.1	28.6	7.1	21.4	0.0
日中活動系サービス	38	81.6	86.8	21.1	31.6	18.4	36.8	84.2	47.4	86.8	15.8
居住系サービス	12	91.7	100.0	8.3	8.3	8.3	25.0	50.0	50.0	75.0	8.3
相談支援	10	90.0	70.0	70.0	60.0	20.0	60.0	60.0	40.0	90.0	60.0
障害児通所支援	35	51.4	85.7	2.9	5.7	0.0	60.0	40.0	8.6	40.0	2.9
障害児相談支援	10	100.0	80.0	20.0	40.0	0.0	50.0	70.0	40.0	60.0	20.0
移動支援	27	63.0	81.5	63.0	0.0	7.4	14.8	44.4	18.5	40.7	11.1

区分	長寿サポートセンター	江東区役所	江東区保健所	江東児童相談所	東京都リハビリテーション病院	東京都立精神保健福祉センター	東京都発達障害者支援センター（TOSCA）	一般企業	その他	特にない	無回答
全体	31.1	76.4	47.3	19.6	7.4	8.8	5.4	16.2	5.4	2.0	0.0
訪問系サービス	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	14.3	0.0
日中活動系サービス	26.3	89.5	65.8	2.6	13.2	13.2	2.6	28.9	5.3	0.0	0.0
居住系サービス	0.0	91.7	41.7	8.3	0.0	25.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
相談支援	90.0	100.0	90.0	20.0	20.0	30.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援	0.0	60.0	31.4	45.7	0.0	0.0	5.7	11.4	8.6	2.9	0.0
障害児相談支援	30.0	90.0	50.0	50.0	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0
移動支援	66.7	77.8	44.4	14.8	11.1	0.0	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0

問 41 関係機関・団体との連携を強化するために必要なことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「顔の見える関係づくりを行う」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「情報交換できる協議会を設置する」の割合が 52.7%、「インターネット上で連絡・共有ができる仕組みを構築する」の割合が 48.0%となっています。

回答者数 = 148



【サービス種別】

サービス種別にみると、居住系サービス、障害児相談支援で「事例検討会を開催する」、日中活動系サービスで「顔の見える関係づくりを行う」、訪問系サービスで「江東区の障害者への取組方針について、共有する機会を持つ」、障害児相談支援で「インターネット上で連絡・共有ができる仕組みを構築する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	事例検討会を開催する	情報交換できる協議会を設置する	顔の見える関係づくりを行う	江東区の障害者への取組方針について、共有する機会を持つ	インターネット上で連絡・共有ができる仕組みを構築する	個人情報について共有ができる仕組みを構築する	その他	無回答
全体	148	41.9	52.7	66.2	39.2	48.0	19.6	2.7	2.7
訪問系サービス	14	35.7	50.0	35.7	57.1	42.9	21.4	7.1	0.0
日中活動系サービス	38	47.4	55.3	84.2	50.0	52.6	18.4	0.0	0.0
居住系サービス	12	58.3	58.3	58.3	25.0	25.0	8.3	8.3	0.0
相談支援	10	40.0	50.0	70.0	50.0	60.0	10.0	10.0	0.0
障害児通所支援	35	42.9	57.1	68.6	25.7	48.6	28.6	2.9	8.6
障害児相談支援	10	60.0	50.0	80.0	40.0	70.0	20.0	0.0	0.0
移動支援	27	25.9	44.4	51.9	33.3	44.4	18.5	0.0	3.7

問 42 区の障害者施策について、ご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。

・報酬・単価・補助金等の金銭的支援について(16件)

最低賃金が年々上がっている中、家賃補助や重度加算、物価高騰への支援をしていただいているものの、基本となる報酬額が改定の度に減額になっている為、安定した運営が困難になっています。ぜひ、区の支援をご検討いただきたいです。備蓄品を購入するための補助支援のご検討いただけるとありがたいです。

人材確保・職員の処遇改善について(11件)

とにかく人手が足りません。物価上昇に見合うだけの賃金も支払えないので募集をしても応募がありません。

行政の対応への評価や感謝について(9件)

江東区の職員の皆さまは親切にご対応くださいますので、事業の運営がしやすい自治体だと感じています。困ったときに相談に乗っていただいています。いつもありがとうございます。

移動支援・送迎サービスについて(8件)

最近、学校や保育園の送迎の依頼が多くありますが、サービスとして行う内容ではないと思います。送迎が必要なら行政で対応すべきではないでしょうか。

地域との連携・官民協働について(7件)

事業所運営がやっと安定してきたので、地域との連携に向けて取り組みを実施したいと考えております。ぜひ最初は中心的に、各機関を繋ぐ役割を区の障害者支援課で行っていただき、つながりのある関係を構築できる、顔の見える関係が出来ると良いかと考えております。

なお、以下の項目についてもご意見をいただいております。

- ・児童向けサービス（放デイ・児発等）について(6件)
- ・施設・事業所の整備と受け皿拡大について(4件)
- ・グループホーム・居住支援について(4件)
- ・研修・交流・情報共有について(4件)
- ・事務負担・手続きの軽減について(4件)
- ・ショートステイ・レスパイトケア・宿泊施設について(3件)
- ・相談支援・ケアマネジメントについて(3件)
- ・制度の柔軟な運用と対象者拡大について(3件)
- ・精神障害者・退院後の地域移行支援について(3件)
- ・高齢化・老障介護問題について(2件)
- ・制度やサービスの周知・分かりやすさについて(2件)
- ・日常の生活介護・余暇活動・就労支援について(2件)
- ・医療的ケア児・シームレスな支援について(1件)
- ・その他について(4件)

